

東京の高齢者福祉施設による、地域によりそうキャンペーン

つながれ ひろがれ ちいきの輪

2016 報告書



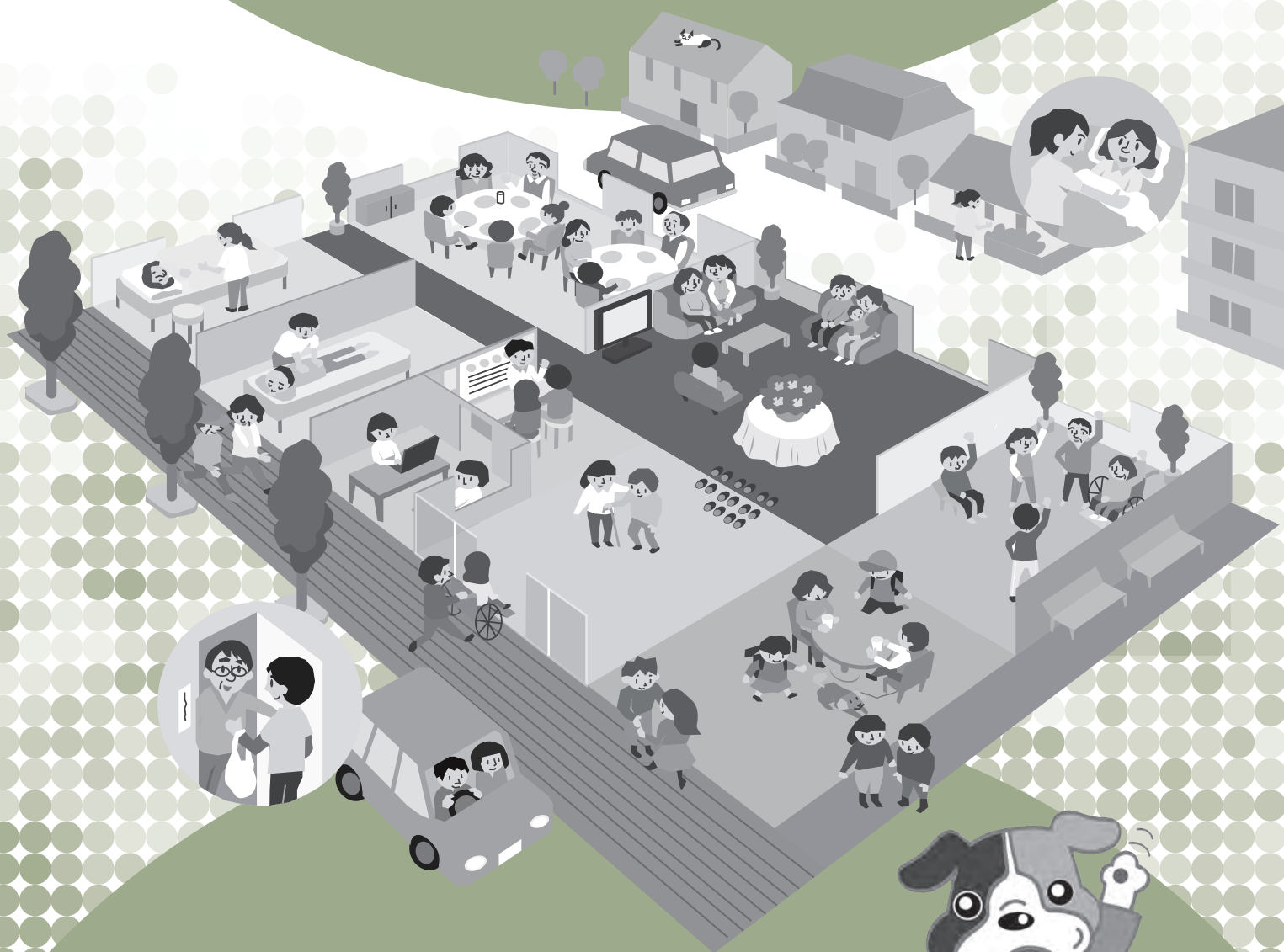
社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

東京都高齢者福祉施設協議会は、東京都内の特別養護老人ホーム・養護老人ホーム・軽費老人ホーム・地域包括支援センター・在宅介護支援センター・デイサービスセンター約 1,200 ケ所が集まるネットワークです。

東京の高齢者福祉施設による、地域によりそうキャンペーン

つながれ ひろがれ ちいきの輪

2016 報告書



東京都高齢者福祉施設協議会
マスコットキャラクター「アクティブル」

I

座談会

ちょっとした気づきから地域を耕す
支えあいの仕掛けづくり



つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 座談会

ちょっとした気づきから地域を耕す 支えあいの仕掛けづくり



聞き手

まち あせい
町 亜聖 さん

語り手

さくurai かずみ
桜井 和実 さん

語り手

ひらい みか
平井 美香 さん

語り手

なら たかし
奈良 高志 さん

地域に垣間見る「孤立」に気づく

町 今日は「ちいきの輪」の要としてまさにつながらなければいけない方々がそろいました。奈良さんは高齢者施設の施設長、桜井さんは自治会のスタッフ、地域の方として、平井さんはそれをつなぐ施設のコーディネーターとして活躍されています。まず、桜井さんはどんな活動をされていますか。

桜井 私は武蔵野市役所に15年、市議会議員を20年つとめ、リタイアしてからはサンヴァリエ桜堤自治会で事務をしながら、高齢者福祉関係の活動をしてきました。団地では、16年前からふれあい喫茶を月1回、歌を歌ったり、津軽三味線やコーラスグループを呼んだり毎月50人ぐらいの住人が集まっています。

その際に、武蔵野市桜堤ケアハウスの施設長と出会い、団地に住む高齢者の方がどんな悩みや困りごとを持っているのか調査しました。食の問題、健康の問題、それから相談できる場所がないという3つの問題が浮かび上がり、それを解決したい思いから、3年前、ケアハウスの全面的なご協力をいただいて、団地に住んでいるみなさんの交流の場としてよりあい食堂かようを始めました。

町 全国各地で講演をさせていただいたり、勉強会に参加していますが、みなさんにお話を伺っていると、地域の活動や福祉サービスに自分からアクセスできていない人をどうやって巻き込んでいくか苦労されています。桜井さん達は食事につけたんですね。

桜井 そうですね。アンケートでも食に関する悩みが多かったのです。よりあい食堂かようで出す食事は、みんなと一緒にそこで食べてもらっています。持ち帰ってもらうと普段の暮らしの中で自分の食事を作ろうという気がなくなるので。「あまったら捨てなければならないから」と言うともんな完食してくれます（笑）。

制度にとらわれない支え合いの しくみを生み出すには

町 多くの人が家族の介護や医療の問題に直面してから慌てて行動をしますが、必要に迫られる前から地域と接点を持っておくことは非常に大切です。困っていることに「相談する場所がない」という声がありましたが、地域の中には自治会があるのに若い人が加入してなかったり、上手く機能していないところが多いのが現状です。参加してくれるのを待つのではなく、どうやってアプロー

ちしていくのか、地域の人をつなぐ“支えあいの人材”を発掘していく必要もあります。平井さんはどうですか。

平井 なかなか地域で暮らしている人の生活が見えてこないんですよね。地域が一緒になってそういう人たちを見つけていかなければいけないのかなと。

町 高齢の方のひとり暮らしやご夫婦だけの世帯も増えています。ある地域では、いわゆる“ごみ屋敷”になっているお宅をケアマネジャーさんが中心となって訪問したところ、住んでいる方に軽度の認知症があり、適切な福祉サービスにつなげることで問題が解決したというケースがありました。このように、何かしらの理由で地域から孤立してしまっている方もいると思います。高齢の方だけでなく、私は独身でマンションに1人で住んでいますが、鍵を閉めた瞬間に、このまま倒れたら誰が発見してくれるんだろうという不安があります。逆にこうした地域が抱えている課題を利用すべきかなと。

桜井 自治会ではご近所で鍵を預け合ってくださいとお願いしているんですよ。鍵がないとレスキュー隊や警察を呼ばないと入れず、時間ばかりかかって、助かる命も助からない。ただ、鍵を預けるには相当、信頼の置ける方じゃないと難しいですね。介護保険を使っている方には、ケアマネ

ジャーさんとかがいるんですけども、健康な方には頼れる人がいない場合もあるので、何かシステムがあるといいですね。

町 奈良さんはどうですか。

奈良 誰が旗振りをするかですね。「鍵を預かってください」「この人が支え手となることを許します」という本人の選択に基づいた情報共有の仕組みをつくれば問題ないんですが、「これは私たちの仕事ではない」と二の足を踏んでしまってはだめなんですね。

支援の足がかりをつくるとなると必ずこの問題が出てきます。私たちも対象者の必要に応じて積極的に鍵を預かりますが、同意書程度の文書を取り交わしますよ。

町 平常時から情報共有ができていなければ、事故や災害が起きたときに機能しませんよね。私の



よりあい食堂かようでの交流の様子

PROFILE

※所属は2017年1月当時



桜井 和実 さん

サンヴァリエ桜堤自治会 事務員

武蔵野市役所15年市議会議員20年を経て60歳で、現役をリタイアし、サンヴァリエ桜堤自治会の事務、コミュニティセンターの運営委員などをお手伝いしながら、健康高齢者の引きこもりをなくすための活動を行う。



平井 美香 さん

社会福祉法人愛隣会 地域交流スペース「ここからカフェ」地域福祉コーディネーター

病院のホスピス病棟でのコーディネーター経験から、ホッと安心できる「こころの居場所」の必要性を感じ、愛隣会にて「ここからカフェ」の開設を担当する。現在は地域に出向いてニーズを拾い、地域との繋がりの「お茶べりば」で、コーヒーやアロマハンドケアの提供などしている。



奈良 高志 さん

社会福祉法人信愛報恩会 特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷 施設長

文京区内で最も古い特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷の施設長として、また東社協高齢協の副会長として「地産地消の地域づくり（区市町村単位的重要性）」を念頭に、まず身近な地域課題の解決を、現場力の結集により地域福祉の向上に取り組んでいる。



町 亜聖 さん

フリーアナウンサー

脳障害のため車椅子の生活を送っていた母と過ごした10年の日々、そして母と父をがんて亡くした経験をまとめた著書「十年介護」を小学校文庫から出版。医療と介護を障害のテーマに取材、啓発活動を続ける。2016年秋から高齢協アンバサダーに就任。

母がそうだったように1人では避難できず自分で声を上げられない人は、どうしても弱者として追い込まれてしまいがちです。

こうした高齢者を支える制度として介護保険が始まり17年が経過しました。制度のおかげで良くなった面もありますが、サービスが選べない人が抜け落ちてしまう場合もみられます。また、個人情報尊重をあまり、個人に手を差し伸べることがかえって難しくなるなど、本末転倒な場合もあると聞きます。

平井 介護保険で使えるサービスがわからないと言って、私のところに来る方が結構いますよ。身近な相談窓口である地域包括支援センターを知らない方も多く、何に困ってどうしてほしいのかを私が聞いて伝え、つなげています。そこで、横の意見交換が大切だと知り、地域交流スペースここからカフェ、地域包括支援センター、目黒区の生活支援コーディネーター、ケアマネジャーの4者で意見交換会を始めました。これからも町会や各団体の方々とつながり、取り組みを広げていきたいですね。

高齢者福祉と地域のいま

奈良 地域包括支援センターは、高齢者の生活課題のワンストップの相談窓口として生まれたはずですが、自治体から委託事業をたくさん受けて、日々忙しくしていますね。例えば、認知症で気になる方がいるという地域住民からの通報が自治体に入ると、かつては自治体が受けとめていたのが、今度は近くの地域包括支援センターで対応してほしいと、制度で線引きされており、その件数も増えている。

最近では地域ケア会議で忙しく動き回っていて、住民の生活課題によりそうのが難しくなっていると思いますね。

桜井 いや、僕は地域のパワーを活用すれば、結構簡単に解決できると思っています。60～70歳代ぐらいの方は力になりたいと思う人が結構いるんですよ。

平井 私も20年前に両親の介護を経験しました

が、あのとき話を聞いてくれるところがあればよかったなと。けど今、どこの施設職員も日々の仕事に追われ、利用者の心に向き合うのは難しく、一人ひとりの話を聴くことができない。そこで、心の居場所をつくりたいと思って、おとしから交流スペース「ここからカフェ」を始めましたよ。

月1～2回、「お茶べりば」というお茶会を開いています。地域の方、施設の利用者さんや職員、ボランティアさんが交わり、垣根や肩書は全部取っ払いましてお話をします。利用者さんは外の風が入ることで社会とつながり、地域の方も改めて施設を理解してくださっています。

施設と地域住民が協力する意味

平井 私も話を聴く中で、施設の利用者さんと地域住民が抱えている問題は同じだとわかって。「話し相手がいない」「長生きするとは思わなかった」「健康に不安がある」「普通にできたことができなくなって惨めになる」「1人でいると寂しい」「生きがいがいない」と。

でも、そうした方がカフェに参加すると、「今日はよかった」と言ってホッと安心するようですね。ときには、若いころの恋愛話、実は戦争時代も青春だったのよという話で急にわくわくして、そういう話ができるのはすばらしいなと。

町 平井さんは心の居場所として「ここからカフェ」をスタートさせたということですが、各地で様々なカフェが誕生しています。地域住民が参加するもの、介護や医療の専門職が集まるもの、



地域交流スペース「ここからカフェ」のハンドマッサージの様子

認知症の人と家族が集うものなど、私もいくつか参加させていただいていますが、まさに地域の中で顔の見える関係を作るのに一役買っています。日頃から人とのつながりを持つという意味で、こういう場所が点でふえていくのが大事ですね。

以前、高齢協さんのお手伝いをしたときに、施設で働く若い職員たちが「ほかの施設の人と話す機会がない」と言っていました。福祉の現場で働く彼らも孤立させてはいけないなと感じました。

桜井 施設内でやると、住民は施設に行く感覚になってしまうんですね。団地の集会所など、施設からすると出張でやっていただくと、参加者は生活の一部になります。これからは施設関係の方が、今まで以上に地域に出向くサービスを広げていただいたり、それに働きかける僕みたいな住民を街中で巻き込み育てたりしていただくといいですね。

奈良 文京区では大学が多い地域性を活かし、地域包括支援センターの職員が学生さんと連携して認知症カフェ（コミュニティサロン）の立ち上げを支援しています。また、高齢者の方や地域住民の方も地域の高齢者を支える様々な取り組みにも

支援者として入っていますね。

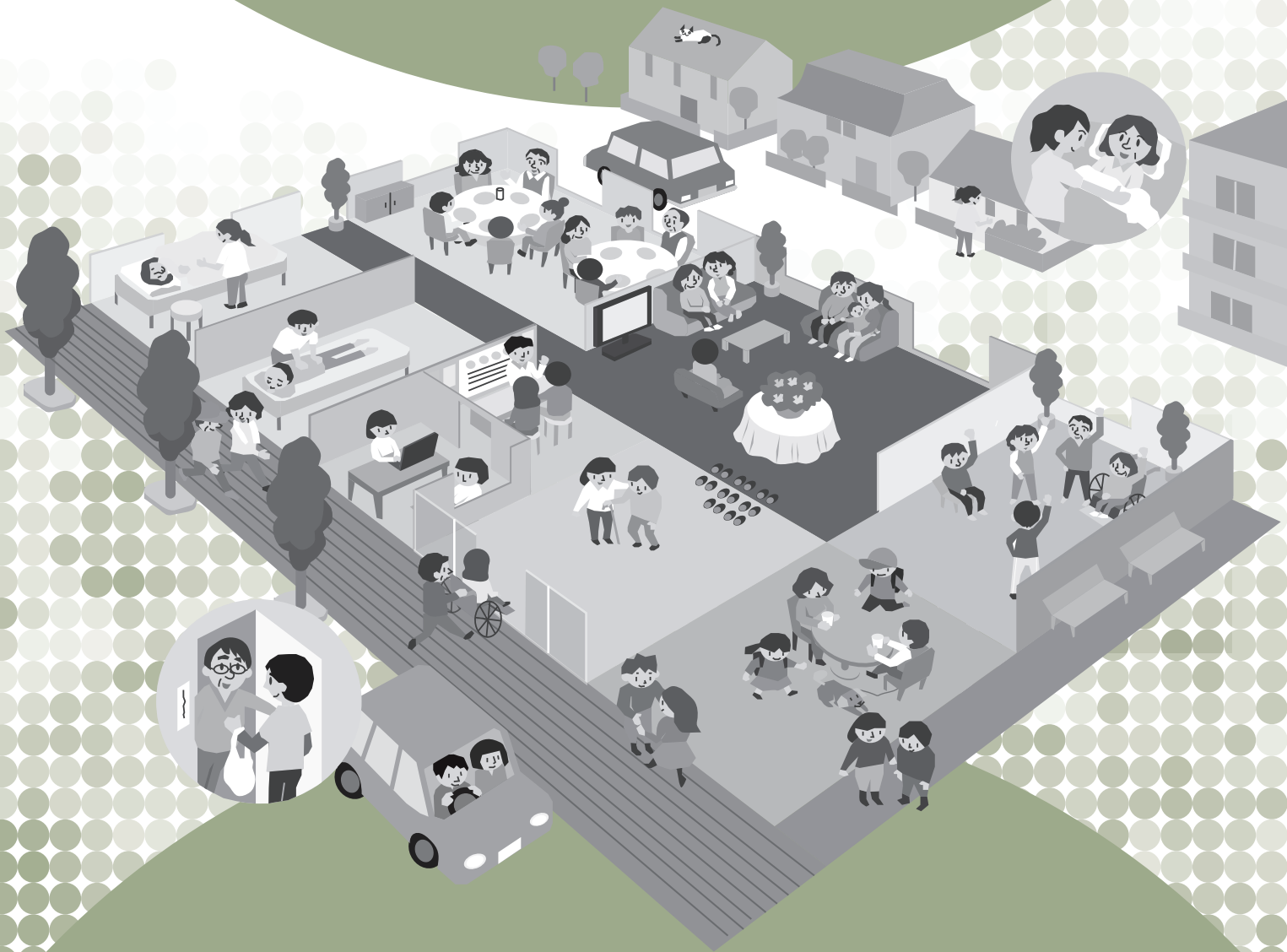
福祉、介護の仕事や地域の仕組みを作る仕事は感情労働みたいなのところがありますが、それぞれの地域の実情に応じた地域課題に住民が目を向けていただけるための仕掛けづくりをどう進めていけるかが一番のキーワードになると思っていますよ。



2017年1月30日
飯田橋レインボービル会議室にて収録

Ⅱ

地域のニーズに こたえるヒント



地域へ出ていく意義について考える ～地域の中の施設とは～

つながれ ひろがれ ちいきの輪 実行委員

奈良 高志

社会福祉法人 信愛報恩会

文京大塚みどりの郷 施設長

(所属は2017年3月当時)



制度からみる施設

「指定介護老人福祉施設基準省令」第34条第1項には、特養は「地域に開かれた施設」として運営することが定められ、地域の住民やボランティア団体等との連携及び協力を図らなければならないと定められています。この文言を見ても特に違和感はありませんが、第2項では、特養は市区町村が行う事業に協力するよう努めなければならないとされています。なお、この「市区町村が行う事業」とは、利用者の苦情に対して相談員を施設に派遣して対応する「介護相談員派遣事業」、広く市区町村が老人クラブ、婦人会その他の非営利団体や住民の協力を得て行う事業を含むとの解釈です。

特養が地域に開かれた施設といわれて久しいのですが、ここで注目したいのは、市区町村が地域の住民を対象とした幅広い事業の協力を努めるという部分です。

また、通所介護については、平成27年度の制度改定で、生活相談員がその勤務延べ時間内において「地域の町内会、自治会、ボランティア団体等と連携し、利用者に必要な生活支援を担ってもらうなど社会資源の発掘、活用のための時間」が認められました。（「指定居宅サービス等の事業の人員、設備及び運営に関する基準」第7章通所介護）

なお、この他「地域ケア会議」「サービス担当者会議」への参加も支障のない限り認められることとなりましたが、キーワードは「利用者の地域生活を支えるための社会資源の発掘・活用」ということです。

また、平成28年度改正社会福祉法において、社会福祉法人の「地域公益活動の責務化」が示されたことは、記憶に新しいことです。

本来の意義について

さて、これらは法的な根拠として、まさしく「なさねばならぬ」という説明でしたが、そもそも福祉施設は、地域の中で一定の公共性と自律性を持ちながら運営してきた歴史的な経緯があります。地域貢献（ここでは社会貢献と同様にとらえます）とは、本来は「法律で縛られるものではなく、実施主体の自発性をもって自律的に行われるもの」と考えます。東京都高齢者福祉施設協議会（以下、「高齢協」

とします)で、平成27年に実施した「社会貢献事業実施に関するアンケート調査」(対象：都内特別養護老人ホーム436施設、養護老人ホーム34施設、軽費老人ホーム42施設、計512施設)において、調査時点で社会貢献を実施している施設が65.6%を占め、内訳をみますと「社会福祉法人の負担による利用料などの減免」が68.1%、「人材育成事業」26.0%、「総合相談事業」25.5%と続いています。また、今後必要とされる社会貢献の中身として、生活支援70.7%、総合相談58.5%、社福減免51.4%、アウトリーチ49.8%となっており、社会福祉法人が連携して行う必要性を65.9%の施設(社会福祉法人)が感じております。

社会福祉法人は、もともと地域の福祉ニーズに対して、無償または低額で事業を提供することが求められ、その非収益性の事業を実施するために非課税となっております。

それでは特養等の施設では、何をもって地域の福祉ニーズに対応していると言えるのでしょうか。

まず、地域の福祉ニーズを把握することから始まります。地域の福祉ニーズは一律ではなく流動的です。それは地域に暮らす人々の地理等の周辺環境、家屋等の住環境、高齢者人口の出現率(支援を要する方たちの構成比や世帯構成)、医療機関や福祉・介護施設、各種公共施設、医療・介護サービスの分布状況との対比の中で把握されます。例えば、平均的な高齢化率の地域で、周辺環境として坂道が多く、幹線道路まで要介護状態の高齢者が移動するのが大変困難な地域特性を仮定します。高齢者世帯の内訳が、高齢者のみの世帯と一人暮らし高齢者の割合が60%とすると、当然のように高齢者が単独で坂を下っての移動や付添い者の介助も難しいことが想定されます。ここまでは、市区町村の高齢者実態調査等から把握することができますが、さらに、個々の高齢者の生活ニーズを知るためには、対象者に対してアウトリーチすることで、丁寧に検証していくことになります。

地域を支えるためには、①支援を要する高齢者の生活ニーズに対して、早期の対応をとることにより、要介護状態となることを予防する。②周辺住民の緩やかな見守り等の支援ネットワークを形成するための住民等への啓発につなげる。③個々のニーズの積み上げがその地域課題の把握へとつながり、地域の社会資源の創出に向けた取り組みが期待される等、まさしく包括的な視点をもつことが大切です。

このような一連の取り組みを通して、新たな課題解決に向けての視点が形成され、地域に向けた福祉的な実践活動における成功体験の事例が生まれます。施設は、地域に向けた対応力を向上させ、職員の意識改革を促します。職員は地域課題に敏感となり、地域に暮らしている高齢者への関心を高めます。関心が高まれば、さらに支える力が磨かれます。

そして、日々施設利用者への福祉サービスと向き合っている職員が、地域の高齢者に対しての支援方法の在り方を考えることは、支援の幅を広げます。幅が広がれば、自ずと支援する側の可能性を引き出す結果になります。

一方、多くの地域の方や、地域の幅広いニーズと向き合うたびに、施設単体での対応力では限界のあることを思い知らされます。ここで、さらに様々な公私にわたる機関との連携と協働が欠かせない現実直面することになります。

ここで私たちは、原点に立ち返ることを学びます。すなわち、「施設利用者への福祉サービスの質と地域に向けた支援とは車の両輪であること」、どちらかが高めればもう一方も比例して支援の質が高めることを確信できるはずです。

実践事例

地域に根ざして社会福祉法人の すべての機能を有効に！ ～施設・法人内連携～

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実行委員

清野 哲男

社会福祉法人 多摩同胞会

府中市地域包括支援センターあさひ苑 センター長



地域包括支援センターが地域包括ケアシステムの中心となって、地域住民を巻き込んだネットワーク作りを目指して早10年が経過しました。介護予防の普及啓発などを通じて出会えた力溢れるシニアの方々の中にも、2025年問題を自らに関連づけて考えられる方が多く現れ出しました。地域の高齢者の課題を一緒に考える中で、独居および高齢のみ世帯の孤立や認知症高齢者の日常生活の困窮が大きな課題であることを相互に認識しています。

今までも、地域の皆様には、特養における調理補助、リネン交換、デイサービスでの見守りボランティアとして活躍してもらっていた実績がありました。しかし、数年前に法人として地域貢献の事業を検討したときに、特に食生活の乱れが、高齢者の在宅生活継続を脅かすことに気付き、見守





りを含めた配食サービスを考案することになりました。毎日特養、デイサービス向けに何百食も作っている施設の厨房が食事を提供し、配食のための車輜及び日々のコース作成を高齢者在宅サービスセンターが担い、地域包括支援センターが出会った地域の前期高齢者に配食時の運転、食事の盛り付けを行ってもらい、お届けにつなげる。このように、社会福祉法人と地域との出会いを具体的な事業として実施することで、絵に描いた餅でしかない「地域包括ケアシステム」という造語を価値ある結びつきに昇華して行くことを目指しています。

今後も、一般介護予防事業や認知症サポーター養成講座で啓発された皆様を、有償・無償のボランティア、さらには、総合事業におけるB型事業の担い手になっていただくべく、新たな市民との出会いを心がけたいと思います。

社会福祉法人が自らの機能だけで行う小規模多機能型介護ではなく、このように地域の皆様や様々な関係機関を巻き込み、法人内のすべての事業を有機的に機能させる「大規模多機能型」支援システムが、今、求められています。

地域づくりの黒子役 ～地域アセスメントの専門性を高めて～

つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実行委員

阿部 敏哉

社会福祉法人 武蔵野

武蔵野市桜堤ケアハウス 統括施設長

(所属は2017年3月当時)



小地域におけるさまざまな支え合いづくりやまちづくりの糸口は、地域での自治会や住民団体の総会で、また小さな集まりの機会をとおして、住民同士のちょっとした会話から気になる人や、困った人がいる話を耳にすることから始まります。困っていること自体も気づかず、SOSの発信方法も知らない人が孤立し、その住民を周囲の人たちが気にかけているのを知ったならば、私たちは地域づくりに動かなくてはなりません。住民とともにその地域ならではの課題や生活課題を共有し、住民主体での課題解決の仕組みを一緒に考えていきます。

武蔵野市桜堤ケアハウスの近隣にある高齢化が進んでいる団地では、自治会と当施設が共同でコミュニティ食堂を週に1回、開催しています。この食堂は、団地内に気になる人や困った人がいて、周りが困り果てていたところから始まりました。住民と一緒に調査を行い、必要とされる事業の一つとして住民主体の食堂をオープンしました。また、別の戸建住宅の地





域では、高齢者は家族と同居している方が多く、若い世代は働きに出てしまう日中は一人ぼっちになっています。災害時には孤立し困窮してしまうのではないかと、若い人の手がなくて、平日の通院、行政手続き、買い物等に困ってしまうなどの声がありました。この地域でも住民と一緒に調査して、まだ声を上げていない住民や、潜在的に困っている人の声を聴く必要性を確認しました。誰もが足を運べる複数の集いの機会（お茶会、おしゃべり会、食事会等）を設置して生の話を聴こうと、今はその準備に入っています。

私たちが日々行っているアセスメントは、フィジカルアセスメント（高齢者を見て、聞いて、触れていく中での観察、身体評価等により判断）と、社会福祉アセスメント（相手と信頼関係を構築し、言葉や表情の背景にあるもの、置かれている立場を理解しながら、要望とニーズを精査）です。しかし、目の前にいる高齢者だけではなく、地域の中でうもれている高齢者やその家族も、地域での生活を住民と共に支えていくために、私たちは、地域の特徴を知り、社会資源と地域の生活支援ニーズを把握して、住民等とアプローチの仕方を考えていく地域アセスメントの専門性を高めていくことが求められています。これこそ社会福祉法人が担うべき役割となります。

実践事例

地域の小学校との 「里孫活動」を通じた交流

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実行委員

西岡 修

社会福祉法人 白十字会

白十字ホーム 施設長



はじまり

地域の小学校との不定期な交流を通じて、子どもたちと交流する時の利用者の皆さんの表情やいきいきとした様子、子どもたちのやさしさや穏やかな行動を目の当たりにして、小学校の先生、ボランティアそしてホーム職員それぞれから、もっと継続的な交流活動をしていきたいと思うようになりました。

学校から、新5年生を担当する先生の研究授業として取り組みたいという相談を受け、1992年4月に里孫活動が始まりました。

活動の経過

4人の子どもたちが2人の利用者と、5年生・6年生の2年間継続的に交流するプログラムがはじま



りました。孫のような活動ということで、「里孫活動」と命名しました。

当初は研究授業として、1クラスが6年生までの2年間の取り組みとして始めました。しかし、夏休みが過ぎると、交流する子どもたちの様子をみて、別のクラスの5年生も加わり、100人の子どもたちとの交流になりました。

クラス単位での訪問、学校やホームの行事へ相互参加に加え、担当する子どもたちが個別の利用者のところに訪問し、利用者が学校を訪問する活動が始まりました。学校とホームの移動は主に車椅子です。保護者の皆さん、ボランティア（社会福祉協議会のボランティアセンターが調整）の協力で大移動する様子は、町内でも話題になりました。



ホーム職員は、子どもたちがボランティアとして利用者と交流する活動と思っていました。ある利用者から「ボクに教育ができるかな…」という心配を伺って、実は利用者もボランティアであることに気づかされました。子どもたちと利用者がお互い様の関係であることに、先生、保護者やボランティアの皆さんも気づかれました。

これからも紡がれていく人と思い

2年間で終わる予定だったプログラムは25年間継続してきました。それには「里孫活動」が子どもたちにとって、そしてPTAや地域の皆さんにとっても「大切な活動」であるという思いが支えになっているからだと思います。また地域が小学校の子どもたちを「地域の子どもたち」として見守る活動にもつながり、たとえば老人クラブの校内安全巡回活動などに拡がりました。

里孫活動に参加した子どもたちは、これまでに3千人を超えています。中には、社会福祉の仕事をめざし、実習にやってくる卒業生もいます。担い手不足の中で、その確保の役に立つことは大切です。しかし高齢者との交流を通じた体験が、社会人となって、仕事や暮らしの中で役に立ったことなどを聞くと、里孫活動が福祉の裾野を拡げるきっかけとなっていることを実感します。

いま学校では、教科が増えて授業時間のやりくりで苦労されています。そうした中でも、新学期になって新5年生たちの活動が始まっています。

小さなきっかけから地域に向けて動き出そう ～「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」 キャンペーンを通して～

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実行委員

樋熊さとみ

社会福祉法人 同胞互助会
養護老人ホーム偕生園 施設長



私が勤務する法人は、昭島市で60年近い歴史があり、地域の方々との交流も深く、地域に根ざした事業を展開しており、キャンペーンには5つの事業をエントリーしました。

その中の1つに、「楽夢（らくむ）食」という学習会があります。これは、漢方医である法人理事長の「健康の秘訣は食事にある」という信念を、地域の方々へわかりやすくワンポイント講座でお伝えし、栄養士が簡単にできる栄養満点レシピを作り、皆で調理実習をするという企画です。当初は数人しか集まらなかったそうですが、口コミで広まり、今では毎回40～50人の参加者があり、すっかり地域の中





で定着した活動となっています。

この活動のきっかけは、施設の栄養士が、施設で活動される高齢のボランティアさんのお弁当を見て、「あれ？」と気づいたところから始まりました。そこから地域の高齢者の「食」に疑問を感じ、独自にアンケート調査を実施し、見えてきた現状をふまえた上で健康と食改善の啓蒙活動「楽夢食」へとつながっていったのだそうです。

これまで同じ法人内とはいえ、他部署の活動状況になかなか触れる機会が無かったのですが、このキャンペーンに参加することで自分の法人を知るいい機会となりました。

私たち社会福祉従事者は、ともすると、制度や種別が違うと、同じ法人でもよく知らない、同じ種別であったとしても、他の地域、市区町村だと分からないという事が多いです。

今回、「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」に121の事業の参加があり、様々なエリア、市区町村の施設、団体が多種多様な地域活動を行いました。

今まで、それぞれの活動を「点」とすると、このキャンペーンを通して、地域の中での「点」と「点」がつながり、また、互いに知らない同士の「点」と「点」がつながりひろがり、各地に大小の「地域の輪」が広がっていくという、まさしくキャンペーンの言葉そのままに、大きな渦が実感できて感動しました。

次年度はもっと大きな渦となるように、皆さまも地域に向けて動き出してみませんか。

Ⅲ

きっとみつける！ あなたのまちの「ちいきの輪」 ～キャンペーン取組みレポート～



つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO とは？

東京の高齢者福祉施設がお互いに協力しながら、地域によりそうためのイベントや交流会を各地で一斉におこなうキャンペーンです。

地域包括ケアを推進し、だれもが安心して暮らせるまちづくりのために、地域で暮らす方々がつながり、その輪がひろがることをめざしています。

2016年 キャンペーン実績

実施期間 2016年10月1日～11月30日

実施数 都内39区市町村で121事業・979団体

参加数 延べ19,179名

※詳細はP160参照

この章では、2016年度のキャンペーンにおける各施設・事業所の取組みについて下記のテーマ別で掲載しております。

実施施設・事業所取組みレポート テーマ一覧

	テーマ	内容例
Ⅰ 高齢者を支える	1 認知症	・ 認知症カフェなど認知症高齢者やその家族を対象とした事業
	2 介護予防・高齢者支援	・ 介護予防教室など高齢者を対象とし、閉じこもり防止や交流を目的とした事業
	3 アウトリーチ	・ 高齢者や地域住民を対象とした訪問・見守り・配食活動
Ⅱ 多世代交流を支える	4 相談・家族支援	・ 福祉や介護に関する相談の場の提供 ・ 介護をする家族を対象とした講座
	5 カフェ・居場所	・ 多世代を対象としたカフェなど地域住民誰もが交流や食事ができる場所の提供
	6 学びの機会	・ 地域住民に対する学びの場の提供
Ⅲ 地域を支える	7 地域団体との協働	・ 1施設だけでなく自治会や学校など、地域団体やその他の団体と複数で協働して行っている事業
	8 地域交流	・ 地域住民を招き、交流する事業
	9 防災	・ 防災訓練や福祉避難所など、地域の防災に関する事業

高齢者福祉施設での取り組み例



オレンジカフェ（認知症カフェ）

認知症の方とそのご家族が参加する認知症カフェ。

介護への悩みを分かち合い、解決のヒントを探しながら、顔なじみの関係を築いています。

（晴海苑／中央区）

詳細はP24



食 de つながれひろがれ日の出町の輪

地域のイベントへの食品販売ブースへの出展。

困った時に頼れる施設を目指して、近くの高齢者施設同士が協力し、多様な人との交流を行っています。

（藤香苑・栄光の杜・ひのでホーム／日の出町）

詳細はP138

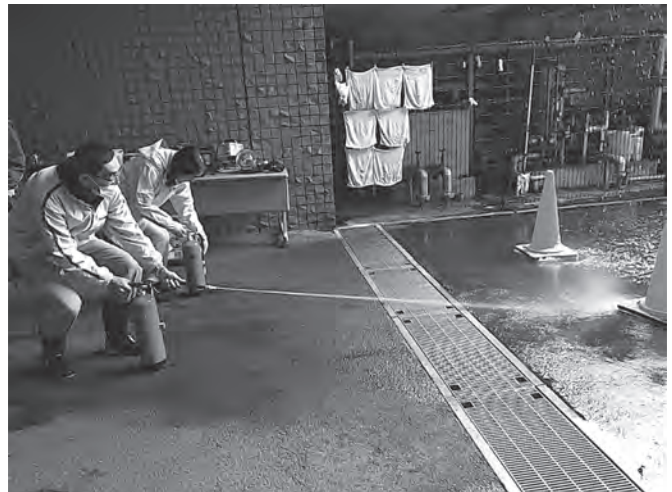
災害時応援協定者 合同防災訓練

町内会と高齢者3施設による合同防災訓練。

消防署、警察署、区役所、医師会の方にもご協力いただき、まちの安全を守るためにできることを一緒に考えています。

（ケアタウン成増・音羽台レジデンス・オーネスト成増／板橋区）

詳細はP139



つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 2016 実施施設・事業所一覧

テーマ	No.	区市町村	施設種別	主催団体名	事業・イベント名	掲載ページ
認知症	1	中央区	支援	高齢者総合福祉施設 晴海苑	オレンジカフェ	24
	2	北区	支援	赤羽地域包括支援センター	オレンジカフェきたいな「にこにこカフェ」	25
	3	北区	支援	赤羽地域包括支援センター	認知症サポーター交流会	26
	4	豊島区	デイ	高齢者在宅サービスセンター山吹の里	仄仄（ほのぼの）カフェ	27
	5	豊島区	デイ	デイサービス長崎いずみの郷	認知症カフェ「いずみサロン」	28
	6	豊島区	特養	特別養護老人ホーム風かおる里	そよかぜカフェ・ひまわり	29
	7	豊島区	支援	西部地域包括支援センター	寸劇で楽しく学ぶ認知症サポーター養成講座	30
	8	板橋区	特養	みどりの苑	グリーンカフェ（悪質商法防止の講演会）	31
	9	江戸川区	特養	暖心苑	オレンジカフェ	32
	10	世田谷区	デイ	社会福祉法人大三島育徳会	タガヤセカフェ	33
	11	日野市	特養	高齢者福祉総合施設 マザアス日野	認知症コミュニティ「あったカフェ」	34
	12	小平市	支援	社会福祉法人緑友会	おれんじカフェ おがわ	35
	13	東村山市	特養	社会福祉法人はるび	はるびの郷キャンペーン（施設見学とふらっとカフェ）	36
	14	福生市	特養	第2サンシャインビル	認知症オレンジカフェ	37
介護予防・高齢者支援	15	渋谷区	特養	社会福祉法人パール	パール介護予防プロジェクト	38
	16	豊島区	特養	特別養護老人ホーム養浩荘	顔みて食べよう会	39
	17	豊島区	特養	特別養護老人ホーム千川の杜	らくゆうサロン千川の杜	40
	18	台東区	デイ	台東区立みのわ高齢者在宅サービスセンター	みんなで歌おう会	41
	19	足立区	デイ	紫磨園在宅サービスセンター	クローバーサロン	42
	20	江戸川区	特養	おしゃべりクラブ（協力：暖心苑）	おしゃべりクラブ	43
	21	杉並区	デイ	南陽園在宅サービスセンター	ももの木トレーニング	44
	22	目黒区	特養	特別養護老人ホーム中目黒	地域交流サロン・会食サービス	45
	23	目黒区	特養	ひがしやまホームボランティアグループ（協力：特別養護老人ホーム東山）	交流サロンひがしやま	46
	24	町田市	特養	特別養護老人ホーム友愛荘	ゆうあい広場「高齢者のための食事」～講習会と実演調理	47
	25	昭島市	その他	栄養ケアステーション愛全園	栄養食（らくむ食）	48
	26	武蔵村山市	支援	武蔵村山市南部地域包括支援センター	むさし村山苑 なんぶーサロン	49
	27	檜原村	特養	松原サナホーム	松原村ふれあいサロン	50
	28	江戸川区	支援	泰山	月に一度の安否確認	51
アクトリチ	29	日野市	デイ	浅川苑	夕食お届けサービス試食会	52
	30	日野市	デイ	デイサービスセンター マザアス多摩川苑	マザアス多摩川苑 配食サービス	53
相談・家族支援	31	文京区	連絡会	アクティブ介護28～文京みんなのつどい～実行委員会（協力：文京施設長・センター長会）	日々の体力づくりで、幸齢者に！	54
	32	北区	連絡会	北区高齢者福祉施設長会	区内施設紹介・事例発表・相談会	55
	33	板橋区	特養	みどりの苑	介護者サロン	56
	34	台東区	特養	特別養護老人ホーム浅草	日曜レストラン	57
	35	中野区	特養	社会福祉法人ケアネット	家族介護教室「体にやさしい介護」	58
	36	杉並区	特養	特別養護老人ホーム和田堀ホーム	和田堀カフェ～介護の心配事、困っていることなど何でも相談下さい～	59
	37	練馬区	特養	練馬キングス・ガーデン	家族介護者教室「負担の少ない介護技術講習」	60
	38	昭島市	その他	社会福祉法人同胞互助会	昭島NST（栄養サポートチームによる在宅介護の学習会・事例検討会）	61
	39	武蔵野市	軽費	武蔵野市桜堤ケアハウス	介護と福祉の地域広場	62
	40	武蔵野市	デイ	ぐっどういる境南	ぐっどういる境南まつり「いきいき相談会」	63
	41	あきる野市	特養	特別養護老人ホーム麦久保園	介護の日 懇親会	64
カフェ・居場所	42	豊島区	デイ	養浩荘高齢者在宅サービスセンター	アートカフェ	65
	43	江戸川区	特養	暖心苑	カフェ暖暖	66
	44	江戸川区	支援	泰山	カフェ泰山	67
	45	中野区	その他	社会福祉法人フロンティア高齢者グループホームおさたけ	みんなのランチ	68
	46	練馬区	特養	特別養護老人ホーム光陽苑	陽だまり喫茶	69
	47	目黒区	特養	なのはな結の会（協力：特別養護老人ホーム中目黒）	ふれあいの居場所	70
	48	日野市	支援	日野市地域包括支援センター多摩川苑	たまカフェ	71
	49	町田市	特養	社会福祉法人芙蓉会～ほっとステーション～ながれぼし	フラダンス・音楽会	72
	50	町田市	特養	清風園	にこにこ清風食堂（こども食堂）	73
	51	調布市	デイ	調布市国領高齢者在宅サービスセンター	だれでもカフェ「こくりようカフェ」「ぶちカフェ」	74
	52	武蔵野市	軽費	サンヴァリエ桜堤自治会（UR団地自治会）（後方支援：武蔵野市桜堤ケアハウス）	よりあい食堂かよう	75
	53	あきる野市	デイ	あすなろみんなの家	ふれあいお茶飲み会	76
学びの機会	54	千代田区	支援	社会福祉法人多摩同胞会	多摩同胞会創立70周年記念シンポジウム 神田の福祉～安心して住み続けるために、地域包括ケアを考える～	77
	55	港区	支援	港区立芝地区高齢者相談センター	住み慣れたこの街で最期まで暮らしたい	78
	56	文京区	合同	特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷 特別養護老人ホーム文京くすのきの郷	地域の中で自分らしく暮らしていくためには ～最期の時まで素敵な時間に～	79
	57	板橋区	デイ	東京武蔵野ホーム	地域高齢者の消費生活トラブル防止対策！ ～高齢者見守り人材向け出前講座～	80
	58	台東区	支援	あさくさ地域包括支援センター	街づくり懇談会	81
	59	目黒区	特養	特別養護老人ホーム東が丘	地域セミナーおよび高齢者施設見学会	82
	60	世田谷区	特養	特別養護老人ホーム久我山園	看取りシンポジウム～生の行く末をみつめる～	83

Ⅲ きっとみつかる！あなたのまちの「ちいきの輪」

テーマ	No.	区市町村	施設種別	主催団体名	事業・イベント名	掲載ページ
学びの機会	61	三鷹市	特養	特別養護老人ホーム恵比寿苑	介護食ってどんなもの～高齢者向けの食事を食べてみよう～	84
	62	府中市	特養	社会福祉法人多摩同朋会	緑苑・安心シニア塾	85
	63	府中市	その他	社会福祉法人多摩同朋会	しらとり学習サポートサロン	86
	64	立川市	特養	社会福祉法人至誠学舎立川	至誠キートスホーム ボランティア養成講座	87
	65	昭島市	その他	地域活動「げんき食」実行委員会 (協力：社会福祉法人同朋互助会)	「げんき食」健康フェスティバル2016	88
地域団体との協働	66	文京区	連絡会	アクティブ介護28～文京みんなのつどい～実行委員会 (協力：文京施設長・センター長会)	アクティブ介護28～文京みんなのつどい～	89
	67	北区	特養	王子光照苑	王子光照苑祭	90
	68	北区	特養	新町光陽苑	新町光陽苑 秋祭り	91
	69	豊島区	その他	社会福祉法人フロンティア	学習支援事業所への無償パン提供	92
	70	足立区	特養	社会福祉法人敬仁会	社会福祉法人敬仁会『ふれあいあはあとまつり』In Tokyo 西新井	93
	71	墨田区	特養	墨田区特別養護老人ホームたちばなホーム	たちばな祭	94
	72	江戸川区	特養	社会福祉法人江東園	お年寄り疑似体験	95
	73	江戸川区	連絡会	江戸川区（協力：江戸川区熟年者福祉施設連絡会）	江戸川区民まつり	96
	74	江戸川区	連絡会	江戸川区 介護フェア実行委員会 (協力：江戸川区熟年者福祉施設連絡会)	江戸川区2016介護フェア	97
	75	江戸川区	支援	泰山	小岩地区自治会開催の「集い」への協力	98
	76	杉並区	その他	社会福祉法人浴風会	まるわり！あんしん介護フェア2016	99
	77	練馬区	特養	練馬高松園	まつぱくりサロン	100
	78	練馬区	特養	第二光陽苑	第二光陽苑 秋まつり	101
	79	目黒区	特養	菅刈住区住民会議 (協力：特別養護老人ホーム青葉台さくら苑)	菅刈住区住民会議「菅刈公園フェスティバル」	102
	80	目黒区	特養	特別養護老人ホーム青葉台さくら苑	さくら苑 納涼祭	103
	81	世田谷区	特養	多摩川癒しの会（協力：博水の郷）	多摩川癒やしの会 秋の芋煮会	104
	82	八王子市	合同	偕楽園ホーム・初音の杜・ファミリーマイホーム・多摩特養老人ホーム	八王子介護フェア	105
	83	八王子市	特養	浅川ホーム・清明園	もみじ祭り	106
	84	八王子市	養護	八王子市立陶鎔小学校（協力：養護老人ホーム竹の里）	福祉体験授業（5年生対象）	107
	85	日野市	特養	あさかわ祭り実行委員会（協力：浅川苑）	第14回あさかわ祭り	108
	86	町田市	特養	特別養護老人ホーム杏林荘	杏の里 秋まつり	109
	87	多摩市	特養	特別養護老人ホーム愛生苑	第2回WADAミュージックフェスティバル in 愛生苑	110
	88	武蔵村山市	特養	特別養護老人ホーム伊奈平苑	地域の高齢者を招いての食事会とミニコンサート	111
	89	武蔵村山市	特養	特別養護老人ホームむさし村山苑	保育園児との交流会	112
	90	東村山市	連絡会	東村山市内社会福祉法人連絡会	市民向けイベント「第36回コロニー祭」「社会福祉法人敬愛会オペラ演奏」	113
	91	東久留米市	連絡会	東久留米市介護サービス事業者協議会	「介護の日啓発イベント 考えてみよう家族の介護、考えてみよう親の介護」	114
	92	日の出町	特養	特別養護老人ホーム第3サンシャインビル	地域ボランティア交流会	115
	93	豊島区	特養	特別養護老人ホームアトリエ村	アトリエ村バザー	116
	94	台東区	特養	台東区立特別養護老人ホーム台東	特養台東フェスティバル	117
	95	足立区	特養	特別養護老人ホームプレミアム扇	地域交流会2016	118
	96	葛飾区	特養	特別養護老人ホーム水元園	卓球教室	119
	97	葛飾区	特養	社会福祉法人仁生社	介護の仕事説明会	120
	98	墨田区	特養	社会福祉法人賛育会	はなみずきホームオープンハウス	121
	99	江東区	特養	特別養護老人ホームあそか園	第5回 あそか園地域交流まつり	122
	100	中野区	特養	しらさぎホーム	いきいきしらさぎフェスタ2016	123
	101	世田谷区	特養	特別養護老人ホーム千歳敬心苑	特養へ行こう！	124
	102	世田谷区	特養	特別養護老人ホーム砧ホーム	地域交流ふれあい施設見学会	125
	103	国立市	特養	特別養護老人ホームくにたち苑	くにたち苑バザー	126
	104	立川市	特養	社会福祉法人恵比寿会	第4回フェローホームズ秋祭り	127
	105	立川市	特養	特別養護老人ホーム砂川園	福祉祭	128
	106	昭島市	養護	養護老人ホーム偕生園	文化祭・フォーラム	129
	107	昭島市	特養	特別養護老人ホーム愛全園	納涼祭	130
	108	東村山市	連絡会	東村山市高齢者福祉施設連絡会	お年寄りの手作り作品展	131
	109	東村山市	連絡会	東村山市内社会福祉法人連絡会	東村山市内社会福祉法人施設・事業所の公開オープン	132
	110	東村山市	連絡会	東村山市内社会福祉法人連絡会	紹介パネル展	133
	111	東村山市	特養	白十字ホームフリーマーケット実行委員会 (協力：白十字ホーム)	第4回八国山フリーマーケット	134
	112	東久留米市	特養	社会福祉法人三育ライフ	シャローム祭	135
	113	東久留米市	特養	特別養護老人ホームけんちの里	文化祭	136
	114	あきる野市	デイ	あすなろみんなの家	開設25周年記念事業「つながれひろがれみんなの家と地域の“輪”」「第17回おばあちゃんのお店屋さん」	137
	115	日の出町	合同	ひのでホーム・藤香苑・栄光の杜	食de つながれひろがれ日の出町の輪	138
防災	116	板橋区	合同	ケアタウン成増・音羽台レジデンス・オーネスト成増	災害時応援協定者 合同防災訓練	139
	117	板橋区	特養	社会福祉法人至誠学舎東京みどりの苑	町会合同炊出し訓練	140
	118	江戸川区	特養	江戸川光照苑	地域との相互防災訓練	141
	119	目黒区	特養	菅刈住区住民会議 (協力：特別養護老人ホーム青葉台さくら苑)	菅刈公園防災訓練	142
	120	青梅市	特養	特別養護老人ホームやすらぎの家	BCPからBCCPへ合同防災訓練～防災協定書を見直そう～	143
	121	あきる野市	特養	特別養護老人ホームこもれびの郷	地域防災協定に基づいた防災訓練	144

中央区

社会福祉法人トーリケアネット 高齢者総合福祉施設晴海苑

オレンジカフェ
(認知症カフェ)

■開催日程 10/16 13:30~15:30

■参加団体 入所ご家族、地域住民

■参加人数 14名

実施の目的

認知症についての理解と共に、認知症介護についての情報交換や不安や苦痛などを言い合える顔なじみを作る。



当日の様子

お茶やコーヒーを飲み、ゆったりとした中でコミュニケーションについての講座を1時間ほど行う。話を聞くだけでなく、参加者同士でワークなどをしながらコミュニケーションについての理解を深める。初めて会った方ともワークを通してコミュニケーションが生まれ、笑顔で明るい雰囲気のもと講座を進めることができた。講座後はフリータイムでそれぞれコミュニケーションを図ってもらい、和やかな雰囲気のもと話が盛り上がっていた。

地域の課題

オレンジカフェの周知が進んでいない。認知症介護について悩んでいる方や不安を抱えている方は潜在的に多くいるはずだが、認知症や介護について世間に知られたくないと思っている方がまだまだ多くいるとの意見も寄せられる。また、在宅介護をしていく上では在宅診療を行っている医師が少ないという課題もある。

北区

社会福祉法人うらら 赤羽地域包括支援センター
オレンジカフェきたい～な「にこにこカフェ」
(認知症カフェ)

■開催日程 10/23 13:30～16:00

11/25 13:30～16:00

■参加人数 59名

実施の目的

認知症の人と家族、地域の誰もが参加できる交流、活動の場として開催し、地域の支え合いを促進する。医師や看護師等、専門職に認知症のことや介護等について気軽に相談ができる。



当日の様子

認知症サポーターが、会場の準備や受付、お茶出し、話し相手を積極的に担っている。参加者同士の会話が弾んで、あちこちから笑い声が聞かれた。医師や看護師に気軽に話しかけたり、相談をしている方も見られた。

地域の課題

認知症カフェという名称を気にして参加されない方がいる。また、カフェがあることを知らない地域の人たちにどのように伝えるか考えたい。

北区

社会福祉法人うらら 赤羽地域包括支援センター

認知症サポーター交流会

- 開催日程 10/31 10:00~11:30
- 参加団体 みずべの苑地域包括支援センター
十条地域包括支援センター
- 参加人数 35名

実施の目的

認知症サポーターのステップアップ講座、意見交換、交流。

当日の様子

認知症サポーターステップアップ講座は、認知症という病気の理解を中心に講義をうけていただいたが、皆さん熱心に講師の話に耳を傾け、認識を新たにされた様子であった。

グループワークのテーマは、「認知症サポーターとしてやっていること、できそうなこと」を話し合い、KJ法でまとめて発表をした。他の地域のサポーターさんのアイデアや活動を聞いたことが激になって沢山の項目があげられ、活発な意見交換になった。



認知症サポーターステップアップ講座

地域の課題

身近な場所でカフェやサロンがあると良いが、なかなか作れない。

認知症カフェやふれあいサロンでは参加者が固定化して、本当に参加してほしい閉じこもっている人たちにつながない。

豊島区

社会福祉法人フロンティア 高齢者在宅サービスセンター山吹の里

仄仄（ほのぼの）カフェ
（認知症カフェ）

■開催日程 10/17 13:00～14:00

11/21 13:00～14:00

■参加人数 17名

実施の目的

認知症カフェを通じて誰もが安心して参加できる居場所をつくる。地域のつながりをつくる。

当日の様子

口の健康についての話と、簡単にできる口腔体操を実施。その後、コーヒーやお茶を飲みながら会話を楽しんだ。地域住民だけでなく専門職も参加しているため、ちょっとした相談事をしている参加者もいた。初めて参加する方は緊張の面持ちだったが、帰るころには笑顔になり楽しかったという声が多く聞かれた。

地域の課題

地域活動に取り組む団体が増えてきているが、男性の参加者が少ない。男性でも気軽に参加できるような取り組みを企画していきたい。

豊島区

社会福祉法人フロンティア デイサービス長崎いずみの郷

認知症カフェ 「いずみサロン」

■開催日程 10/16（毎月第3日曜）

■参加人数 67名

実施の目的

認知症の方やそのご家族・地域の方たち、どなたでも自由に集まり、お茶を飲みながら楽しく交流することが目的である。



当日の様子

当日（10/16）はボランティアの方がお休みだったので、心配でしたが無事にオープンできた。初めての方も来園されて、お話が出来たので、よかった。毎回、顔を出してくれる近所の方、地域の方がお団子などの差し入れをしてくださったので、楽しくお茶することが出来た。

地域の課題

地域の方による地域のための誰でも利用できる拠り所を一つでも多く増やしていくこと。

豊島区

社会福祉法人豊島区社会福祉事業団 特別養護老人ホーム風かおる里

そよかぜカフェ・ひまわり
(認知症カフェ)

- 開催日程 8月より毎月第1・3月曜 12:30~14:30
- 参加団体 システムハイあいあい第二 アトリエ村地域包括支援センター
- 参加人数 37名

実施の目的

認知症の方やその家族が安心して現在の生活が継続でき、独居生活の方々に食事の提供を行うことで地域とのつながりを継続できるよう支援する為。



当日の様子

食事を召し上がった方達は皆さん「美味しい」、「いつもはこんなに食べないのに……」と。又、家族や職員から「この柔らかさはどうすれば作れるのですか？」等質問もあった。毎回、隣同士で会話がはずんでいる。

地域の課題

施設周辺にマンションが多い。独居の方も多く、外に出る機会が少なくなっている。

食事も簡単になりやすく、偏りやすい。環境が異なったり、人と対話することで、食欲も増すと思われる。

豊島区

社会福祉法人フロンティア 西部地域包括支援センター 寸劇で楽しく学ぶ認知症サポーター養成講座

■開催日程 11/20 14:00～15:30

■参加団体 長崎いずみの郷 千川豊寿園 養浩荘 くすのきの郷 大正大学

■参加人数 15名

実施の目的

地域の方に認知症について正しく理解し、学んでもらう。

当日の様子



認知症サポーター養成講座を実施、講座の一部で法人内にて取り組んでいる「フロンティア寸劇隊」による認知症クイズ劇を行った。参加者が認知症についての寸劇を見て、加齢によるもの忘れか、認知症による記憶障害かを挙手にて回答。寸劇を見て笑いが起こるなど、終始和やかな雰囲気となった。後半に数名ずつのテーブルをセッティングし、コーヒーや菓子を楽しみながら積極的な意見交換が行われた。地元住民の方だけでなく、ホームページを見て参加された方もあり、雰囲気が良いとの感想があった。

地域の課題

地域に、認知症について正しい理解を持ち、また認知症の方にちょっとした手助けをしたりできるような人が増えて欲しい。一般区民の方により多く受講してもらう機会が必要。

板橋区

社会福祉法人至誠学舎東京 みどりの苑

グリーンカフェ
(悪質商法防止の講演会)

■開催日程 10/17 10:30~15:00

■参加人数 11名

実施の目的

認知症の方や、認知症の家族の方、その他地域住民に向けて介護の相談に応じたり、施設を開放することにより、地域交流を目的とするもの。



当日の様子

毎月1回グリーンカフェ（認知症カフェ）を行い、コーヒーを飲みながら、地域住民の方の認知症の相談に対応したり談話をおこなっている。今回は、全国消費生活相談員協会から講師にきていただき、悪質商法の手口や被害にあわない方法、被害にあったときの連絡先等を事例も交えて説明をしていただいた。参加者の皆さん（地域住民7名、介護に携わる方4名）熱心に、また自分が被害にあいそうになった話をするなど皆さん興味深く聞かれていた。

地域の課題

消費者被害にあわない方法としては、被害情報を高齢者に伝えるのが一番の方法だと思うが、その手段として、町会や老人会等に赴いて伝えなければ情報は広がらないと思う。グリーンカフェの存在もまだ十分知られていない状況にあるため、施設職員がもっと地域へ出て行く必要性を感じた。今後もグリーンカフェの周知を図り、当施設が憩いの場や相談の場となることを目指したいと思う。

江戸川区

社会福祉法人東京清音会 暖心苑

オレンジカフェ
(認知症カフェ)

■開催日程 10/15 13:00~15:00

■参加団体 介護サポーターの皆さん

■参加人数 10名

実施の目的

認知症の方やご家族の交流、情報交換、相談、指導等。

当日の様子

今回のテーマ「昔の手遊び」とカフェ茶話会、体操などを介護サポーターの方々と一緒に行う。

地域の課題

独居高齢者、老老介護、認知介護の増加等、高齢化に伴う様々な問題が顕在化してきている。

世田谷区

社会福祉法人大三島育徳会

タガヤセカフェ
(認知症カフェ)

- 開催日程 10/29 (毎月1回)
- 参加団体 地域の団地の住民さん ボランティアで来ている地域の住民さん
地域の施設の相談員 カフェを開設予定のNPOの方 ケアマネージャー
認知症の方の介護をしている介護者 自分は軽度認知症があるという高齢者の方
- 参加人数 1回15名

実施の目的

カフェにはご本人、ご家族のほか介護の専門職も加わり、認知症についてお話をゆっくりしたいと考えています。日頃の介護の悩みを話し合ったり、相談したりする良い機会となればと思い、実施している。



当日の様子

今月のテーマは本格クッキングということで、参加者の方と秋の材料を使った、栗のモンブランを作った。エプロン姿となり、皆さま楽しまれていた。また、秋の唄をピアノの伴奏に合わせて歌う事もあった。昔のドラマの一場面を再現して、クイズにしたりと盛りだくさんの2時間となった。

健康面や介護保険のプチ勉強会を行う回もある。

地域の課題

- ・認知症により自宅から出ることができない状態の方の参加は難しいので、その方たちの受け皿、外出のきっかけになるよう工夫を考えていきたい。
- ・地域の資源（福祉施設、人材（相談員）、サービス、行政の取り組み）がまだまだ把握できていないので、勉強していきたいと考えている。
- ・町内会の会議が閉鎖的で、住民の方の参加が基本（事業所は難しい）である様子あり。地域密着のデイが参加できるような定期的な会議体への参加が必要と考える。

日野市

社会福祉法人マザアス マザアス日野

認知症コミュニティ「あったカフェ」

■開催日程 10/1～11/30の毎週水曜

■参加人数 444名

実施の目的

認知症になっても安心して暮らせる地域づくり。

当日の様子

平成27年9月30日にオープンしてから、毎週水曜日10：00～16：00の間なら、いつでも利用できるカフェとして地域の皆様に愛されてきた。入館料は100円だが、コーヒーと健康茶のお代わりが自由で、認知症の当事者、ご家族、地域の方、専門職など、どなたでも自由にご利用いただける。その一周年記念として、10月5日は入館料無料でおもてなしをさせていただいたところ、101名のお客様にご利用いただいた。普段は40名前後のお客様にご利用いただき、週1回だから必ず行くと楽しみにされている方がいる。常連さんがお友達を誘ってくれたり、カフェで親しくなったお客様同士が趣味の話で盛り上がったり、色々な出会いがあって、地域の輪はどんどん広がっている。



地域の課題

今は元気に暮らしていても「物忘れが多い」「高齢になった」ということだけで将来に不安を抱く方が大勢いらっしゃる。「あったカフェ」は、そんな地域の方に寄り添いたいと、毎週水曜日に営業をしてきた。このような地域づくりの場が、歩いて通えるくらい身近な場所にほしいという声をたくさん聞く。

小平市

社会福祉法人緑友会 おれんじカフェおがわ (認知症カフェ)

■開催日程 11/2 14:00～16:00
■参加人数 28名

実施の目的

地域の認知症の方とその家族の方がくつろぎ、地域の方と交流する場の提供。
認知症の家族がお互いにお話しをしたり、悩みをお話し出来る場の提供。

当日の様子

認知症の方、その家族の方、地域の方、特養の利用者が一緒にちぢみ作り（ホットプレート）をし、ちぢみを食べながらおしゃべりをし、楽しく過ごした。
その後、体操やゲーム（思い出しゲーム、お手玉回しなど）をしたり、皆さんで昔の歌を大きな声で歌ったりと楽しんでいただいた。

地域の課題

認知症の方の居場所が少ない、認知症の家族の方同士がお話しをしたり、悩みを語り合える場所がない。
地域の方の認知症への理解が低いなど課題が見えた。

東村山市

社会福祉法人はるび はるびの郷 はるびの郷キャンペーン (施設見学とふらっとカフェ)

- 開催日程 10/29
- 参加団体 秋津あんしんネット
- 参加人数 19名

実施の目的

施設、認知症カフェの紹介を通じて当法人の運営に関する理解と、認知症カフェのPR。また、学生も対象にしたため、地域の小学校、中学校、高校、専門学校、大学に告知した。



当日の様子

施設見学会は初めてという方が殆どで、みなさん真剣な表情で見学されていた。学生対象がコンセプトのため、イベントを土曜日に設定し近隣の小学校、中学校、高校、専門学校、大学に告知をしたが、学生の参加は当施設の過去にいらした実習生1名のみだった。

地域の課題

普段、ふらっとカフェ（認知症カフェ）をともに運営している地域の安心ネットのメンバーも「施設見学は初めてだ。」との声が聞かれた。利用予定がない方たちは、施設見学を進んでしないのだろうと思う。そのような方たちもまた、違う世代の方たちにも施設のことを理解していただけるような機会を設けていければと感じた。

福生市

社会福祉法人福陽会 第2 サンシャインビル

認知症オレンジカフェ

- 開催日程 10/9 11:00～12:00
- 参加団体 福生市地域包括支援センター
- 参加人数 15名

実施の目的

認知症介護をしている家族の方々が、日頃の悩みを語り合い交流を深める事や仲間作りができる機会とする事。専門職による情報提供も行う。



当日の様子

施設行事の文化祭があり、テーブルの周りには華道や手芸の作品展示や茶道クラブの野点等があり、和やかな雰囲気の中での開催となった。コーヒーとお菓子を召し上がりながら、ご本人は輪の中に入り参加された方や職員と展示品を見学された方等自由に過ごされていた。介護者の方々もお互いの介護生活をオープンにする事で家族同士の情報交換や励ましあえる会となり、とても良かったとの声が多く聞かれていた。

地域の課題

外出のきっかけや仲間作り、気軽に参加できる場所やイベント等更に必要だと感じた。

パール介護予防プロジェクト

■開催日程 10/1～11/30

■参加人数 427名

実施の目的

地域コミュニティ再生・早期の介護予防を目的とし、地域の方々のサポートの元、平成17年からプロジェクトを開始し、年々規模を拡大してきた。



当日の様子

この機会に茶道・英語教室等新たなプログラムを開催。予想を上回るご利用者を招く事ができ文化意識の高さを再認識した。また、地域のボランティアの皆様による音楽や舞踊にも多くの方が楽しみに訪れ、充実した時間を作ることが出来た。

地域の課題

要支援・介護認定を受けない元気な高齢者が出掛け、集うチャンスが少ない。

末永く健康を維持し、元気に過ごして頂く為にも機能訓練・趣味活動等を行い、社会交流できる場の提供が今後必要。

豊島区

社会福祉法人フロンティア 特別養護老人ホーム養浩荘

顔みて食べよう会

(閉じこもり予防、栄養改善のための集いの場)

■開催日程 毎月第3金曜 11:30～13:00

■参加団体 ボランティア

■参加人数 20名

実施の目的

高齢者の閉じこもり予防、栄養改善、社会的交流を目的として「集う場」の創設を目的とする。



当日の様子

毎回15人～20人の参加者が集い食事会を行えている。参加者からも「一人暮らしだと、たくさんの料理を作れないから、毎回料理を楽しみにしている」と好評である。参加者の中には、管理栄養士の作成したメニュー表を持ち帰り、料理の参考にしている方もいる。

会話が苦手な方にはボランティアや施設スタッフから話しかけることもあり、会話に花が咲くよう心掛けています。閉じこもり予防のため食事会の日程を忘れてしまう方には、当日に電話連絡を改めて行う等対応をしている。

地域の課題

高齢になると、外出の頻度が少なくなり、また食事を毎日一人で食べる方も多い。地域交流の希薄化も進んでおり、時には孤立死も見られる状況である。一人ひとりに合わせた地域交流を始めるきっかけづくりが必要である。

社会福祉法人七日会 特別養護老人ホーム千川の杜

らくゆうサロン千川の杜 (地域で支える交流の場)

- 開催日程 毎月第2火曜・第4土曜 10:00~12:00
- 参加団体 らくゆうサロン（サロンの為に地域の方と共に発足したグループ）
- 参加人数 50名

実施の目的

高齢者や介護者が外出する機会、交流の場として、また一人暮らしの方などを地域で支えるきっかけとして実施。



当日の様子

4月から定期的に実施してきているので、安定した運営ができています。火曜日は、お茶会（お話し交流）をメインとし、最後に体操。土曜日は、お茶会后、地域の演芸ボランティアをお呼びし、観覧がメイン。10月は、マジシャンを招き、驚き満載の手品を披露していただいた。最後に参加者ができるような手品をおしえていただき、手品グッズをみんなで作り楽しんだ。「家に帰ったら、近所の人に披露するわ」と楽しそうに話され、終わった後も長く余韻が残る楽しい会となった。

地域の課題

高齢者世帯が多く、引きこもりの高齢者も多い。対照的に元気で活発なお年寄りも多く、小さなボランティアグループもたくさんある。両者がうまくかみ合えば、とてもすばらしい地域になると考えられるが、うまく機能していない。行政も高齢者に対し、補助金等を活用した事業をいくつも展開しているが、うまく機能していない。社協もとても前向きにがんばっているが、質量的に難しい場合も見受けられる。

個人情報等の問題のために、必要な方に福祉の手が差し伸べられていない方々も多い。

台東区

社会福祉法人台東区社会福祉事業団 台東区立みのわ高齢者在宅サービスセンター

みんなで歌おう会
(地域に寄り添う会)

■開催日程 毎月第3水曜 13:30~14:30

■参加人数 25名

実施の目的

三ノ輪福祉センター地域発信型施設行事としてスタート、地域に開かれたプログラムを提供していくなかで、歌を通して地域の皆様と寄り添い楽しい時間を過ごす。



当日の様子

前半はピアノの伴奏で季節の歌、懐かしい歌、新しい歌などを皆さんで合唱していただく。誰でも歌えるように歌集を皆さんにお渡ししている。

後半はそれぞれご希望の歌をカラオケで歌っていただき大いに盛り上がった。

地域の課題

地域の方より：楽しみが少なく散歩等しているが、月1回の歌おう会を楽しみにしている。カラオケは好きである。回数を増やしてほしい。

クローバーサロン

(高齢者の地域のつながりを深める会)

■開催日程 毎月第1日曜 10:00～11:30

■参加人数 97名

実施の目的

民生委員や自治会と協働で、ひとり暮らしや外に出ていく機会が少ない地域のお年寄りが、生きがい活動と元気に暮らすきっかけづくりを見つけ、地域の人同士のつながりを深めることを目的として、お茶会やレクリエーションなどを行う。

当日の様子

生きがい活動として、レクレーションや手芸などのプログラムを事前に用意はしているが、参加者が「自ら楽しみたい事を行う」を掲げ、参加者にアンケートを取ったりして何を行いたいかをお聞きして行っている。

特に手芸の鉛筆立て作りが好評で自分で好みの和紙を選び色んな方と楽しそうに行っていた。1回で終わらず、2回～3回と継続的に作成し、次回の話なども参加者同士で話をしていた。

民生委員より、長年体調が悪く自宅から出る事が困難だった方がサロンに参加され、数年ぶりに元気な姿が見られて話が出来たことに感激されていたこともあった。

サロンの後半に、施設の食事の試食を出し、初めてソフト食を食べ、常食と味が変わらないと驚いている人もいた。

地域の課題

近くに団地があり、団地の高齢者で入浴が怖くて入れない人がいるので、入浴の場を探しているや、母子家庭などの子供に子供食堂や学習支援など課題があり、今後の取り組みの中で検討していきたい。

江戸川区

おしゃべりクラブ（協力：暖心苑）

おしゃべりクラブ
（介護予防のための交流の場）

- 開催日程 10/17 11：00～14：30
- 参加団体 地域の有志団体
- 参加人数 24名

実施の目的

認知症予防、介護予防、引きこもり予防を目的に、世話人の働きかけで発足。

当日の様子

午前中は、メンバー間で近況報告となつかしクイズ。
昼食会后、午後は講師を招いて「防災について」学ぶ。
カラオケを皆で歌って散会となる。

地域の課題

独居高齢者、老老介護、認知介護の増加等、高齢化に伴う様々な問題が顕在化してきている。

ももの木トレーニング (転倒予防を目的とした集いの場)

■開催日程 毎週水曜・毎月2回土曜 13:30~16:30

■参加人数 330名

実施の目的

筋トレマシンを利用した地域在宅高齢者の転倒予防と、集いの場提供による外出の促進。



当日の様子

当施設の機能訓練室を解放し、理学療法士、生活相談員がお話を伺いながら、6台のマシンを使ってご自由にトレーニングができる自主グループを開催している。多い日には30名程度来園され、それぞれご自身のペースでトレーニングを楽しまれている。また、終了後には施設のロビーでお茶を飲みながら、他の活動などの情報交換、近況報告などをなさっており、集いの場としても活用されている。

地域の課題

当施設の周囲のみならず、杉並区や世田谷区等の近隣には独居高齢者が多く生活されている。運動を好む方・苦手な方、外出が多い方・少ない方と様々であり、ご近所であっても当法人の活動をご存じない方や、ご存じであっても運動と聞くとおっくうになる……、続かない……というお話を聞く。筋力強化や転倒予防の場としてだけでなく、気軽に遊びに行く、友達とお話をしに行く、そのついでに運動をやってみようかな？と感じていただけるような雰囲気作りを目指している。

目黒区

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団 特別養護老人ホーム中目黒

地域交流サロン・会食サービス

- 開催日程 10/1～11/30の毎週火曜 10:00～16:00
- 参加団体 手話ダンス アミカ 優美心体研究所 東部包括支援センター
- 参加人数 187名

実施の目的

- ・気楽に立ち寄り、情報交換や相談を行える場を提供するとともに、介護予防体操等を実施することにより、引きこもりがちな在宅高齢者の居場所を確保する。
- ・ひとり暮らし高齢者に対して、昼食の提供を行うとともに、栄養士による栄養指導・栄養相談を行うことにより、在宅高齢者の閉じこもり防止や食生活の改善、健康の増進を図る。

当日の様子

- ・フラワーアレンジメント作成では講師の指導のもと、自分なりの作品を他の参加者との会話を楽しみながら作成していた。
- ・手話ダンスの披露を楽しく観た後、手話の動きを教えてもらい、一緒に歌いながら手話ダンスを楽しんだ。その後も思いだしては自分たちで歌いながら手や腕を動かしていた。
- ・ヨガの要素（呼吸と身体の動き）を取り入れた体操では、高齢者でも無理なく行えるような内容でゆったりと身体を動かしていた。
- ・絵手紙作成では野菜や来年の干支の酉の置物を見本にして、個性溢れる作品を描き楽しんだ。作成後は互いに作品を見せ合い、出来上がった作品を持ち帰った。
- ・東部包括センター職員による介護保険やシルバー人材センター等の説明・紹介は、サービスや仕組みを知る機会となった。
- ・介護予防体操、脳トレ等でしっかり身体と頭を動かし、心地よい疲労感を味わっているようで、「楽しかった」「また来週」などの声が聞かれている。
- ・会食では温かい食事を食べながら、顔見知りになった利用者同士で会話を楽しんで1時間過ごしている。月末には管理栄養士による栄養指導を行い、食生活の改善・栄養情報を知る機会としている。興味深く聴き入り、質問をされる方もいる。個別の栄養相談をされる方もある。

地域の課題

「ここに来ると楽しい」という声が聞かれる。独居、日中独居の高齢者は外出の機会も少なく会話を楽しむことが出来ない為、会食やサロンに参加することが楽しみとなっている。一方、介護予防の対象となる高齢者は比較的元気で行動範囲も広く、なかなかサロンへと目が向かない為、利用が少ない。

例えば民生委員が地域の高齢者に、サロン利用へと声をかける事で交流サロンへと足を運び、顔が見える関係作りが出来ればよいと思う。高齢者が集まる場での広報など、利用者を増やしていく事が地域の関係づくりへとつながる。現在の利用人数は少ないが、この場を継続していく事で利用者を増やしていけるように取り組む必要がある。

ひがしやまホームボランティアグループ（協力:特別養護老人ホーム東山）

交流サロンひがしやま

- 開催日程 11/4 14:00~15:30
- 参加団体 ひがしやまホームボランティアグループ 北部包括支援センター
めぐろボランティア・区民活動センター
- 参加人数 14名

実施の目的

地域の高齢者や障害者及び地域住民の孤立防止と、健康体操等を通して健康で自立した生活が営めるよう支援し、参加者との交流を深める事。

当日の様子

- ・アロママッサージは好評で「気持ちいいわ」という参加者からの声があった。
- ・『映像から見る昭和の映画女優の話』として30分程度映画女優さんについて話した。
- ・コーヒーとハーブティーを飲みながら交流、「月に1回のサロンを楽しみにしている」と話す方がいらした。
- ・特養の機能訓練指導員による健康体操15分程度だが好評。
- ・特養の利用者が1人「楽しい」と2回目の参加。

地域の課題

- ・ひがしやまホームや交流サロンの活動の地域へのアピール。

町田市

社会福祉法人友愛十字会 特別養護老人ホーム友愛荘

ゆうあい広場

「高齢者のための食事」～講習会と実演調理

■開催日程 10/5 14:30～16:00

■参加人数 12名

実施の目的

地域住民が気兼ねなく立ち寄れる開かれた施設作りと利用者が地域と交流する機会を増やす。



当日の様子

「高齢者のための食事」をテーマに管理栄養士による栄養についての講習と調理師による実演調理をおこなった。旬のきのこを使ったレシピで、きのこのケーキサフレ、生きくらげと豆腐のベトナムスイーツ、納豆の山芋焼きをご紹介し試食をおこなった。終始、和やかな雰囲気でおこなうことができた。近隣の障害者施設で原木から栽培しているシイタケをお持ち帰りいただき、「さっそく作ってみます。」というお声もいただいた。

地域の課題

ゆうあい広場は今年度に立ち上げた事業で、まだまだ地域に認識されていないのが現状である。健康推進委員会の皆様のご協力を経て参加者を募っているが、それ以外の参加が少ないことから発信する区域の検討が必要である。これからも地域が楽しく・気兼ねなく集まれる場所、困りごとを気軽に相談できる場所を目指していきたい。

社会福祉法人同胞互助会 栄養ケアステーション愛全園

らくむ
楽夢食

(ワンポイント健康講座・グループ料理実習)

■開催日程 10/8 14:00~16:00

12/3 14:00~16:00

■参加人数 92名

実施の目的

医療、食事、介護支援の目的で、ワンポイント健康講座、グループ料理実習を行い、地域住民の健康維持を支援していく。



当日の様子

始めに、漢方医である当法人理事長のワンポイント健康講座があり、「食」がいかに大切か、どういう栄養を取るべきなのか非常に分かり易く説明していただいた。その後、管理栄養士から栄養満点で、簡単に作れるレシピの説明を受け、4グループに分かれて調理実習に入った。

男性陣も包丁を握り、この切り方でいいかなとか、火の調整はとか、ワイワイ楽しく調理をし、出来上がったものを皆で頂いた。

地域の課題

1年に4回、長年継続して行っているイベントで、地域の方々にもしっかり定着し、毎回参加されている方やそのお友達、市報を見て初めて参加した人など、どんどん参加の輪が広がってきている印象である。最近では、ご夫婦や男性ひとりという参加も珍しくなくなり、これからさらに増えていくと思われる。

武蔵村山市

社会福祉法人武蔵村山市社会福祉協議会 武蔵村山市南部地域包括支援センター

むさし村山苑 なんぶーサロン

- 開催日程 9/16 14:00～15:00
10/21 14:00～15:00
- 参加団体 特別養護老人ホームむさし村山苑
- 参加人数 36名

実施の目的

近隣高齢者の介護予防及び見守りの場、世代間交流の場にもしていきたい。

当日の様子

9月より開始し第4回目の開催となっており、新しい方、リピーターの方、入居者さん、ボランティアの方々と参加人数も増加している。

入居者さんも月1回の開催を楽しみにしてくれている方もいらっちゃった。

ボランティアの方々の紹介で新たに参加される方が多く見受けられた。

地域の課題

むさし村山苑のある地区は市内では高齢化率は低く、自治会や老人活動が比較的盛んではあるが、それらに所属できていない高齢者も多く、若い世代の自治会離れも進み世代間での交流は乏しい。そのため、身近な地域の中での通いの場の創設（高齢者が歩いて通えるサロンなど）が必要となっている。このサロンがその役割を担えるようにしていきたい。

社会福祉法人仁愛会 桧原サナホーム

桧原村ふれあいサロン

■開催日程 10/19 10:00~11:15

■参加団体 桧原サナホーム

■参加人数 20名

実施の目的

介護予防体操を実施し健康を保つ。

当日の様子

近隣の高齢者の方がコミュニティーセンターに集合し体操をメインに活動をした。準備体操で体の調子を整えリズム体操と脳トレ運動を実施。和気あいあいと楽しく運動ができた。



地域の課題

桧原村は山に囲まれた小さな村であり、高齢化率が43.4%と非常に高く、高齢者は独居または、夫婦世帯が多い。山間の集落で暮らす高齢者の方は、病気やケガになった際は、交通事情が悪く病院まで遠く不便。緊急の際の交通手段や通院、日常の買い物など日常の足が急務の課題である。

福祉に関しても資源が乏しくサービスが行き届かない。

江戸川区

社会福祉法人白秋会 泰山
月に一度の安否確認

■開催日程 11/1 9:00~18:00

実施の目的

江戸川区福祉部で取り決めをしている「目配り訪問」について、高齢者の安否確認のため訪問実施。

当日の様子

対象となる方は、70名程度。各職員が手分けをして戸別訪問。心身面のサポートを行い、必要な機関などへつなげていく。

地域の課題

認知症で独居の方が増えてきている。必要なサービスを提案しても、「大丈夫」とやんわりと拒否をされてしまう。

社会福祉法人寿優和会 浅川苑 夕食お届けサービス試食会

- 開催日程 11/6 12:00~13:30
- 参加団体 特別養護老人ホーム浅川苑・浅川苑サービスセンター
- 参加人数 12名

実施の目的

地域への夕食の配食サービス事業の周知。

当日の様子

- ・日程を間違えて前日来苑された方がいらっしゃった。また、当日キャンセルが1名。
- ・今回の試食会は特に対象者を限定していなかったためか、高齢者・高齢世帯だけでなく、隣接の団地の親子連れも参加された。
- ・配食事業をご存知の方が多く「一度食べてみたいと思っていた」という参加者が多くいらっしゃった。
- ・配食事業の説明、栄養士からの献立の説明後に試食をしていただく。職員が個別にお話を伺いながらご相談に対応した。
- ・試食後にアンケートを実施。



地域の課題

- ・試食をすることで使いやすくなったとの意見を頂いた。
- ・「知っている」と「試してみた」との違いは、いざという時に活用できるか否かということにながると感じた。
- ・親子連れの参加に驚きとともにやはりという印象を受けた。
- ・まだまだ元気で食事の支度ができるという方が多かったため、栄養指導や調理活動の機会があると元気を維持できるのではないかと感じた。

日野市

社会福祉法人マザアス マザアス日野 マザアス多摩川苑 配食サービス

- 開催日程 年中無休（1/1のみ休み）
- 参加団体 日野市社会福祉協議会
- 参加人数 50人/日

実施の目的

安否確認が必要で食事づくりにお困りの高齢者に、栄養バランスの整ったお弁当（昼食）を届ける。

当日の様子

厨房で作った保温容器に入ったお弁当を配食ボランティア（有償）の方が日野市一円に配達をする。安否確認もあわせてする。安否が確認できないご利用者様に関しては、再度連絡を入れたり、再度訪問をしたりする。センター長がご家族や担当ケアマネージャーに連絡することもある。配食コーディネーター（有償ボランティア）は配達員の連絡を受けて、指示をする。それでも解決できない時はセンター長に申し送る。

地域の課題

独居高齢者や高齢者世帯では自らが買い物に行けなかったり、調理ができなくなったりして、食事を取るのが困難になってきている。安否確認も大切な課題である。

アクティブ介護28～文京みんなのつどい～実行委員会 (協力：文京施設長・センター長会)

日々の体力づくりで、幸齢者に！

■開催日程 11/1 10:00～16:00

■参加団体 文京区社会福祉協議会 文京大塚みどりの郷 文京くすのきの郷 文京白山の郷
文京千駄木の郷 ゆしまの郷 文京大塚高齢者在宅サービスセンター
文京湯島高齢者在宅サービスセンター 文京くすのき高齢者在宅サービスセンター
文京向丘高齢者在宅サービスセンター 文京白山高齢者在宅サービスセンター
文京昭和高齢者在宅サービスセンター 文京本郷高齢者在宅サービスセンター
文京千駄木高齢者在宅サービスセンター ケアワーク弥生 ユアハウス弥生
リハビリ道場 老松ケアサービス トチギ介護サービス
小石川医師会居宅介護支援事業所 ローズケア 太平ヘルスケア
アドワンスサポートコスモス 小石川みやびの郷 アリア文京大塚
ミニケアホームきみさんち パナソニックエイジフリー介護チェーン城北
社の癒しハウス・文京関口

■参加人数 376名

実施の目的

文京区内介護保険事業者からPT・OTが集まり、参加者の体力測定、健康講和を実施する。

当日の様子



10時開始であったが、既に10数人が入口で待っている状態。5分程早めて開始。その後はほとんど切れ目なく、16時まで参加者が続いた。PT・OTは測定をしながら参加者の質問を受け、助言も行った。健康講話では1回50名を想定していたが、立ち見が出る状態で、資料が不足する事態となった。参加者からは普段接する機会の少ないPT・OTからの助言を受けられることに満足されていた様子がうかがえた。

地域の課題

健康に関して、気軽に相談ができる拠点やスタッフが少なく、特にリハビリテーション専門職がその役割を担う機会は非常に少ない。定期的にリハ職員が関わることのできるシステムが必要と感じた。

北区

北区高齢者福祉施設長会 区内施設紹介・事例発表・相談会

- 開催日程 11/13 10:00～16:00
- 参加団体 北区内特別養護老人ホーム10施設
浮間さくら荘 上中里つつじ荘 清水坂あじさい荘 桐ヶ丘やまぶき荘 王子光照苑
みずべの苑 うきま幸朋苑 飛鳥晴山苑 新町光陽苑 ウエルガーデン西が丘園
- 参加人数 253名

実施の目的

パンフレットによる施設紹介や事例研究の発表において特別養護老人ホームのイメージアップと地域における諸課題の聞き取りを行うことを目的とした。



当日の様子

きたく介護あんしんフェア2016の「北区高齢者福祉施設長会」のブースにおいて各施設のパンフレットでの説明や地域貢献に関するニーズの聞き取りを直接対話しながら行った。入居に関する相談では制度としてある減額制度や、要介護度3以上の入居要件など知られていない事が多く聞かれ区民の方々へ周知する良いきっかけとなった。事例発表ではサービス向上のために取り組んでいる研究課題をご覧いただきイメージアップの一助とする事ができた。

地域の課題

今までは生活をする上でバスなどの公共交通機関が運行されていたが乗降客数の関係なのか路線が廃止され、合わせて居住しているところは高低差があるため今まで不自由なく行けていた病院や、買物等がタクシーを利用しなければならなくなった。また特養の入居に関して利用料金が払えるか心配する人が多く減額制度や社福減免の説明を丁寧に行うとともに活用できる社会資源についてアプローチした。

社会福祉法人至誠学舎東京 みどりの苑

介護者サロン

■開催日程 10/17 13:30~15:00

■参加人数 14名

実施の目的

在宅で介護をしている方、また介護を受けている方、興味のある方を対象に、介護者及び介護を受けている方のQOL（生活の質）の向上を目的として開催し、介護に関する研修、情報交換及び仲間作りを目指している。



当日の様子

みどりの苑常勤医福田医師より腸内フローラについて、優しく理解が出来るように説明をしていた。参加者の中から、実際に自分の病気に関して不安に思っていることや、薬についての質問等があり、皆さん真剣に聞いていた。

地域の課題

介護者同士の意見交換の場があまりなく、こうしたサロンに集まることで普段の介護の悩みを同じ立場の人に打ち明けることで介護負担の軽減となるのではないか？このようなサロン活動は必要ではないかと思う。

台東区

社会福祉法人台東区社会福祉事業団 特別養護老人ホーム浅草 日曜レストラン

- 開催日程 10/16 11:45～14:00
- 参加団体 認知症介護者とともに歩む桜の会
- 参加人数 22名

実施の目的

食事会、音楽会をとおして、地域の介護者同士の交流をはかり地域の介護者のネットワークを構築する。なお、介護されている高齢者も参加している。

当日の様子

特養で提供されている食事を食べながら、歓談し介護についての情報交換をおこなった。
高齢者も楽しく歌ったり、音楽に合わせて楽しそうに体を動かしていた。

地域の課題

在宅で介護している方どうしが普段の介護についての苦労や楽しさ、介護サービスについての不満、情報交換などを語り合って共感できる場がない現状がある。

社会福祉法人ケアネット

家族介護教室「体にやさしい介護」

■開催日程 11/20 13:30~15:00

■参加人数 3名

実施の目的

地域で介護する方に、理学療法士による介護の仕方を実演、相談できるようにする。

当日の様子

理学療法士が相談を受けながら実際の介護の仕方を説明し、ベッドや手すりなども使って、介護の仕方について実施することになっていた。質問や相談などもあり、比較的和やかにすすんだ。

地域の課題

施設等が少ないだけでなく、区内に老人保健施設が1か所しかなく、通所リハビリも数が少ない。訪問系は多いが、そういったところも、ビル内などで相談には赴きにくい。その為、理学療法士などによる専門的な相談を気軽に受けることができない。

杉並区

社会福祉法人真松之会 特別養護老人ホーム和田堀ホーム

和田堀カフェ

～介護の心配事、困っていることなど何でも相談下さい～

■開催日程 10/23、11/13 10:00～15:00

■参加団体 和田堀ホーム指定居宅介護支援事業所・デイサービスセンター和田堀ホーム
特別養護老人ホーム和田堀ホーム・短期入所生活介護

■参加人数 1名

実施の目的

地域ニーズを掘り起こし、フォーマル・インフォーマルのサービスにつなげる。それにより安心して生活できる地域づくりの一助とする。

当日の様子

初回は0人、二回目は1人の参加のみであった。

心にたまっていた、様々なことをはきだされた。解決に向けての糸口がみえていたので、それで解決しないようならまた連絡下さいと伝えた。だが、話を聞くだけの場も必要かと思われた。

相談・
家族支援

地域の課題

チラシが減っていることから、興味はあると思われるが、参加者が一人ということで、具体的な課題の掘り起こしには至っていない。

社会福祉法人キングス・ガーデン東京 練馬キングス・ガーデン

家族介護者教室「負担の少ない介護技術講習」

■開催日程 10/22 13:30~15:30

■参加人数 8名

実施の目的

練馬区の委託事業である家族介護者教室として、近隣在住で家族の介護をしている方々へ負担の少ない介護技術の講習を行い、介護負担の軽減を図る。



当日の様子

1. 交流 自己紹介と介護で日常困っている事（30分） DVD観賞「介護の激減の技教えます」
2. 正しい介助法とは正しい自立動作のパターンを崩さない方法（10分）
 - ・立ち上がりの3条件
 - ・DVD観賞「介護の激減の技教えます」（10分）
3. 介助法・実技（10分）ベッドから→側臥位へ 側臥位の動作と膝を立てる・腕を組む・頭を上げる生活動作との比較を体験する。（休憩10分・水分補給・質疑応答含む）
4. 介助法・実技 ベッドから端座位→椅子への移乗、転倒後の起き上がり、床から椅子への移乗など（50分）

【参加者の感想等】

- ・どうにか上に上げよう上げようとしていたが、そうじゃないのね。びっくりしました。
- ・また是非来たい。相談できる所ができて良かった。
- ・一人じゃどうしてもこうにもならないが、話を聞いてもらえて良かった。
- ・他のデイに通っているが、デイサービスの雰囲気も解って良かった。
- ・家族と一緒にまた参加（見学も）したい。
- ・今までの介護の負担と比べて「えー」「軽い」「あー違いますね。楽ですね」とリアクションがあった。
- ・困っている事を解決するための介助法を教えると、「なるほど」と納得されていた。

地域の課題

- ・中重度の方の介護をされている参加者が多く、具体的に問題を提示されていた。
- ・老々介護の方も多く、生の声を聴いてデイサービスの必要性を痛感し励みとなった。

昭島市

社会福祉法人同胞互助会

昭島NST

(栄養サポートチームによる在宅介護の学習会・事例検討会)

- 開催日程 11/16 19:00～21:00
- 参加団体 (株) 明治 (株) クリニコ 昭島病院 同胞互助会栄養ケアステーション
市内サービス提供事業所 他
- 参加人数 60名

実施の目的

在宅介護されている方々、支援している事業所の方々、多職種の専門家が一同に会して、在宅での様々な問題をテーマにして、学習会や事例検討会を実施している。

当日の様子

今回は20回目の開催。在宅での褥瘡の問題がテーマ。管理栄養士や、訪問看護から、誰でもわかる基本的な褥瘡ケアについて、また、安価で代用できるスキンケアや栄養について学んだ。

地域の課題

在宅では、他職種の活動が見えにくい部分があるが、管理栄養士が基軸となって多職種と連携しながら地域で支援を進めるといふこの活動は、徐々に広がりを見せており、自分たちの地域でもチームを作って実践してみたいとの声をいただいている。

社会福祉法人武蔵野 武蔵野市桜堤ケアハウス

介護と福祉の地域広場

■開催日程 11/3 10:00~13:30

■参加団体 (財)信陽舎 桜野地域社会福祉協議会 (株)パナソニックエイジフリー
(株)アビリティーズ

■参加人数 約300名

実施の目的

- ・地域住民の視点に立った介護と福祉に関する情報等を提供する。
- ・地域で暮らす高齢者とその家族等が交流する機会とする。



当日の様子

朝方までの雨も上がり、徐々に気温も高くなって、一日、穏やかな日となった。開始時間前から地域住民が集まり、お目当てのコーナー等には列ができていた。合衆の学生寮（信陽舎）が長野県出身の大学生用であり、その縁もあって信州のリンゴ・野菜の販売、観光パンフ等の配布は地域の名物にもなっている。

介護・福祉関連のコーナーには、福祉講座（健康寿命と軽体操、転ばない歩き方）、福祉用具の紹介・体験コーナー、デイサービス活動体験コーナー、介護・福祉の相談コーナー、高齢者配食の販売、利用者作品展があり、開場時間帯を通して来場者が絶えることがなかった。

他に、コンサート、喫茶コーナーも好評で、全日にわたって各コーナーやコンサートを回る人や、いったん帰ってからまたやってくる人など、思い思いに楽しんでいた。

地域の課題

当施設の隣接地域は戸建て住宅が多く、近隣地域には約1000世帯のUR団地（高齢化率が市内で一番高い）や、約900世帯の新興マンション群（この5年間に移住してきた住民たちが占める）があり、丁目ごとに地域課題と高齢者等に関するニーズに違いがある。それぞれの地域特性を認識して、集合住宅系のコミュニティづくり、戸建て住宅系のコミュニティづくりを手法を変えながら、住民とともに地域づくり、新しい支え合いづくりに取り組んでいる。

今回のイベントは当施設が会場になってはいるが、それぞれの地域で暮らす住民たちが、ここに来ることによって、交流、親睦を深め、少しでも顔見知りの関係を作っていくきっかけになってほしいと思っている。単なる打ち上げ花火のイベントではなく、人との関係性を作っていく企画として位置づけている。

武蔵野市

社会福祉法人とらいふ ぐっどういる境南

ぐっどういる境南まつり「いきいき相談会」

- 開催日程 10/10 12:00～15:00
- 参加団体 武蔵野赤十字在宅介護・地域包括支援センター
- 参加人数 64名

実施の目的

地域に寄り添う第一歩として、地域の高齢者の相談窓口である武蔵野赤十字在宅介護・地域包括支援センターを知ってもらう。

当日の様子

ぐっどういる境南まつりの一角で「相談会」ブースを設けて実施した。ブースには境南町の地図を掲示し、利用者、利用者家族、地域住民等がそれぞれの思い出を語ってもらうことで、つながるためのきっかけづくりを行った。一人が思い出を語りだすと、それをきっかけに他の人の思い出が膨らんでいった。

地域の課題

デイサービスとしての機能のほかに、地域住民のために開かれた施設でもあるため、地域住民の行き場所としての施設になるようにセンターと協働で取り組んでいきたい。

特別養護老人ホーム麦久保園

介護の日 懇親会

- 開催日程 11/11 18:30~20:30
- 参加団体 あきる野市社会福祉協議会 地域権利擁護係
- 参加人数 43名

実施の目的

地域住民の皆様と、介護や地域生活での課題や悩み、不安など懇親会形式で情報交換や交流を深める。また、講演を企画し、情報発信や施設開放も目的の一つ。

当日の様子

施設に隣接する2町内より31名の方々が参加された。今回の内容は社会福祉協議会の協力を頂き、成年後見制度についての講演と、職員も含め4グループに分かれて、軽食を摂りながらの懇親会といった2部構成で実施した。講演では、実際の事例も紹介され、社会福祉協議会が相談窓口としての役割を担っていることなども情報提供としてお話があった。また、懇親会では、講演テーマについての具体的な質問や、地域で暮らす中での課題やニーズ、介護に対する不安などについて、様々なお話ができた。



地域の課題

町内でも高齢者世帯、独居も増えてきている。その中で地域性を見ると近隣住民の繋がりはあるが、坂が多い、近くに商店がない、バスが通っていない等、移動手段が大きな課題である。今までは車を運転していた方も、免許の返納を機に外出機会が減った、もしくは外出先が限定的になったなどの声も聞かれる。

また、ちょっとした介護への不安や生活の悩みについて話し合える、聴いて貰える場が欲しいとの要望もある。

豊島区

社会福祉法人フロンティア 養浩荘高齢者在宅サービスセンター アートカフェ

- 開催日程 毎月第2・第4月曜 13:30～15:00
- 参加団体 ゆいまある 株式会社祥ファクトリ 豊島区民社会福祉協議会（CSW）
いけぶくろ茜の里 養浩荘高齢者在宅サービスセンターいけよんの郷
いけよんの郷高齢者総合相談センター（その他プログラムによる）
- 参加人数 15名

実施の目的

地域住民、高齢者、障害者等のあらゆる地域の方々が集まり、職員による演奏や悩みごと相談を通じて、地域との繋がりの土台をつくる。



カフェ・
居場所

当日の様子

10/24（月）自宅でも行える体操（株式会社祥ファクトリ）と創作和紙工芸（ゆいまある）を行った。地域の高齢者やデイサービスの利用者も集まり、にぎやかに、時にはほのぼのとした時間を過ごしながら地域交流を楽しむことができた。

参加者からは、「雰囲気が良いですね」「話しやすいです」といった感想をいただいている。毎回内容が違うため、開催を楽しみにしている方もみられている。

地域の課題

高齢者サークルはたくさんあるが、「気軽に相談できる場所がない」と地域の方から声が寄せられている。一人ひとりが生活する日常生活圏域内に、顔を合わせて会話（相談）ができる場所が必要とされており、また支援する側のサポートも必要である。

社会福祉法人東京清音会 暖心苑

カフェ暖暖

■開催日程 10/23 14:00～16:00

■参加人数 約30名

実施の目的

地域に開かれた施設として利用者さん、ご家族、近隣の方々を対象に誰でも自由に利用でき、ゆったりとした雰囲気の中で交流を図れるよう支援する。

当日の様子

1階ロビーにて、コーヒー等飲み物、菓子を楽しみ、2階食堂で映画会を開いた。

地域の課題

老人ホームと地域の交流が不十分。

江戸川区

社会福祉法人白秋会 泰山

カフェ 泰山

- 開催日程 11/1より 月曜～金曜 10:00～16:00
- 参加団体 一般の利用だけでなく、地域の介護サービス事業所、地域で趣味活動をされている方達も利用している
- 参加人数 30名

実施の目的

認知症を抱える家族だけでなく、地域に住んでいる「どんな方でも」集える場として開催。

当日の様子

カフェの形式を取り、認知症を抱える家族の集いだけでなく、地域のいかなる方も集まれる場所、そして安心できる場所、相談できる場所としての形をとり、いつでも皆さんが来て楽しんでいただける『場所』を提供している。

地域の課題

認知症の方が増えてきている、身寄りのいない方の問題も増えている。

カフェとしては法人側のアナウンス不足があり、人通りが少ないこともあり、人がコンスタントに来ることがない。アナウンスなどが課題。

社会福祉法人フロンティア 高齢者グループホームおさたけ みんなのランチ

■開催日程 毎週火曜・木曜 12:30~14:00 (予約制)

■参加人数 84名

実施の目的

「食を楽しむ」人が生きていく上で「食べる」ことは一番大事なことです。しかし独居であったり、ご家族と食事が別であったりと様々な要因を抱え、食べる気力を失ってきてしまっている方に少しでも「食べる」ことの楽しさ、環境を提示・提供させていただけたらと思い、始めました。



当日の様子

普段の生活ではなかなかゆっくりと交流のできない地域の方、また一人暮らしの高齢者の方に昼食時に来ていただき、皆さんでお昼ご飯を食べ、その後もお茶をしながら会話を楽しんだ。

地域の課題

地域の方の中には、引きこもりの方や介護保険に繋がることもできずに日々を送っていらっしゃる方々がまだまだいらっしゃることを痛感している。

練馬区

社会福祉法人泉陽会 特別養護老人ホーム光陽苑

陽だまり喫茶

■開催日程 10/15、11/12 13:30～15:30

■参加団体 陽だまり会

■参加人数 30名

実施の目的

地域の中の一員として生活されている入居者と、地域の方が交流できる機会の提供。また地域の方へ憩いの場の提供。



当日の様子

陽だまり会（ボランティア団体）が用意した、コーヒー・紅茶・和菓子等を召し上がりながら、入居者・地域住民との交流が見られた。当日は地域の高齢者の方も来訪され、高齢者施設を知って頂く機会にもなった。互いにテーブルを囲み、にこやかに談笑される姿も見られており、午後の陽だまりが注ぐ中ゆったりとした時間が流れていた。

地域の課題

こういう機会に来訪したいけど、体が不自由で（足が痛い等）なかなか来ること出来ないとの声が聞かれた。高齢者の方にとっては、イベント参加などの機会はあるが、簡単に外出できない方が多いことを再認識した。また、来訪された方の中には、以前入所されていた方の家族もおられ、「家に一人でいても寂しいから来た。久々で懐かしいわ」と言われていたのも印象的であった。

なのはな結の会（協力：特別養護老人ホーム中目黒）

ふれあいの居場所

■開催日程 10/14、11/11 14:00～15:30

■参加人数 49名

実施の目的

地域の独居、高齢者世帯を中心に「決まった日時にそこへ行けば誰かがいる場所」を提供する。
特養ホームのご利用者が地域の方と交流を持つ機会とする。

当日の様子

- ・参加者は、地域の住民、特養ホーム利用者、町内会の方、民生委員、地域包括支援センター職員、ボランティア。
- ・好みの飲み物を飲みお菓子を食べながら、銘々におしゃべりして過ごしている。
- ・特養ホームのご利用者と地域住民とが活発に交流されている。
- ・囲碁・将棋のボランティアと一緒に囲碁を楽しんでいる参加者がいたり、参加者が講師となってラップの芯を利用したペン立てを作成したり、段ボールの恐竜を持参して話題を提供したり、町会の方が孫と一緒に参加するなど、過ごし方はさまざまである。

地域の課題

- ・ふれあいの居場所には独居の高齢者やご夫婦の高齢者が楽しみに参加されているが、閉じこもって地域との交流が少ない高齢者はまだいると考えられる。このような場に参加するきっかけ作りや参加することが日課となるには、地域包括センター職員や民生委員、町会の方等による声かけや、誘い合って一緒に来るなどの働きかけが必要と考える。
- ・特養ホームとして場の提供はできたので、地域のネットワークを活かして必要としている高齢者の掘り起し、継続して参加してもらえるような仕組みを作ることが課題である。

日野市

社会福祉法人マザアス 日野市地域包括支援センター多摩川苑
たまカフェ

- 開催日程 11/26 14:00~16:00
- 参加団体 マザアス日野（社）至誠 大空の家 NPO法人 こどもへのまなざし
ひだまりサロン NPO法人 とともにこ スターバックスコーヒー
- 参加人数 58名

実施の目的

さまざまな世代や地域住民が集い、関係性を構築して「つながる」ことで地域の輪を広げる機会とする。

当日の様子

認知症の当事者の方の話、市の高齢者事業、地域の活動の話等を聞いて、コーヒー等を飲みながら各テーブルでは参加者の話が弾んでいた。参加した多くの方から「楽しかった」、「このような交流の場にまた参加したい」といった意見を聞くことが出来た。



カフェ・居場所

地域の課題

当地域包括支援センターの担当地域は、高齢化率18%、年少人口15%と市内の他地域と比較すると若い世代が多い地域。しかし、自治会への加入率も低く、新しい住民と古くから住んでいる方々との交流が減っている。サロン等の集いの場も少なく、多様な世代で交流し、支え合う地域づくりが求められている。今回の「たまカフェ」を開催したことで、「子ども」、「障害者」、「高齢者」等をはじめ、多くの人々がつながっていくことの必要性を改めて感じた。

社会福祉法人芙蓉会

～ほっとステーション～ながれぼし

フラダンス・音楽会（地域活動の支援）

- 開催日程 フラダンス 10/4
音楽会 10/12、10/26
- 参加団体 音楽会代表 神長清子 フラダンスサークル「ハウオリ・レファ」
- 参加人数 58名

実施の目的

地域の方が自主的に行い仲間を増やしていく。

当日の様子

フラダンスは地域の方の自主サークル「ハウオリ・レファ」が近隣の施設のデイなどで場所を借りて活動している。

10月はクリスマスに向けて「ホワイト・クリスマス」の振り付けの練習を主に行った。

音楽会は大人気のイベント。引きこもりがちな方が音楽会というイベントを通じて外出する機会が増える効果もあった。

地域の課題

音楽会、フラダンスなど気持ちが明るくなるものがみなさん好きな様子で～ほっとステーション～ながれぼしの室内はいつも大勢の方が参加してくれているが固まったグループが出来がちなため新しい人がなかなか仲間に入りづらい。新しい方が仲間に入りやすいような環境づくりを行う必要がある。孤立せずに地域の輪に入れるような仕組み作りが課題となっていく。

町田市

社会福祉法人賛育会 清風園

にこにこ清風食堂（こども食堂）

- 開催日程 10/20、11/3 17:00～19:00
- 参加団体 玉川大学教育学部 ボランティア アグリハウス（農協） 二木の菓子鶴川店
- 参加人数 50名

実施の目的

月2回、夕方に地域の子供たちへ学習支援、食事を提供して、高齢者との交流、地域とのつながりの機会を設ける。



当日の様子

小学生の友達同士でランドセルを背負ったまま、施設の中庭で遊ぶことを一番の楽しみに集まってきた。この日は25名が集まり、ボランティアが準備したかぼちゃで、ハロウィンのランタン作りに、大学生のお兄さんたちと取り組み、普段、手にすることが少ない包丁やロウソクの火を真剣に扱っていた。夕食のカレーライスをあっという間にたいらげたあとは、持ってきた宿題はせずに、仮装グッズを身にまとして、高齢者と過ごしていた。

地域の課題

迎えに来た家族の話では、「子供たちが思いっきり遊べる場所が少ない中、ここでは自由で、何をしてもボランティアが温かく見守って、声をかけてくれるから、安心できる。」「みんなで一緒に食事ができて、果物も好きなだけ食べられるので、よろこんでいる。」孤食や貧困に対する支援につながっているかどうか分からないが、ボランティアや見学者の声によれば、潜在的なニーズがあることは耳にしている。

公益財団法人調布ゆうあい福祉公社 調布市国領高齢者在宅サービスセンター

だれでもカフェ「こくりょうカフェ」「ぷちカフェ」

■開催日程 10/23 12:00~15:00

11/5 10:00~12:00

■参加人数 およそ80名

実施の目的

認知症の方、ご家族、専門職、だれもが参加・交流できるカフェ。また、認知症や介護について「相談したい」「話したい」「聞いてほしい」という思いの方も参加していただくカフェ。毎月1回 定期的に行っている。



当日の様子

こくりょうカフェでは少人数で、ゆったりとした雰囲気的交流時の時間となった。

ぷちカフェは、当日「ぷちぼあんまつり」が開催されていた為、子供から高齢者まで幅広い世代の方が、カフェに参加してくださった。また、カフェで行った子供コーナーでは、ボランティアが「折り紙」を教えたり、「紙芝居」を披露したりする等、交流の場にもなった。

両方のカフェともボランティアの方々が、積極的にお茶出し、出し物等の運営に携わってくださった。

地域の課題

カフェのみ開催だけであると、今まできたことがない住民の参加につながらない状況がある。一方、カフェと一緒に企画等の参加する“きっかけ”ができると、今まできたことがない住民の参加が多く見られている。

武蔵野市

サンヴァリエ桜堤自治会〔UR団地自治会〕
 （後方支援：社会福祉法人武蔵野 武蔵野市桜堤ケアハウス）

よりあい食堂かよう

- 開催日程 毎週火曜 11：00～14：00
- 参加団体 サンヴァリエ桜堤自治会 団地住民ボランティア等 武蔵野市桜堤ケアハウス
- 参加人数 毎回、約30名

実施の目的

- ・団地で暮らす（孤食状態の）高齢者等を意識して、食を通しての住民同士の交流、顔なじみの関係づくり、暮らしや生活での困りごとへの相談対応等。
- ・介護予防に視点をあてた活動機会（歌活動、体操教室）の提供。



当日の様子

昼食前の11時15分からは、第1・3週は理学療法士による「いきいき健康体操」、第2・4週は音楽療法士による「歌の会」、第5週は地域包括支援センター職員による「介護・福祉・健康講座」を実施しており、食事を利用される方の約6割が上記の活動に参加している。

食事会は正午に始まり、事前予約のもとに営業時間内であれば自由に利用できる。予約者が来店しない場合には、自治会職員による電話での確認や包括職員（生活支援コーディネーター）による安否確認を行っている。ビジター参加（近隣地域の住民の利用やお試し利用など）もあり、また地元の民生委員や近隣の社会資源となる関係団体の職員等の参加もある。

メインの食事がすんだあともおしゃべりに花が咲き、また、困りごとの相談をしたい人は、個別に受付・会計を担当している包括職員を訪ねている。

日々の食堂運営では、利用者及びボランティアスタッフの利用調整と会場予約、食事前の介護予防事業の講師への交通費等支給は自治会が行い、当施設は食の提供、相談コーナーの開設、介護予防の講師との調整を担っている。

地域の課題

当施設の近隣地域にある約1000世帯のUR団地は、市内でも一番高齢化率が高く（約32%）、さらに75歳以上の高齢者の占める割合も高くなっている。そのうえ集合住宅特有の高齢の単身世帯や夫婦のみ世帯が多く、日々の生活そのものに困っている（ゴミの分別や出し方、食事の準備、居室内片付け・整理、環境整備、身体保清等）方も増えてきている。

団地住民向けに行った「食と生活のアンケート調査」では、3食とも孤食状態である方が回答者の半数を超えているのがわかった。食を通じての交流や新たな関係性の構築が必要であることを自治会役員等と当施設職員が認識し、この事業を平成26年9月にスタートさせた。

社会福祉法人秋川あすなろ会 あすなろみんなの家

ふれあいお茶飲み会

■開催日程 10/12 11:30~14:00

■参加団体 あきる野市 原小宮ふれあい福祉委員会 あきる野市 原小宮町内会

■参加人数 38名

実施の目的

- ① 町内の皆様とご一緒に「ふれあい・交流の場」として、みんなで歓談しながら昼食を味わい、「演芸ボランティア」をお招きして心温まる演目を中心に「室内ゲーム等」を行い、[笑って、歌って、元気よく] 健康長寿を願い、楽しいひとときを過ごすこと。
- ② 町内にある福祉施設として「あすなろみんなの家」の行っている事業を知っていただくとともに、介護保険や高齢者福祉の制度やサービスについて理解を深めていただくこと。



当日の様子

お茶飲み会の前、10:00からは、原小宮ふれあい福祉委員会が定期的に行っている「ウォーキングの会」があり、多くの方が都立秋留台公園でのウォーキングに参加された後に会場に集まった。開会にあたり町内会長さんのご挨拶のあと、あすなろみんなの家の施設長より、施設の事業内容やサービスの利用方法、介護保険制度の変更（介護予防・日常生活支援総合事業の開始など）についてお話しさせていただいた。その後、当施設がご用意した昼食や、ふれあい福祉委員会がご用意されたお飲物やお菓子を囲んでの歓談の時間を過ごした。食事が一段落した後は、お招きした演芸ボランティアによる歌謡舞踊・マジック・参加型のクイズや体操も交えたステージや、ビンゴ大会、童謡や懐メロを歌ったりと、よく笑い楽しい時間を過ごしていただいた。

地域の課題

もともと、地域のつながりは比較的強いが、河岸段丘の上下にそれぞれ住宅地があるため、高齢等の理由により地域行事等への参加が困難になっている方がいる（今回の行事に関しては、ふれあい福祉委員の自家用車で送迎を行った方が数名）。町内にはコンビニエンスストアや商店がなく、移動手段が限られる方にとっては、買い物に不便が生ずる環境となり得る（最も近いコンビニエンスストア・ドラッグストアは平井川を渡るため、坂の上り下りが必要。総合スーパーまでは約2キロ離れており、バス等の交通機関までのアクセスも平井川を渡る必要がある）。

千代田区

社会福祉法人多摩同胞会

多摩同胞会創立70周年記念シンポジウム

神田の福祉－安心して住み続けるために、地域包括ケアを考える－

■開催日程 11/19 14:00～16:00

■参加団体 千代田区 千代田区社会福祉協議会 千代田区民生児童委員協議会

■参加人数 73名

実施の目的

家族の力だけでは支えきれない高齢者の支援について、地域の皆様とともに考える。

当日の様子



当日のプログラム前半は、多摩同胞会神田事業所の取り組みを事例発表という形で行い、後半は、シンポジウムを行った。

シンポジウムの中では、来場者全員からの質問を受け付け、シンポジストが答える時間帯もあり、一般区民、自治体関係者、社会福祉協議会、町会、民生児童委員等、さまざまな立場の方が来所し、多様な意見が飛び交い、非常に活気ある内容になった。

地域の課題

地域の中で、町会、婦人会といった地縁でのコミュニティは、比較的強固に保たれている。

住民数も少ない自治体のため、住民、議会、自治体の結びつきも強い。その分、地域住民の個別に発生する課題は自分自身で解決する方向性が強く、地域住民側の住民相互の支え合いの体制を作る基盤となる発想が、希薄になっている場合がある。

港区立芝地区高齢者相談センター

講演会 住み慣れたこの街で最期まで暮らしたい

- 開催日程 10/10
- 参加団体 湖山医療福祉グループ 医療法人財団百葉の会
- 参加人数 250名

実施の目的

港区芝地区の地域特性を考慮し、地域の高齢者が住み慣れた場所で最期までいきいきと生活できるように、食、住宅介援、在宅医療の観点から講演会を行った。また、参加者については、港区全体のほか広く広報を行い、広域からの参加者を受け入れた。

当日の様子

約250人という多数の参加者のもと、盛会だった。第一部『長寿食のススメ』の金谷節子氏の講演では、長年栄養士として第一線で活躍された講師の豊富な経験に裏づけされた興味深い講義が行われた。第二部『住み慣れたこの町で最後まで暮らしたい』川嶋みどり氏は看護師・教員として長年活躍され、さらに家族を在宅で介護された経験から、自宅で最期を迎えるヒントについて詳しくお話いただき、大変感動的な講義だった。第三部『自宅で大往生』中村伸一氏は、地域で在宅医療の第一線で活躍する現役の医師として、終末期を支える医療の実際を講義された。いずれの講義も大変興味深く、かつ感動的な内容で、参加者からは感嘆の声が上がるなど、好評であった。また、講義の合間には、港区民に広く親しまれている「みんなといきいき体操」を会場全体で行い、介護予防の普及啓発とともに、講義の間のリフレッシュを行い、大変好評だった。

地域の課題

港区は、高度に都会的な地域であるが、一方、高齢者世帯、高齢者のみ世帯も多く存在し、在宅生活継続、さらには在宅での看取りという課題は、区民共通の課題といえる。また、今回は広域からの参加者も受け入れたが、高齢となっても住み慣れた地域で健康にいきいきと生活したいということは、高齢者共通の希望でもある。参加者も多く、熱心に聞き入っている姿は印象的であった。今後も継続して普及啓発のための活動につなげたい。

文京区

社会福祉法人信愛報恩会 特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷
社会福祉法人フロンティア 特別養護老人ホーム文京くすのきの郷

地域の中で自分らしく暮らしていくためには ～最期の時までステキな時間に～（エンディングノートの書き方講座）

■開催日程 11/20 10:00～12:00

■参加人数 69名

実施の目的

エンディングノートの書き方講座を中心に、生前の意思確認の大切さを知ってもらうことで、人生の集大成を素晴らしいものにしてもらう。



当日の様子

講師を招いて、1時間エンディングノートの書き方を中心に生前の意思確認の大切さ、愛する人へのメッセージを残しておくことの大切さ等について講演して頂いた後、実際に自宅・施設で看取った家族を4名招いてシンポジウム形式で、実体験を話してもらった。予想よりも多くの方が来場され、講師やシンポジストが話す内容に相槌をうったり、終了後は、「とてもためになった」「実際の体験談を聞くと涙が出そうになった」などの感想があり、真剣に話を聞く方が多かった。2時間という長丁場であったが、最初から予定のあった1名を除いて途中で退席する方はいなかった。

地域の課題

地域の中で最期まで生活したいと思っても、なかなか思い通りにならないケースもあり、不本意ながら病院等で最期を迎えるケースもあると思う。地域の力で対応できることが増えれば、在宅での看取り介護も増えるのではないかと。地域包括ケア構築に向けて様々な福祉関係者や医療関係者、地域住民が協力し、インフォーマルなサービスも増やしていく必要があると思う。

社会福祉法人小茂根の郷 東京武蔵野ホーム

地域高齢者の消費生活トラブル防止対策！

～高齢者見守り人材向け出前講座～

■開催日程 10/30 10:00～11:00

■参加人数 35名

実施の目的

地域の方及びボランティア向けに高齢者見守り人材向け講座を企画、多発する高齢者の消費生活トラブル防止を学ぶ。



当日の様子

この講座は（公社）全国消費生活相談員協会のご協力により開催したものである。通信販売、架空請求、訪問販売等の狡猾な手口等当スタッフによる寸劇による事例を挟みながら解説して頂いた。また、受講者からの経験談（失敗談）も出て有意義な時間となった。

講座終了後、「こもねランチクラブ」（職員食堂の地域向け開放）で昼食を楽しんで頂いた。

地域の課題

振り込め詐欺や消費生活被害など多い板橋区にあって、この地域は一人または夫婦のみの高齢者住宅が多くあり、非常時の安否確認は勿論のこと、日常の見守りについて課題となっているところである。

台東区

社会福祉法人台東区社会福祉事業団 あさくさ地域包括支援センター

街づくり懇談会

■開催日程 10/22 18:00~20:30

■参加団体 特別養護老人ホーム浅草 ケアマネジメントセンターあさくさ
あさくさ高齢者在宅サービスセンター あさくさホームヘルプステーション
特別養護老人ホーム千束 せんぞくデイホーム

■参加人数 59名

実施の目的

住民及び関連諸機関と共に、地域の高齢者福祉を推進し、より効果的な活動を協働で行うことを目指し、地域の実情を知り、共通の課題等について意見交換や協議をするため。そして地域のネットワークづくりを図る。



当日の様子

第1部では、身体障害者福祉ホーム「フロム千束」施設長から、「生まれ育った地域で暮らし続けたい～重い障害を持つ方々のくらしの場」というテーマで、これまでの施設の歩みと現状、高齢化など課題の報告が行われた。質疑応答の中では、施設や利用者の現状を知ることが出来たという声が多かった。第2部では、一緒に唄を歌うなどなごやかな雰囲気の中、活発な意見交換や懇談が行われ、ネットワークがさらに強化されたと思われる。

地域の課題

- ・身体障害者本人も、支え続けてきた保護者も高齢化している。
- ・知的障害者も含め、区内で住み続けたい人たちが利用できるグループホームが不足している。その理由として、台東区にはグループホームに適する5LDK以上の賃貸物件が少ない地域事情がある。
- ・障害者施設、事業所で人材確保が出来にくい深刻な状況がある。
- ・65歳を境に障害者サービスから、介護保険中心のサービスへの移行となるケースが現れ、関係者が連携体制を作り始めている状況がある。

社会福祉法人目黒区社会福祉事業団 特別養護老人ホーム東が丘

地域セミナーおよび高齢者施設見学会

- 開催日程 11/11 13:30~16:30
- 参加団体 特別養護老人ホーム東山 特別養護老人ホーム中目黒
- 参加人数 12名

実施の目的

「特別養護老人ホームとは」をテーマにセミナーを実施するとともに、施設見学会（3施設）を実施し、多くの方に特別養護老人ホームを知り、理解を深めていただく機会を提供する。

当日の様子

毎年、介護の日（11/11）に法人3施設が別途に見学会を実施していたが、同時に1施設しか見学できなかったため、今回は送迎車等を活用して3施設を巡る見学会とし、好評だった。

参加者は、ご家族やご自分の入所を考えている方等で、特養を初めて見た方が殆どだった。

参加した感想としては「暗いイメージがあったが、皆さん笑顔で楽しそうに暮らしているので安心した」「臭いが気にならなかった」など、良い印象を持って帰られ、それだけでも開催する意義があった。

地域の課題

大型の集合住宅はなく、一戸建ての多い住宅地であるため、かえて周りの目が届きにくく、孤立しやすい地域でもある。包括支援センターや民生委員も把握できていなかったりして、受けられる福祉サービスの内容や、困った時にどこに相談すればいいのか、等の情報が受け取れていない方も多いと考えられる。

世田谷区

社会福祉法人康和会 特別養護老人ホーム久我山園

看取りシンポジウム

～生の行く末をみつめる～

- 開催日程 11/23 14:00～15:30
- 参加団体 久我山病院 セコム訪問看護ステーションくがやま
- 参加人数 60名

実施の目的

現状での地域や施設での看取り状況の一端を知り、看取る側・看取られる側の準備教育とは何かを探る。



当日の様子

シンポジストは久我山園介護リーダー、久我山病院ケアオフィス主任ケアマネジャー、訪問看護ステーション看護師、在宅看取りにチャレンジされた区民、計4名であった。参加されたのは、一般区民、町会・自治会関係者、民生児童委員、行政、地域包括支援センター、病院関係者、介護関連事業者、久我山園家族・ボランティア等で、階層が多岐にわたっていた。

発表内容は、地域と施設での看取り状況を具体的に聞くことができ、看取る側も看取られる側も本人の意志を確認することが大切なことを知る機会となった。

地域の課題

久我山園は世田谷区の北部に位置し、特別養護老人ホームや障害者施設も多いのですが、地域で生活する要介護者も多い地域である。参加者のアンケートでは、「大変良かった」「もっと大勢の方に聞かせたい」との感想が寄せられている。

社会福祉法人桜栄会 特別養護老人ホーム恵比寿苑

介護食ってどんなもの

～高齢者向けの食事を食べてみよう～

■開催日程 11/20 10:00～11:00

■参加人数 8名

実施の目的

地域の方々に、介護食とはどんなものかを知って頂く機会を作る。

当日の様子

町内会の回覧板で開催案内を回して頂いた事もあり、参加された方は全て町内会の方だった。栄養士から、介護食とはどんなものかや、高齢者の嚥下や機能などについて講演をした後、施設内で出している食事形態を見たり、味見したりしながら説明や質問を受けた。参加者から、「もっと多くの人に参加してもらいたかった」「昔に、母を介護していた時より、色々変わってきているので驚いた」などのご意見を頂戴した。

地域の課題

参加者は、高齢者の方々ばかりだったが、トロミのお茶やミキサー食などを試食した際に、自分にはまだまだ必要ないからとの発言も多く聞かれた。独居者も多く、みなさんで集まれるコミュニティをもっと増やす必要がある。

府中市

社会福祉法人多摩同胞会

緑苑・安心シニア塾

(高齢者の豊かな暮らしを考える講座)

■開催日程 10/13、10/27、11/10、11/2 10:30~12:00

■参加人数 93名

実施の目的

地域の方々に安心して豊かなシニアライフを過ごしていただくため、身近なテーマについて一緒に考えて頂く。



当日の様子

10月13日はシニア世代の多様な住まい、10月27日は在宅療養と訪問看護、11月10日は終活について、11月24日は災害への準備・対策・復興をテーマに講座を行った。各回共にそれぞれの分野の専門家による講義と、それを受けての質疑応答、講座終了後の交流会という組み立てで実施している。参加している方同士、ここで顔なじみになられた方もあり、開講前後は和気あいあい、講義の間は真剣に、とメリハリのある開催となっている。

地域の課題

これまでのシニア塾は参加した方々が自分のために個人として受講する形だった。しかし、受講する方々から「自分たちが地域で安心して生活していくためにも何かしなきゃと思っているんだけど何をしたらいいのかわからない。」との声が出てきはじめており、参加された方々が地域づくりに気持ちは向いてきているがその方法がわからなくて困っているような印象を受けた。

社会福祉法人多摩同胞会 しらとり学習サポートサロン (中高生への学習支援)

- 開催日程 10/17、10/24、10/31、11/7、11/14、11/20（食事会）、11/21、11/28
- 参加団体 母子生活支援施設 白鳥寮
- 参加人数 47名

実施の目的

家庭環境等の理由により学力面で課題を持つ中高生への学習支援。

当日の様子



期末テストの勉強や高校受験の勉強などを、それぞれのレベルやペースに合わせ、ほぼ個別対応で進めた。週1回だけの活動であり、学校や生活の話もしやすいように関係づくりにも重点を置いている。

親子やスタッフとの交流を深め学習へのモチベーションを高めるため、食事会も行った。

地域の課題

まだ定員には余裕があるため、支援の必要な家庭への情報の周知をはかり、つながりが増えていくとよいと感じた。

市中心部から離れており、子どもの少ない地域ではあるが、不登校等課題のある世帯は少なくなっている。困っている子どもたちが具体的な支援を受けられるよう、誰かが気づいて発信していく必要がある。

立川市

社会福祉法人至誠学舎立川

至誠キートスホーム ボランティア養成講座

- 開催日程 11/2、11/9、11/16、11/30 10:00～12:00
- 参加団体 後援 各市社会福祉協議会（立川市・東大和市・小平市・国分寺市・武蔵村山市）
- 参加人数 60名

実施の目的

ボランティアに関心ある一般市民を対象に、活動内容の紹介、活動体験を行う。

当日の様子



11月2日は外部講師を招いて講義「ボランティア活動を始めるとあって」を開催、参加者23名中18名が既にボランティア活動されている方や特養入居者のご家族の参加でしたが、初心に振り返り受講されていた。

11月9日は車椅子操作や食事介助の体験をして頂いた。

11月16日は弊ホームに併設の地域包括支援センターと合同で、「認知症サポーター講座」を開催し参加者はオレンジリングを取得して頂いた。

11月30日は実際のボランティア活動の説明と活動内容をコーディネートし、新規のボランティアを迎え入れた。

地域の課題

ボランティア活動が出来る世代は絞られるが、今回の講座日程（平日の昼間）では更に就業されている方、若い方は参加する機会が減ってしまう意見があった。

参加者には、いずれ自身が高齢期を迎え介護を要するようになる不安を抱えている方や親族が高齢者施設を利用されてのボランティア活動をされている方も見受けられ、人と人の繋がりが大切であることが話された。

地域活動「げんき食」実行委員会（協力：社会福祉法人同胞互助会）

「げんき食」健康フェスティバル2016 （地域住民との企画による食に関する勉強会）

■開催日程 9/24 10:00～15:00

■参加団体 プーサン倶楽部 バーバ71 昭島市老人クラブ連合会 管理栄養士ボラ会

■参加人数 90名

実施の目的

地域の方と一緒に実行委員会を作り、楽しく勉強会を開催します。今年のテーマは、「元気で生き生き過ごすために知っておきたい事」である。



当日の様子

地域の子供たちのダンスや、健康体操で体を動かしたり、医師や訪問看護、歯科衛生士、管理栄養士による講義を聞き、昼食は管理栄養士のボランティアグループによる栄養満点の元気食を試食した。午後からは、6つのグループに分かれ、いま困っている事、聞きたい事など出しあって、専門職からのアドバイスをいただくという、1日通して、非常に充実した催し物となった。

地域の課題

今回のグループ討議の中で、「昭島ではサロン活動が盛んに行われているにもかかわらず、自分の住んでいる地域でどんな活動があるのかよく知らない」「同じ団地のお隣さん同士でも、どういう活動に参加しているのか分からない」という声が上がった。もっと、情報発信や広報活動を積極的に行い、市全体で気軽に情報が手にできる仕組みづくりが必要と考える。

文京区

アクティブ介護28～文京みんなのつどい～実行委員会
(協力：文京施設長・センター長会)

アクティブ介護28～文京みんなのつどい～ (区内事業者のパネル展示、実践・研究発表大会)

■開催日程 12/13 10:00～16:00

■参加団体 文京区社会福祉協議会 文京大塚みどりの郷 文京くすのきの郷 文京白山の郷
文京千駄木の郷 ゆしまの郷 文京大塚高齢者在宅サービスセンター
文京湯島高齢者在宅サービスセンター 文京くすのき高齢者在宅サービスセンター
文京向丘高齢者在宅サービスセンター 文京白山高齢者在宅サービスセンター
文京昭和高齢者在宅サービスセンター 文京本郷高齢者在宅サービスセンター
文京千駄木高齢者在宅サービスセンター ケアワーク弥生 ユアハウス弥生
リハビリ道場 老松ケアサービス トチギ介護サービス
小石川医師会居宅介護支援事業所 ローズケア 太平ヘルスケア
アドワンスサポートコスモス 小石川みやびの郷 アリア文京大塚
ミニケアホームきみさんち パナソニックエイジフリー介護チェーン城北
社の癒しハウス・文京関口

■参加人数 735名

実施の目的

介護業界の3K（輝き・感動・感謝）をスローガンに、地域住民、学生等に向けて「老いても安心して暮らせる地域社会を目指し、業界PRと共に、人材確保のための活動を行う。



当日の様子

1階の会場では、10開始以降、最終時間の16時まで来客が途切れることなく続いており、気温の低い状況と庁舎内の一般来庁者が少ない中で非常に多くの来場者があった。26階においても99名定員のところほぼ満員の状態で午前・午後とも盛況に終了した。

地域の課題

同時に共催として開催している人材不足への対応としての「地域密着面接会」への来場者数が余り伸びてこない状況があり、当イベントと同時開催をするメリットをどのように生かし、文京区内介護人材の不足状況の改善に寄与できる工夫が必要。

社会福祉法人光照園 王子光照苑

王子光照苑祭

- 開催日程 11/20 10:00~15:00
- 参加団体 王子2・3・4丁目町会 東十条1・2・3丁目町会 日清医療食品(株)
(株)ヘルシーフード (株)明治乳業 江戸玉川屋 アイビリーブ
- 参加人数 220名

実施の目的

地域に根差す高齢者福祉サービス事業所として、事業内容の紹介と地域交流を主軸に文化祭として開催する。



当日の様子

10時よりイベントを開会。すでに、開場待ちの方もおり、出だしは上々であった。
介護相談コーナー、試食コーナー、バザーコーナー、焼きそば屋台など大盛況だった。
地域の方々の作品展示を行うなど、地域の方々も参加できるコーナーを設けるとともに、地域出身の歌手に出演依頼をしたことで近隣町会の皆様が多く来苑していただいた。
15時に閉会。約220人ほどの方にご来苑いただいた。

地域の課題

「開催日が、1日だけだと見に来たいけど来れない。」という声もあった。
バザーや、コンサート目当てだけに来られるお客様もあり、もっと福祉施設として知っていただけるよう事業広報活動をしていかなければならないと思う。

北区

社会福祉法人泉陽会 新町光陽苑

新町光陽苑 秋祭り
(認知症カフェ)

■開催日程 10/30 10:00~14:00

■参加団体 新町光陽苑高齢者あんしんセンター（地域包括支援センター） ワークショップ山鳥
あおいの杜 北区傾聴クラブ（ハッピー、レインボー、ダンボの耳）
DIS（新町中学校卒業生バンド） 明治大学マンドリン倶楽部OB

■参加人数 180名

実施の目的

秋祭りを開催し、地域の様々な方にも集まっていた
だき、音楽イベント、認知症カフェ等を通じて入居
者、ご家族、地域の皆様との人的交流を図る場の提供
をしていく。また、備蓄食の販売を通じて防災意識の
啓発をしていく。



当日の様子

今回で4回目の開催となり、昨年度も来ていただいた音楽ボランティアの方々（地域の方の家族であつたり、当苑の敷地が元中学校であり、その卒業生の方に演奏していただいている）の演奏を地域の方並びに入居者、ご家族も一緒に歌いながら楽しんでいる様子が見られた。

また、備蓄食の販売を通じて熊本や鳥取の被災地への支援（募金）と共に日頃の備えが大切であることの啓発をすることが出来た。また、展示スペースを設けて実施した施設の活動紹介では、音楽が主体のイベントが多く、地域の方も大勢の方が来ていて楽しそうな雰囲気だった。

地域の課題

- ・当苑の行事や地域での活動をいかに地域の方にいかに周知していくか。
- ・地域の活動（町会や自治会）との連携方法や様々な活動（例えば認知症の方を地域で支えていくための風土づくりなど）に参加していただく方の確保（高齢化が進み若い方の成り手がいない）。
- ・当苑や地域活動団体との横のつながりをどのように構築していくか。
- ・町会との災害時協定は結ばれてはいるものの実際起きたときに備えた活動の方向性（協議や訓練の頻度等）。

社会福祉法人フロンティア

学習支援事業所への無償パン提供

- 開催日程 毎週4回 月曜～木曜
- 参加団体 豊島区ひとり親等の子どもに対する学習支援事業 放課後寺子屋 WAKUWAKU
クローバー クローバー朋友
- 参加人数 180名

実施の目的

学習支援事業所に通う子どもたちの孤食問題改善と併せ、知的障害者の社会参加促進を目指す。

当日の様子

知的障害者支援施設いけぶくろ茜の里の就労支援部門による手作りパンを、週に4回定期的に区内の学習支援事業所へ無償提供している。パンは惣菜ものや菓子パンものなど日によって違うものを提供。子どもたちの軽食として食べてもらっている。今年の5月よりスタートした新しい取り組みであるが、勉強を頑張る子どもたちには好評をいただいている様子。「パンを楽しみに通われるお子さんもいらっしゃる」と、嬉しい声も聞かれている。

地域の課題

学習支援事業所に通う子どもたちは、集団になじめず学校で十分な教育が受けられなかったり、家庭において勉強する環境が整っていなかったりと様々な問題を抱えている。そこで、豊島区内に現在10数か所の学習支援事業所が「とこねっと」というネットワークで繋がり、対象となる子ども・親双方をサポートしている。ただ近年、その学習支援を受ける子どもたちのひとり親家庭に起因する貧困・孤食化が問題視されている。

足立区

社会福祉法人敬仁会

『ふれあいはあとまつり』 In Tokyo 西新井

- 開催日程 10/15
- 参加団体 西新井第三団地自治会 (株)ムトウ(福祉用具) レスポワール工房(障害者支援)
足立さくら会(障害者支援) 足立工業高等学校
- 参加人数 500名

実施の目的

地域の障害者、高齢者と住民の交流、地域福祉の向上を目的とした屋内外イベントの開催

当日の様子

屋内イベントでは和太鼓演奏、ピアノコンサート、車椅子ダンス等を実施し、来場された幅広い年齢層の住民の皆様と、施設利用者も含めて一緒に交流することが出来た。屋外での屋台やキッズコーナーにも地域住民、保育園の園児等に沢山お集まりいただき、会場いっぱいに笑顔が溢れ、和やかな雰囲気に包まれた。さらに車椅子体験コーナーでは、体験を通じて福祉に関心を持っていただき、地域と一緒に暮らす、共に支え合うことの大切さを感じていただく良い機会となった。

来場者からは「このようなイベントがあることを知らなかったが、今回参加できてよかった。ぜひ継続して欲しい」等の意見を頂いた。

また、自治会や地域、学生のボランティアの方々に、準備段階から当日の運営まで多大なるご協力をいただいた。

今回の最大の目的である地域の障害者、高齢者、住民の皆様との交流を図ることができ、有意義な交流イベントとなった。

地域の課題

地域では、認知症の方や単身の方が増えており、少しでも地域の中での気づき手を差し伸べる仕組み体制が必要となっている。地域からは隣近所のお付き合いが少ない等の意見もあり、今後は益々地域との交流連携、情報交換の場が必要と考えている。

自治会との連携をより強固なものとしながら地域と一体になって高齢者、障害者との交流の場を提供する努力をしていきたいと考えている。



社会福祉法人賛育会 墨田区特別養護老人ホームたちばなホーム

たちばな祭

■開催日程 10/27～10/30

■参加団体 comodo 白鶴会 K-Factry ゴールデンリリース すみだ少年少女合唱団
ボランティアグループほほえみ 吾嬬立花中学校 アボットカマイ かめぱん
乳糖製菓 押上煎餅 浅草人形焼き 賛育会

■参加人数 200名

実施の目的

地域の中で高齢者福祉を担っている「たちばなホーム」の存在をより多くの方に知ってもらう。職員も地域とともにある施設であることを認識する。



当日の様子

期間中、たちばなホーム2階で地域の方、サービスセンター・入所者の作品展示を行いました。売り物と見間違えるような質の高い作品の数々に売ってほしいとの声も上がるほどだった。10月29日にはサービスセンターを会場にボランティアの皆様による演奏、合唱、ダンスで大盛り上がりだった。10月30日は肌寒い1日だったが、模擬店、出張販売、ボランティアの合唱に地域の皆様、ご利用者、ご家族、職員家族等多くの方が足を運んで下さり、大盛況だった。

地域の課題

近隣にある団地や町会の高齢化、小学校の統廃合による少子化でボランティアを中心とした施設を支える地域の担い手が減少。ボランティアも高齢化しており、多世代の住民との交流の機会を設けていく必要がある。

江戸川区

社会福祉法人江東園 お年寄り疑似体験

- 開催日程 10/6 9:30～12:30
- 参加団体 江戸川区下鎌田東小学校 (株) 共英 (福祉用具貸与事業所)
- 参加人数 60名

実施の目的

車椅子体験を通し、体が動かない不自由さと不便さ、家や町の中にある不自由な物、不便な物を考える。

当日の様子

当日は実際に施設利用者から普段困っている事を小学生に説明をしてもらい、参加者全員が耳を傾けていた。

車椅子体験を通して、参加者全員が真剣に取り組んでおり、感想としては「怖い」「楽しい」「今後は高齢者に優しく接したい」「町で困っている人がいたら声をかける」等、感じる部分は様々であったが、職員共に楽しい雰囲気の中で実践できた。

地域の課題

施設から小学校までは徒歩5分程度の所であるが、施設の中でこういった方が住んでいるのかが分からない。町で困っている人を見かけてもどう声をかけたら分からないという事が課題として挙げられる。

江戸川区

江戸川区（協力：江戸川区熟年者福祉施設連絡会）

江戸川区民まつり

- 開催日程 10/9
- 参加団体 区内の関係事業者、ボランティア
- 参加人数 不明

実施の目的

テーマ「つながる ひろがる 笑顔の輪」

当日の様子

施設連絡会合同でブースを設置。脳トレや脳年齢・福祉クイズ、施設の紹介などを行ったが、あいにくの雨天で、訪問者は少なかった。

江戸川区

江戸川区2016介護フェア実行委員会
(協力：江戸川区熟年者福祉施設連絡会)

江戸川区2016介護フェア

- 開催日程 11/12 10:00～15:00
- 参加団体 江戸川区内介護事業者団体多数
- 参加人数 不明

実施の目的

介護全般の周知、啓蒙、情報提供、相談など。

当日の様子

施設連絡会としてブースを設置。区内特養の紹介、入所・利用相談を行う。

地域の課題

医療機関と施設（入所者）との連携がもっと必要。

社会福祉法人白秋会 泰山

小岩地区自治会開催の「集い」への協力

■開催日程 11/29 13:00～15:00

12/20 13:00～15:00

■参加人数 100名

実施の目的

地域の自治会が独自で行っている活動（「小岩ほほえみの会」）。

町会に所属をしている方々が、月に一度「一緒に」「楽しく」集える場所として、町会役員が中心となり活動。その活動の手伝いを地域包括として行っている。

当日の様子

11月に関しては、町会のダンスクラブの方が中心となり、簡単にできるダンスを皆さんとおこなった。12月は地域包括より「認知症について」の講義を行う。

その他は、コーヒーとお菓子などを提供し、皆さん楽しまれている。

地域の課題

町会としては、コンスタントに多くの方が集まってもらっているが、まだまだ誘っても来ない方も多くいる。今後、どのように参集してもらうかが課題。

杉並区

社会福祉法人浴風会

まるわかり！あんしん介護フェア2016

- 開催日程 11/12 10:00~16:00
- 参加団体 出展企業：19社 協力団体（福祉作業所・特別支援学校等）：9団体
その他：19団体
- 参加人数 600名

実施の目的

法人の理念である“地域との協働と社会貢献”のもと、地域の方々に向けた介護や健康に関する情報発信の場としてイベントを開催し、楽しみながら『人・地域・企業』をつなげていく。



当日の様子

企業の展示ブースや杉並区内外の福祉団体による販売コーナー、地域住民のフリーマーケットをはじめ、消防車や杉並区公式アニメキャラクター「なみすけ&ナミー」のゆるキャラも登場し、小さなお子さんから高齢者まで、「介護・福祉」に触れながら、世代を超えて楽しんでもいただくことができた。ホールでは、認知症の講座や、今回のスペシャル企画として「デューク・エイセス」のコンサートを開催。立ち見が出るほどの人気で、1時間たっぷり生の美しいハーモニーに会場は大盛況だった。

地域の課題

本格的な少子高齢化をむかえ高齢者のみの世帯や独居老人が増加しており、杉並区も例外ではない。都市部ならではの希薄な人間関係において、閉じこもりがちな高齢者が多く、老老介護や認知介護等で孤立する人々も多い中、誰もが地域で安心して暮らせる地域づくりが求められる。

社会福祉法人東京福社会 練馬高松園

まつばっくりサロン

■開催日程 10/23 13:00～15:00

■参加団体 地元の農家 地域の商店

■参加人数 30名

実施の目的

地場産野菜の地産地消。地域の農家、商店との連携。
寄付の文化育成。

当日の様子

特別養護老人ホーム練馬高松園の秋祭りの場所を利用し、練馬で採れた地場産野菜を配布。
地域の高齢者、若いお母さん等、配布時間前から並ぶほどの盛況となった。
当日は、赤い羽根共同募金箱を設置して寄付の呼びかけを行った。

地域の課題

高齢者福祉施設に、若い世代が入りにくい。
入所者、家族、地域の老若男女が一同に集える場が必要。

練馬区

社会福祉法人泉陽会 第二光陽苑

第二光陽苑 秋祭り

- 開催日程 10/30 10:00~15:00
- 参加団体 保谷和太鼓 若松会 関中学校 ウィンドアンサンブル部 沖縄三線会
ドッグセラピー会 やすらぎの杜 パン工房 ほっとJOB
- 参加人数 150名

実施の目的

- ・地域との交流の機会の一端となり、ご利用者に楽しんでいただく。
- ・地域の方々に、法人および高齢者福祉に対する理解を深めていただく。



当日の様子

18回目となる秋祭りで、地域の方への案内（立て看板、チラシ、ビラ）を中心に行い、来場者の来場を促した。当日は、アトラクション（太鼓、三線、吹奏楽）、模擬店、高齢者体験、アンケートを用意する。特養、ショートステイのご利用者やご家族の参加も多くあり、賑やかな祭りとなる。

地域の課題

地域的に、大きな祭りが減ってきている状況の中で、こうした祭りを実施することが地域との交流の場づくりにつながると実感している。また、地域の方への法人及び高齢者福祉に対する理解も深めていくためには、継続する必要があると考えている。

菅刈住区住民会議（協力：特別養護老人ホーム青葉台さくら苑）

菅刈住区住民会議「菅刈公園フェスティバル」

■開催日程 10/30

■参加団体 菅刈小学校 第一中学校 菅刈児童クラブ 東山児童館 ドンキホーテ
コカコーラボトリング 目黒法人会 特別養護老人ホーム青葉台さくら苑
グループホームきらら グリーンカフェ 老人クラブ 選挙管理委員会
学童保育クラブ ストレッチクラブ 太極拳クラブ 他

■参加人数 不明

実施の目的

「地域の輪を広げよう」というテーマのもと、目黒区の地域住民や企業も協力しての交流の場を作る目的で行われている。特別養護老人ホーム青葉台さくら苑（社会福祉法人三交会）も参加している。

当日の様子

小学生や中学生の楽器演奏、グループホームの利用者さんの歌の発表、地域の老人会主催のゲームやPTAや近隣のお店の方々による模擬店の実施、バザーやアニマルセラピーの開催などいろんな催しが行われ、来場された地域住民の方々がそれぞれに楽しまれておりお祭りのようなイベントとなった。子供から老人まで、老人の中にはグループホームやデイサービスを利用されている方々も含めて幅広い年齢層の方が集っていた。9時の開場から子供をはじめとした住民の方々が入場され催しを楽しまれており、閉会の15時まで人は絶えることなく出入りがあった。

地域の課題

地域にある企業や学校、地区団体と住民が一体となった催しを開催することで地域全体のつながりをはぐくむ場となっている。これから発生するであろうさまざまな地域の問題に対しても地域全体での協力体制の構築が課題であると思う。

目黒区

社会福祉法人三交会 特別養護老人ホーム青葉台さくら苑

さくら苑 納涼祭

- 開催日程 8/20
- 参加団体 菅刈住区住民会議 青寿会 桜寿会 小鳩会 目黒福寿会
東京スクールオブビジネス アニマルセラピーコース
目黒ボランティア区民活動センター さくら苑家族会 上八町会
- 参加人数 約200名

実施の目的

利用者の余暇活動として、利用者と地域住民との交流として

当日の様子

地域住民をはじめ、多数のボランティアの協力によりさくら苑の「お祭り」として実施。特別養護老人ホームの入居者と短期入所生活介護の利用者を順次会場に案内。盆踊りやカラオケ、ゲーム、模擬店を展開し利用者と地域住民のボランティアの皆様にも楽しんでいただいた。ご家族の面会も多数ありご家族様にも楽しんでいただくことが出来た。利用者と地域の方と一緒に盆踊りを踊ったりカラオケをしたりと普段行えない他者との交流をすることが出来た。

地域の課題

ご協力いただいているボランティアの皆様も年々年をとり高齢化している。施設運営においての社会資源を既存の関係に頼ることなく広く探していく必要があると思われる。また、今後地域住民の高齢化に伴う介護の需要も増えてくると思われる。その中で地域に根ざした施設として住民へのサービスや情報の提供をより積極的に行うことが求められると思われる。今後も風通しの良い住民の皆さんからも気軽に相談いただいたり、ご協力いただけるような関係性を構築していく必要があると考えられる。

多摩川癒しの会（協力：博水の郷） 多摩川癒やしの会 秋の芋煮会

- 開催日程 11/19 11:00～13:00
- 参加団体 多摩川癒しの会 特別養護老人ホーム博水の郷 玉川福祉作業所
グループホーム花みずき
- 参加人数 30名

実施の目的

普段あまり外に出る機会がない高齢者や障害者の社会参加と、河の癒し・セラピー効果を実感してもらう。

当日の様子



雨天であったため、会場を変更し屋内で開催した。

参加人数もやや少なくなったが、寒い中参加いただいた皆様には温かい芋煮を召し上がっていただき、出し物などで楽しんでいただいた。

地域の課題

雨天になってしまうと開催が難しくなることが一番の課題である。本来の目的である河の癒し効果を実感できず、屋外での活動という主目的も果たせない。

雨だと外に出ないという声も聞こえる。

八王子市

社会福祉法人一誠会 偕楽園ホーム・初音の杜
 社会福祉法人清心福祉会 ファミリーマイホーム
 社会福祉法人多摩養育園 多摩特養老人ホーム

八王子介護フェア

■開催日程 11/12

■参加団体 八王子市 八王子ブロック施設長会
 八王子市社会福祉協議会ボランティアセンター地域福祉推進拠点 石川
 八王子市学園都市文化ふれあい財団 八王子市高齢者あんしん相談センター左入
 特定医療法人社団愛有会 三愛病院 医療法人財団敬寿会 相武病院
 医療法人社団東京愛成会 高月病院 社会福祉法人八王子心成会 登芙蓉心成苑
 東京純心女子中学高等学校

■参加人数 110名

実施の目的

介護の日にちなんで地域の方々に介護を身近に感じていくことを目的として開催をした。



当日の様子

地元の東京純心女子中学高等学校の学生による吹奏楽のオープニングセレモニーからはじまり、八王子市高齢者いきいき課課長による記念講演、企業による介護体験コーナー、あんしん相談センターをはじめとした近隣の医療機関による介護医療相談コーナーなど介護について触れていただく機会となった。

焼きそばやドライカレー、豚汁などの屋台を出店販売し、販売を行った施設職員・ボランティアと地域の方とが交流する機会にもなった。他にも地元出身の歌手のミニコンサートや近隣の大学生のボランティアにも参加していただき、さまざまな世代へ取り組みを知らせることができた。

社会福祉法人がおこなう地域公益活動の一環として、八王子市をはじめ、八王子市社会福祉協議会、高齢者あんしん相談センター、近隣の医療機関などにもご協力をいただきながら開催できたことに意義があることと感じた。

地域の課題

介護に関する関心や不安など、地域の参加者との会話から聞き取ることができた。介護保険の制度や特養やデイサービス、グループホーム等の施設の利用について、今後必要となってきたことは感じているが、現状で介護に関わることがないと具体的にイメージがわからず、どのように活用していけばよいかかわからないのが実情のようであった。身内で介護が必要となったときに、困らないように地域のなかにある社会福祉法人をはじめとした福祉施設の活用が予防から要介護状態と幅広く理解につながっていけるようにPRしていく必要があると感じた。

社会福祉法人清明会 浅川ホーム・清明園

もみじ祭り

- 開催日程 11/10
- 参加団体 フラダンス（ナプアラニフラダンス） 生演奏（アロハエコーズバンド）
人形劇（社会福祉法人 星座会 障がい者支援施設） 野点（茶道グループ・野本宗文）
- 参加人数 250名

実施の目的

ご家族様や地域の皆様をご招待し、ボランティアの方による催し物を通し、交流を深める。

当日の様子

野点では仙台から取り寄せた和菓子と、お抹茶を美味しく頂き、日頃なかなか機会がないと、ご来園者の方々には大変好評を頂いた。

模擬店では季節ながらのきのこご飯、ふかし芋、焼き鳥、お汁粉等を販売。紅葉を楽しみながら、召し上がって頂き、お土産にも是非欲しいと購入して頂いた。

生演奏のフラダンスでは、会場の皆様も一体と成り、楽しく踊って頂いた。

地域の課題

地域の方が抱いて居る、老人ホームの暗いイメージを、この様な行事にご招待する事で、沢山の催し物に参加して頂き、楽しい所だと思って頂ければと思う。

また、地域の方などに「自分もいずれ入所したい」と思って頂ける様に、今後も色々な催し物を考えて行きたいと思う。

八王子市

八王子市立陶鎔小学校（協力：養護老人ホーム竹の里）

福祉体験授業（5年生対象）

■開催日程 9/30

■参加団体 地域にある包括支援センター デイサービス事業所 福祉用具販売業者
特養等に協力を仰いだ。

■参加人数 約90名

実施の目的

利用者や施設が地域の一部として認識されるように小学校や福祉団体と定期的な関わりを持ち、地域福祉の拠点施設としての役割を担っていく。

福祉体験授業の目的：児童育成支援。高齢者と児童の交流による密接な地域の絆づくり。

当日の様子

福祉体験授業の内容：4年生（特養担当）：認知症サポーター受講と福祉用具体験など

5年生（竹の里担当）：高齢者の理解とふれあい体験

平成27年度より2回目の取組。昨年度の反省も踏まえ、小学校担当者とも円滑な話し合いができ、実施に至った。内容は、4年生で、認知症サポーター講座を受講し、5年生は、高齢者への理解と触れ合いを目的として計画実施した。

5年生全員に向け、オリエンテーションとして、劇を織り交ぜた講義と、身体の事や車椅子の使い方を説明した高齢者疑似体験を行った。高齢者疑似体験は、各協力団体（地域包括センター、デイサービス、介護用品業者、社協等）より20名程協力をいただきながら実施し、児童も集中して取り組む姿勢が見られた。

また、ふれあい体験は、クラス毎に別日を設定。竹の里へ児童が来園して、オリエンテーションで得た経験と知識を活かした、生徒達が考えたレクリエーションを利用者と共に楽しみ交流を行った。

2日間の体験授業を通じて得た内容を、授業でフィードバックし、まとめを行った。竹の里と利用者に対する親近感をもっていた。

地域の課題

核家族化や近所付き合いなど地域の繋がりが希薄化しており、親交を深める機会が不足してきている。また、高齢者と接する機会が少ない児童がいる。

地域の中に児童館がなく、学童を卒業した児童の居場所が不足。

地域の高齢化が進んでいる。

あさかわ祭り実行委員会（協力：浅川苑）

第14回あさかわ祭り

■開催日程 10/16 10:00~14:30

■参加団体 特別養護老人ホーム浅川苑 浅川苑サービスセンター
ケアマネジメントセンター浅川苑 地域包括支援センターあさかわ
介護ショップりんりん パン工房あおとり 喫茶りん 夕照会 マカレア

■参加人数 250名

実施の目的

- ・施設への理解と入所者と地域住民との交流。
- ・屋台とバザーの収益を被災地の特養に送り交流を進める。



当日の様子

隣接のマンションの管理組合と日野市の社会福祉協議会を通じて地域の皆さんが当日のお手伝いに入ってください、日常的に活動してくださっているボランティアさんや入居者のご家族を合わせ約50名が協力員としてお祭りを盛り上げてくださった。

特養・デイそれぞれのご利用者の作品を目にされた地域の方はとても関心を持たれ、「ボランティアとして関わりたい」との声も頂いた。

演芸には2団体が協力出演してくださり、特に特養・デイのご利用者の楽しみの時間となった。

玄関前は屋台や出店団体が並び、地域の皆さん・入居者・職員・協力員との交流の場として賑やかだった。

バザー会場は、開店を待つ地域の皆さんの行列ができるほど。お昼過ぎには半額セールも開かれ一日お客さんが絶えない場となった。

地域の課題

今年で14回を数えるあさかわ祭りだが、まだまだ施設の中の様子を知っていただけていないといった印象があった。毎年開催の特養見学ツアーも初参加者ばかりだった。

その一方で『あさかわ祭り＝バザー』といった認識は地域に広まっていて、日程の問い合わせ等も多くあった。

地域の理解を得るためにも、地域への貢献が欠かせないと感じた。

町田市

社会福祉法人月峰会 特別養護老人ホーム杏林荘

杏の里 秋まつり

- 開催日程 10/22 13:00~16:00
- 参加団体 相原レクダンス愛好会 翌檜会 丸山友の会 三味線演奏会
- 参加人数 約100名

実施の目的

施設を地域住民やボランティア団体に開放し、施設入所者と地域住民との交流を図り、施設への理解を深めてもらう。



当日の様子

当日はあいにくの空模様で、少し肌寒くはあったが地域の方々や多くのご家族が参加された。施設で飲食の模擬店を出店し、ご利用者やご家族、地域住民やボランティアの方々に提供し、大変好評だった。ボランティア団体によるダンスの発表や楽器の演奏会を行い、ご利用者を始め、多くの方々が楽しんでいた。ご利用者の中には、この日のために一生懸命歌の練習を行い、当日カラオケで披露するなど、和気あいあいと楽しく過ごされていた。

地域の課題

施設住所地の地域住民には、イベント告知を行えたが、“地域福祉サービスの拠点”として考えた場合、施設住所地の町会以外の住民参加が少なかった。どのエリアまで参加を呼び掛けていくかが、地域に対する今後の課題と思う。

地域に密着している分、ご利用者のプライバシーの保護という点で、地域住民への啓発が地域の課題と思える。

社会福祉法人大和会 特別養護老人ホーム愛生苑

第2回WADAミュージックフェスティバル in 愛生苑

■開催日程 6/5

■参加団体 近隣福祉施設 企業 団体 小学校・大学 演者等

■参加人数 950名

実施の目的

近隣住民との「顔の見える関係性づくり」を目的に音楽フェスを通し、普段入ることのない特別養護老人ホームに足を踏み入れてもらう。



当日の様子

屋外では近隣福祉施設や企業、子供会が協力してくださり15店舗を出店した。中庭特設ステージでは近隣小学生・先生たちの音楽隊、大学生の吹奏楽団、プロで活躍されているビックバンド、ヴェルディ君や着ぐるみなどさまざまなジャンルのステージとなった。またサプライズゲストとして漫才コンビ「おぼん・こぼん」のおぼんさんや東京ヴェルディの平本一樹選手と船山祐二選手も駆けつけ、ステージを盛り上げた。参加人数は第1回目を大きく上回る950名と大盛況だった。

地域の課題

近隣住民との関係性の構築が重要と考えている。ぎりぎりまで悩み介護が必要で相談に来なければならぬことは相談者にとって、とても不安でプレッシャーになる。気軽に相談できる関係性を普段から作っておくことを念頭にまずは敷地に来てもらうこと、利用者の生活を知ってもらうこと、そこからニーズを引き出していきたいと思う。

武蔵村山市

社会福祉法人村山福祉会 特別養護老人ホーム伊奈平苑

地域の高齢者を招いての食事会とミニコンサート

- 開催日程 10/22
- 参加団体 残堀寿会（老人クラブ）
- 参加人数 23名

実施の目的

施設近隣にお住まいの高齢者を招待した食事会やコンサートを通じて、地域のニーズや課題を知る。



当日の様子

食事会では老人クラブを通して参加者を募ったため、15名の高齢者が参加され、食後に併設の地域包括支援センターとも連携して、介護予防等のミニ講座を開催した。参加者については希望のあり方には送迎を行った。

コンサートでは、上記以外の地域の高齢者と特養ご利用者も参加されたため、会場の雰囲気はたいへん盛り上がった。コンサートはヴォーカル、ヴァイオリン、ピアノのアンサンブルユニットのプロの音楽家を招いて、高齢者の馴染みのある懐メロ等も含めた曲編成をしていただいた。

地域の方々と特養高齢者が一緒に歌を口ずさむ場面も多くあり、地域の方と特養ご利用者ともたいへん好評な内容であった。

地域の課題

今回のイベントのみでは地域の課題が抽出できたわけではないが、当法人が立地している地域の地域性（交通の便が悪い）を考え、集団を対象にした活動を実施するときの会場までの参加者の移動手段が課題であると感じた。

また、今回は地域の老人クラブと協働して参加者を募ったが、地域で老人クラブ等の組織に所属していない高齢者への勧誘手段が課題であると感じた。

社会福祉法人恭篤会 特別養護老人ホームむさし村山苑

保育園児との交流会

■開催日程 9/26 10:00~11:00

11/7 10:00~11:00

■参加団体 みらい保育園

■参加人数 160名

実施の目的

高齢者施設が人々の交流の場となれるように。

当日の様子

9月の交流会は「ミニ運動会」と題して、ダンスやパラバルーンを披露してもらった。

当苑は駐車場も広いためそのスペースも使用し、ダイナミックな演技に入居者さんも大喜びで涙を流している方もいた。11月の交流会は「ふれあいあそび」と題し入居者さんと一緒に手遊びなどをメインに行っていただいた。色々な園児さんと握手をしたり手遊びをしたりふれあう機会も多く皆さん喜んでいた。

地域の課題

まだ、始まったばかりの取り組みのため今後も継続して行っていけるようにしていきたいと考えている。園児さんに来てもらうのではなく、入居者さんを連れて遊びに行くような形もできたらいいのかなと思っている。ちょっとした外出気分も味わっていただけると思うので実行できればと思っている。

東村山市

東村山市内社会福祉法人連絡会

市民向けイベント「第36回コロニー祭」 「社会福祉法人敬愛会オペラ演奏」

- 開催日程 コロニー 9/10 10:00～16:00
敬愛会 11/3 14:00～
- 参加団体 東村山市内社会福祉法人連絡会加盟法人9法人が参加
- 参加人数 コロニー 300名 敬愛 不明

実施の目的

- ・法人紹介（事業所、施設の内容や活動の紹介）を行い市内の東京コロニー東村山工場を知ってもらう事を目的として実施。
- ・周知を多数行い、当日施設に来所してもらい、施設紹介や法人理解を進めるために実施。

当日の様子

（コロニー）

- ・地域の方やコロニーOB、市内近隣障害者関係施設等、毎年多くの参加を得ている。今回は、社会福祉法人連絡会を通じてのPRもでき、これまで以上の参加者があったように感じる。
- ・毎年参加いただいているリピーターも多い。

（敬愛会）

- ・多数の参加があった。

地域の課題

（コロニー）

- ・「つながれ ひろがれ ちいきの輪」としてのPRが当日できなかったのが、のぼりやチラシ等を作成して来場者に配布をすれば効果的であった。

東久留米市介護サービス事業者協議会

介護の日啓発イベント

「考えてみよう家族の介護、考えてみよう親の介護」

■開催日程 11/11

■参加団体 老人施設福祉施設 老人保健施設 訪問看護 訪問介護 訪問入浴 有料老人ホーム
配食サービス 福祉用具事業所 グループホーム 居宅支援事業所 通所介護
社会福祉協議会

■参加人数 145名

実施の目的

いい日いい日の「11月11日」としての介護の日を
広く市内、近隣の市民に啓蒙する。

当日の様子



終日雨にうたれましたが、今年は市役所市民ホールから、商業施設に変更したが、各ブースが工夫しており、会場で福祉に関するビデオテープを流したり、福祉用具コーナーでは、介護力軽減のマッスルスーツが人気があり、実際体感していただいた。介護保険の申請の相談もあり、福祉車両3台展示、入浴車は足湯コーナーを作り実際にお湯を沸かし、体験して頂いたり、新型の電動車いすの試乗会も行った。

地域の課題

東久留米市は都内に近いベッドタウンとして開発された地域。住民の高齢化が進んでいるが元気な高齢者もいる。毎年市役所の市民ホールで行われていたが、市役所に出向く人は用事が終わるとすぐに引き上げるため集客には苦労していた。その為イベント付きで実施していたが今年は商業施設であれば、客層もいろいろ取り込めるとした。イオンモール東久留米は駅からシャトルバスが出ている為、買い物の合間に気軽に立ち寄れることから、イオンモール東久留米を会場とすることはキャンペーンの上で効果的であると考えた。実際、夫婦や、お子さんをつれた若い家族などが入場してくれた。

日の出町

社会福祉法人福陽会 第3サンシャインビル

地域ボランティア交流会

■開催日程 11/30 14:00~15:30

■参加団体 いずみの会生活学校 うすゆきそう 多摩ハーモニカクラブ ふむふむ
講談を楽しむ会 五楽会

■参加人数 23名

実施の目的

日頃お世話になっているボランティアさん同士、ボランティアさんと職員でお茶を飲みながら交流を深める。



当日の様子

各団体毎にテーブルに分かれ、各テーブルに職員も座り、コーヒーを飲みながら、①ボランティアをして良かった事、②ボランティアをされていて困った事、③職員に聞いてみたい事、④今後行ってみたい活動。上記4つのテーマで話し合いを行う。話し合いの時間を30分用意していたが、4つのテーマ以外にも話題が広がり、とても盛り上がり、あっという間に30分が過ぎた。ボランティアを代表して、講談を披露して頂く。ボランティアの方達からも、良い時間を過ごせたという声を多く頂いた。

地域の課題

活動しているボランティアがどんなものがあるかわからないという意見があった。この事から、地域の中で、ボランティアをしたいと思っても、活動を始める一歩を踏み出せない方もいるのではないかと感じた。施設として、宣伝、地域との交流を図る事で、少しでも多くの方がボランティア活動しやすいような環境作りに努めていく。

社会福祉法人豊島区社会福祉事業団 特別養護老人ホームアトリエ村 アトリエ村バザー

- 開催日程 10/30 11:00~14:00
- 参加団体 特別養護老人ホームアトリエ村 カフェふれあい R.I.JAPAN
地域包括支援センターアトリエ村ステッカー委員会 やきとりキング
- 参加人数 400名

実施の目的

地域に開かれた施設として、地域の皆様にバザーへの協力(物品提供、値付け、販売他)を依頼し、ともにバザーを盛り上げ、楽しみ、売上金は地域へ還元する。

当日の様子

地元のフリーマーケットともタイアップし、模擬店へは地元の店も出店し、模擬店・物品販売ともに大変賑わい、ロビーでは地元で活動しているミュージシャンがギター弾き語りで30分コンサートを2ステージ行った。多くのボランティアの方々、一般の地域のお客様、皆が楽しみ、大変だったがとても楽しかったとの声をいただいた。

地域の課題

地域にはまだまだ閉じこもりがちな高齢者や、本来なら助けが必要であるはずの一人暮らしや老々介護で生活されている高齢者がいらっしゃる。社会福祉法人として、地域への積極的な働きかけで協力を依頼し、情報を共有し、協力し合いながら共に歩んで行く必要がある。

台東区

社会福祉法人聖風会 特別養護老人ホーム台東

特養台東フェスティバル

- 開催日程 11/5 12:00～16:00
- 参加団体 台東区社会福祉協議会・フランスベッド
- 参加人数 80名

実施の目的

地域交流の一環として、近隣の商店街にて特別養護老人ホーム台東を知ってもらう目的

当日の様子



大人だけではなく、子供たちも一緒に楽しんでもらう様に射的やバルーンアート等といった催しを行い、学校帰りの小学生や小さなお子さん達が楽しそうに参加していた。

高齢者疑似体験セットをお借りして、大人だけでなく子供達にも体験してもらい、思った以上に歩きづらい・視界が狭まる・音が聞こえづらい・高齢者って大変だねといった意見が多く聞かれた。また、介護ロボットのパルを展示していたが、小学5年生の社会科の教科書に載っているので認知度が高く、パルも大人気だった。

地域の方々（大人）には、特養台東をアピールしたパネルや施設内の紹介ビデオを作成し周知を行い、ケアマネジャーによる相談コーナーでは、介護に関する悩み事やサービスのご案内などの情報を提供させて頂いた。

地域の課題

商店街とはいえ、人通りが少ないのでいかに集客させるかが問題となっている。

施設入所を検討しているという相談を受けたが、同居していなく区が違う為、アドバイスが出来なかった。

商店街で行ったが、参加してくれた方々は元気な方が多くいずれはサービスを利用したいと考えているが現状はそう必要性を感じていない現状なので、介護等に関する話がしづらかった。

社会福祉法人白寿会 特別養護老人ホーム プレミア扇

地域交流会2016

■開催日程 11/6 11:00~15:00

■参加人数 330名

実施の目的

地域の方々と交流が持てる場を設け、施設の認知度の向上、いつでも気軽に立ち寄ることが出来る施設作りのため。



当日の様子

過去2年間は天候に恵まれずに雨の中の開催でしたが、今年は晴天に恵まれ開園前から地域の方々が並ばれていた。開園するとバザー・野菜詰め放題・模擬店・プラ板作成と長蛇の列ができ、各セクションは賑わっていた。近くの小学校からは多くの子供たちが来られたり、ご近所の方々、又は施設の福祉サービスを利用されている高齢者、特養に入居されている方々やその家族が参加された。

昨年は約280名の地域の方が来所されましたが、今年は昨年を上回る330人の方々が来所された。各セクションで昨年よりも多めに材料を準備致しましたが、ほとんど13時までには売れ切れの状態だった。

家族ボランティアや他のボランティアの方々のお手伝いも頂き、大きな事故も無く盛大に終わる事が出来た。

地域の課題

施設の周辺には小学校や中学校が何力所がある。学校が休みの日に、親が就労の為不在になり、兄弟で一つのカップラーメンを分け合いながら食べている世帯があると耳にした。きっと地域には同じような環境の子供達がいると想像がつく。そうした子供たちが栄養ある食事を摂れる事、学習の場などの居場所の確保が必要不可欠と考えている。

葛飾区

社会福祉法人仁生社 特別養護老人ホーム水元園

卓球教室

- 開催日程 11/19
- 参加団体 近隣の地域住民
- 参加人数 5名

実施の目的

施設のスペースを地域の開放し、地域住民に広く介護施設を知ってもらうことと、卓球を通して介護について興味を持ってもらうことを目的に実施。

当日の様子

参加者は近隣の小学生。普段高齢者と接する機会がないため、利用者との交流は新鮮な時間であったかのように思われる。

地域の課題

以前は農業を営む世帯が殆どだったが、ここ10年で建売住宅が立ち並び若い層の住民が住み始めている。しかし、高齢化はこの地域でも問題になっていて、こちらからのアウトリーチが必要。

社会福祉法人仁生社 介護の仕事説明会

- 開催日程 10/23
- 参加団体 近隣の地域住民
- 参加人数 1名

実施の目的

介護の仕事の説明だけではなく、日本とりわけ東京の福祉介護の実情を知ることによって世間で言われている偏った介護の認識を改めて、ご自身の介護問題や職業選択の一つとなること目的として実施。

当日の様子

50代前半の男性が参加。現業において人員整理されるとのことで新たな職を検討している。以前から介護には興味があったので説明会に参加。非常に熱心に聞いていて、世間でのネガティブなイメージから考え方が変わったと言われた。今後は当施設での職場体験を通して介護を実体験する予定。

地域の課題

以前は農業を営む世帯が殆どだったが、ここ10年で建売住宅が立ち並び若い層の住民が住み始めている。しかし、高齢化はこの地域でも問題になっていて、こちらからのアウトリーチが必要。

墨田区

社会福祉法人賛育会

はなみずきホームオープンハウス（施設開放）

■開催日程 10/16 10:00~14:30

■参加人数 約300名

実施の目的

- ・施設の活動についての理解を促進してもらう。

当日の様子

- ・近隣住民や他施設の利用者が多く参加。パネル展示や配食サービスの試食会のほか、模擬店や大道芸や近隣神社の宮司さんのオペラ披露などで楽しんでいた。
- ・毎年実施しているが、今回は子供向けの活動を企画し事前に広報していたため親子連れの来園が多かった。



地域の課題

- ・単身高齢者、高齢世帯が地域で孤立しやすい状況。墨田区がみまもり相談室を設置し民生委員等と連携し、みまもり活動を行っている。地域の課題として情報の共有化が挙げられている。
- ・高齢者の居場所づくりの必要性を共有し、推進している。

社会福祉法人あそか会 特別養護老人ホーム あそか園

第5回 あそか園地域交流まつり

■開催日程 9/22 11:00~15:30

■参加人数 30名

実施の目的

社会福祉法人に対する社会貢献活動の一環として、あそか園を地域交流の場として開放する。

地域の一員として、様々なイベントを開催し、施設を身近に感じてもらう。



当日の様子

当日は悪天候の為、急遽、施設内での開催となった。例年に比べると来場者数が少ない状況であったが、バザーの時間帯には多くの方々が来場された。その他、模擬店でのお食事やゲームコーナー、高齢者疑似体験に参加していただき、自施設の専門性の還元に努めた。学生専用の相談ブースを設けたものの、参加がない状況であった。

地域の課題

江東区の人口増は、出生率の上昇ではなく、転入者によって人口が増加している傾向にある。特に75歳以上の後期高齢者については、29年まで増加することが推計されている。社会福祉法人として、自らの専門性を地域へ還元し、施設と地域住民の方が暮らしやすい街づくりに尽力していく必要がある。又、専門学校においては学生数の減少が顕著であり、小・中学生や高校生が少しでも福祉に興味を持っていただけるように近隣の学校や学内のボランティアクラブ・サークルへのアプローチについて検討していきたい。

中野区

社会福祉法人中野区福祉サービス事業団 しらさぎホーム

いきいきしらさぎフェスタ2016

- 開催日程 11/5～11/11
- 参加団体 すりいでい 明治 クリニコ マルハ
- 参加人数 25名

実施の目的

介護の日になみ、区民に介護をより身近なものに感じてもらう契機とすると共に、しらさぎホームを広く地域に周知する。



当日の様子

介護シューズの販売、介護食の試食、サンプル配布、リハビリの体験、特別養護老人ホームの見学を期間内に実施。介護シューズでは、「足に合った靴が買えた」「自分で選べて楽しい」、介護食は、「意外にも種類が多い」「手軽に飲める」等の声が聞かれた。

近隣同士で声を掛け合って参加し、談笑したり、対応したケアマネに相談する人もいた。

地域の課題

「困った時に気軽に相談できる場所がわからない」「施設は何をしているか知らない」という声もあり、毎月の食事会や集会場での健康体操や介護講座を開催してきたが、まだまだであると感じた。

社会福祉法人敬心福祉会 特別養護老人ホーム千歳敬心苑

特養へ行こう！

■開催日程 11/6 10:00~13:00

■参加人数 12名

実施の目的

必要に迫られない限り、訪れることのない特養は、あまり良いイメージを持たれていない。今回、地域に開放することによって、特養の魅力を知っていただきたいと思い、企画した。

当日の様子

車椅子体験、施設見学、介護セミナー、介護食体験、ランチタイム交流会など、盛りだくさんの内容だった。参加者からは、「楽しかった」「またやってほしい」「特養に入りたくなった」などの意見をいただき、大成功だったと思われる。

地域の課題

参加者の意見から、特養という所がいかに理解されていないかを改めて知った。逆に、知っていたら、こんなに好感を持っていたかもしれないことも知った。施設の内容だけでなく、利用料金のことや申込方法も知られていない。必要に迫られた時に慌てることなく、相談に来てもらえるよう、もっと地域に開かれた施設になっていかなければならないと感じた。

世田谷区

社会福祉法人友愛十字会 特別養護老人ホーム砧ホーム

地域交流ふれあい施設見学会

■開催日程 10/2 11:00～11:30 / 13:30～14:00

■参加人数 20名

実施の目的

施設見学と意見交換会を開催し、地域のなかで施設がお役に立てることに気づき、また施設のなかで地域の方々が役に立っていただけることを発見していただき、新たな交流につなげる。



当日の様子

自法人による地域参加の三大大行事の一つ「友愛ふれあい祭り」の会場内に受付ブースを設けて開催をご案内した。当日は好天にも恵まれ、祭りには地域住民延べ1000人余りが参加された。当団体によるブースにも多数の地域住民の方々にお立ち寄りいただきイベントの関心を引いたが、ご参加いただけたのはそのうち20名であった。地域住民からのご意見として、高齢者福祉に関連する地域住民向けの勉強会の開催や入所相談会の開催を希望する声を得られた。

地域の課題

施設の認知、施設の役割についての理解の乏しさがあるのではないかと感じた。地域に特養（本館2階部分）があること、同時に養護老人ホーム（本館3・4階部分）があること、また特別養護老人ホームと養護老人ホームの違いなど、地域と施設がお互いにお互いを知り合うことを一度や二度ではなく継続的に深化させていく必要があることを実感した。

社会福祉法人弥生会 特別養護老人ホームくにたち苑

くにたち苑バザー

- 開催日程 10/2 11:30~13:00
- 参加団体 くにたち苑家族会 イフスコヘルスケア 光グループ
- 参加人数 120名

実施の目的

地域との交流を通してくにたち苑をPRする。

当日の様子

雨が続けていたので天候を心配したが、初夏のような日差しの中で、大勢の方にお越しいただくことができた。地元の方からいただいた新鮮野菜はあっという間に売り切れ、美味しい模擬店には長蛇の列、バザー品売り場では掘り出しものを選ぶ方など、くにたち苑の玄関前は大混雑だった。また同時にデイサービスの作品展示会も行い、開催前、当日と多くの方に協力いただき、無事に終了することができた。



地域の課題

バザー開催に関しては特に課題は見つからなかったが、年々地域の方の参加も多くなり、浸透してきた感じがする。

立川市

社会福祉法人恵比寿会

第4回フェローホームズ秋祭り

■開催日程 10/29

■参加団体 特別養護老人ホームフェローホームズ「仲間の家」「森の家」「高松の家」「ヴィラ・フェローホームズ」

富士見町地区「富士見YOSAKOI」「いっしょう太鼓」「舞夢会」「FAMIダンススクール」

■参加人数 250名

実施の目的

法人設立25周年。地域の皆さまとの交流を深め、ご利用者やご来場の方々に楽しいひと時を過ごしていただけるよう、感謝の気持ちを込めての企画を盛り込んだお祭りである。



当日の様子

天候に恵まれ、恒例のバザー会場を中心に多くの地域の方がご来場となり、ご利用者とご家族も加わり大賑わいとなった。

今年は恒例となった屋台・バザー・地元の採れたて野菜の販売・ステージイベントの他、在宅で生活するための福祉用具の展示販売、施設の入所見学案内、映像による施設紹介、高齢者のための介護食（ソフト食）の試食会を行った。さらに25年前の立川を紹介する写真展を実施し多くの方に施設を知っていただくことができた。

そして、祭りのフィナーレでは25周年謝恩抽選会を開催、賞品は立川市観光協会推奨品を中心に揃え、大盛況のうちに閉会した。

地域の課題

富士見町地区には昭和43年頃に開発された、公団の賃貸住宅、分譲住宅、都営住宅があり、高齢化が進んでいる地域がある。また近くには日々の暮らしを支えるスーパー等の物販店もなく、生活に困窮している。どのようにサポートするか今後の課題である。

社会福祉法人桜栄会 特別養護老人ホーム砂川園

福祉祭

■開催日程 10/22 10:00～14:00

■参加人数 117名

実施の目的

職員独自の工夫を基にイベントを開催、イベントを通して、地域住民の方に砂川園をもっと知ってもらうことを目的とする。



当日の様子

午前中は、模擬店をはじめ、ボランティアによるバーベキューの無料提供、学童による工作教室、デイサービスによる押し花・マラカス制作体験。また、認知症サポート養成講座とスタンプラリーを行い認知症に対する理解を深めた。午後からは、午前中に制作した楽器を使い、お子様、利用者様、近隣の皆様とピアノとパーカッションの演奏を通して大盛況の演奏会となり、音楽を通して一体となった瞬間だった。

地域の課題

地域行事の縮小により地域住民とのコミュニケーションの場が疎遠となって来ている中、新興住宅地として新しい世帯が移り住んで来ていることから新旧の近隣世帯との交流を図る上でも、施設が接点になるように努めて行きたい。また、今回、実際に新たな若い世帯の来場も確認出来たことから、地域の取り巻く環境をどの様にして巻き込んで行くかが今後の課題となる。

昭島市

社会福祉法人同胞互助会 養護老人ホーム偕生園

文化祭・フォーラム

■開催日程 11/3 11:00～15:00

実施の目的

利用者の作品展示販売、模擬店等を利用者主体で企画運営し、地域の方との交流を楽しむ。フォーラムでは法人全体の職員が協力し、地域の方を対象に介護体験や勉強会を開く。



当日の様子

当日は、さわやかな秋晴れの中、バザーや模擬店、利用者の作品展示、販売、フォーラムでの勉強会を実施した。今年のテーマは「新たな食の発見、凍結含浸食」とし、フォーラムでは、法人がこれまで取り組んできた柔らか介護食「凍結含浸食」の紹介をし、実際の含浸食を模擬店メニューに入れ、地域の方に召し上がっていただいた。地域の方から、『1日ずっといても飽きないわ』との感想を頂くほど、楽しんでいただけたようである。

社会福祉法人同胞互助会 特別養護老人ホーム愛全園

納涼祭

■開催日程 8/27 18:00~20:00

■参加人数 約300名

実施の目的

地域の夏の風物詩として、施設のご利用者とそのご家族、地域のお子様からお年寄りまでが一緒に楽しめる行事を開催する事を目的とした。



当日の様子

当日はあいにくの雨となり、建物の中での開催となった。地域の方が来ていただけるかと心配したが、雨にもかかわらず、たくさんの方がお越し下さり、盆踊りやゲーム、各種模擬店を楽しんでいた。アトラクションは地域の子どもたちのダンスと鳳凰太鼓をお呼びし、室内での演奏は迫力満点で、「良かったあ」「迫力に圧倒された」等の感想をいただいた。

地域の課題

この地域にはたくさんの神社があり、夏のこの時期はそれぞれの境内でお祭りが開かれているので、地域の子供会はあちこち引っ張りだこで、参加される子ども達の数が減ってきているように思う。

東村山市

東村山市高齢者福祉施設連絡会 お年寄りの手作り作品展

■開催日程 10/14～10/16

■参加団体 (特養) 白十字ホーム ハトホーム 第二万寿園 東京都ナーシングホーム
はるびの郷 ひかり苑 青葉の杜
(養護) 万寿園 さくらコート青葉町 (軽費) サンホーム 第三万寿園
(通所) 白十字八国苑 寿デイサービスセンター はるびの郷
ハトホーム在宅サービスセンター 東大和市ふれあいデイサービスセンターひかり苑
本町ケアセンター 青葉の杜デイサービスセンター

■参加人数 982名

実施の目的

高齢者福祉施設と在宅のお年寄りの手作り作品展を展示し、市民に高齢者福祉施設活動の一端を理解してもらう。



当日の様子

開催期間の3日間は、天候に恵まれ来館者数は982名であり、一昨年と比較すると増加した(平成26年：859名)。また、地域からの作品の出品点数については、実施会場の改修工事により、2年ぶりの開催となったが「作品募集チラシ」の配布活動により、前回よりも増えた。

地域の課題

会場の都合上、使用方法に制限があり作品の落下や作品の作成方法や販売を聞かれ、苦慮することがあった。一方、参加している施設・事業所の情報を紹介しているコーナーがあるが地域包括支援センターの情報が欲しい旨の声があった。連絡会では、毎年地域向けに施設見学会を開催し施設案内をしているが、募集定員を超過する問い合わせがある。対応策としては、各施設で随時施設見学をさせて頂く話をしているが、地域住民個々では施設に対して敷居が高いと感じている。

東村山市高齢者福祉施設連絡会

東村山市内社会福祉法人施設・事業所の公開オープン

■開催日程 白十字会 10/23 9:00～ / 13:00～
はるび 10/29 13:30～

■参加団体 白十字会、はるび

■参加人数 白十字9名 はるび19名

実施の目的

- ・法人の事業所や施設を公開し、市民に身近にある社会福祉法人を知ってもらうために実施。

当日の様子

(白十字) 当日は、八国山フリーマーケットが開催されていて、来場者に施設見学を呼び掛けた。職員が2施設を案内したが、来場者より「思っていたより明るいイメージだった」等、実際の居室、食堂、お風呂の設備などに興味を示された。

(はるび) 事前申し込みがなかったが、ふらっとカフェスタッフを含め19名の参加。施設見学が初めてという方がほとんどで、皆さん真剣な表情で見学していた。近隣の小・中・高・専門・大学に案内をだしたが、当施設の実習生であった学生が1名参加した。

地域の課題

(白十字) 午前9名、午後0名であったので、参加者の呼びかけに今後工夫が必要。

東村山市

東村山市高齢者福祉施設連絡会

東村山市内社会福祉法人連絡会
紹介パネル展

- 開催日程 10/26 9:00～ 11/1 12:00
- 参加団体 東村山市内社会福祉法人連絡会加盟法人22法人
- 参加人数 336名

実施の目的

- ・法人紹介（事業所、施設の内容や活動の紹介）をパネルで行い市内の社会福祉法人を知ってもらう事を目的として実施。
- ・連絡会の小冊子を作成して、市民に配布した。

当日の様子

- ・午前、午後と担当当番を決めて、9法人の職員で複数配置して受付をおこなった。
- ・市民の方が、用事で市の窓口へきたついでに、この催しを見ていった。
- ・家族に障害のある方から、相談等をうけた。
- ・施設資料を見ている市民の方が多かった。

地域の課題

- ・市民の方にわかりやすく法人事業や施設等を紹介することが必要。
- ・障害別の紹介などを今後検討する。

白十字ホームフリーマーケット実行委員会（協力：白十字ホーム）

第4回八国山フリーマーケット

■開催日程 10/23 10:00～15:00

■参加団体 市内の障害者施設（なごみの里、みどりの森、あきつの園、ひなたの道）地域住民

■参加人数 700名

実施の目的

住民の多世代交流の場として、フリーマーケット・演奏会等を催し、安心して暮らせる町づくりに寄与する。



当日の様子

開始直後から、大勢の地域の方が来訪され、フリーマーケット出店者も盛況であったことを喜ばれていた。

近隣保育園の子供たちのエイサー踊りやその父兄のバンド演奏、障害者施設の利用者の演奏や、中学校吹奏楽部の演奏などのアトラクションも大変好評だった。

近隣保育園の踊りは、会場内だけではなく施設の中でも披露してくださり、「施設で発表をする機会を是非作ってほしい」と依頼したところ保育園からも良い返答をしていただくなど、今回のフリーマーケットをきっかけに新たなつながりを作ることが出来ている。

地域の課題

市内でも様々なイベントが行われる時期なので、集客を考えると日程の調整をする必要が考えられる。

東久留米市

社会福祉法人三育ライフ

シャローム祭

■開催日程 11/6 10:00～15:00

■参加人数 500名

実施の目的

地域との「縁」を大切にする法人として、交流を図り楽しんでいただく。



当日の様子

100歳を超えている4人の入所者の開会宣言でスタート。エイサーの演舞でオープニングを飾っていただき、模擬店やフリーマーケット、ゲームコーナーで楽しんでいただく。

中では、高齢者の作品を展示し、日頃の活動やその作品を通してシャロームをわかっていただく。

イベントとしては、子ども合唱団やフルートとピアノの演奏、ジャズなど音楽プログラムで素敵な時間を味わっていただいた。喫茶コーナー、似顔絵のコーナーなどもあり、一日楽しまれた。

地域の課題

フリーマーケットに参加された、障害者就労支援の事業所の方から、「縁があって参加させてもらったが地域のために職員が笑顔で優しく働かれていることに感動した。これからも協力し合っていきたい」との言葉をいただいた。まだまだ協働できることがあるように感じた。

小学生のボランティアが9名参加され、近隣の小学校との交流がボランティアという形で続いていることをうれしく感じた。頼もしい活躍で子供たちの力を活かす工夫が必要と思う。

社会福祉法人竹恵会 特別養護老人ホーム けんちの里 文化祭

■開催日程 11/6

■参加人数 650名

実施の目的

法人における地域交流、文化活動として高齢者等の作品展示、個人や団体の演奏会等を行う。

当日の様子

多くの市民の来場があった。

当日は、特養やデイサービスのお客様が作った作品や近隣保育園の園児の作品、中学生が作成した美術作品を展示した。

ほかに、模擬店や手打ちうどんの販売、地域で活躍するダンス団体における大江戸ダンスの発表や近隣中学吹奏楽部の演奏会の開催などもあり、盛況であった。



地域の課題

園児から高齢者まで幅広い世代が美術作品や活動を通し、交流が図れる機会をさらに増やしていきたい。

あきる野市

社会福祉法人秋川あすなろ会 あすなろみんなの家

開設25周年記念事業

「つなぐれ ひろぐれ みんなの家と地域の“輪”」
「第17回 おばあちゃんのお店屋さん」

■開催日程 11/27 10:00~16:00

■参加人数 180名

実施の目的

高齢者在宅サービスセンターとして開設25周年の節目を迎え、これまでの歩みを振り返るとともに、施設・法人関係者、利用者やご家族、地域の福祉関係者などを交えて座談会を行い、これからの望ましい地域の姿、高齢者福祉施設のあり方について考える。



毎年恒例の地域公開行事「おばあちゃんのお店屋さん」の開催により、地域の方々にとって、デイサービスを利用している利用者の方々との交流の機会、施設を知っていただく機会にする。併せて、デイサービス利用者の社会参加の機会、生きがいづくりの機会とする。

当日の様子

午前は、25周年を記念し「つなぐれ ひろぐれ みんなの家と地域の“輪”」を開催。25年の歩み紹介、ボランティア等の表彰に引き続き、座談会「みんなで語ろう、私たちの未来 みんなでつくろう、地域の輪」と題し、座談会を開催した。法人役職員・施設利用者やご家族・民生児童委員や近隣施設職員等、約40名の参加のもと、それぞれの立場から考える地域の課題や当施設への期待などについてご発言を頂いた。

午後は、全盲のソプラノ歌手、橋本夏季さんのミニコンサートの後、「おばあちゃんのお店屋さん」を開店。デイサービス利用者自らが売り子となって、日頃の活動で作った様々な商品や調理部門手作り惣菜等を販売。100名を超える来場者で大賑わいとなった。

地域の課題

座談会では、民生児童委員の方より、特に男性高齢者の活動と参加の場づくりの必要性について指摘があった（火が燃えていて飲み物があるような場所に人は集う、自宅近くにそんな場所づくりが必要）。

また、高齢者だけでなく、障がいのある方、乳幼児等も含めた様々な人たちが誰もが、支え合って生活できるような地域づくりに、施設が貢献してほしいとの期待が寄せられた。

施設開設のきっかけの一つに、介護をする人（特に女性）が仕事を辞めざるを得ない状況の解決を目指していたことが取り上げられ、現在でも大きな課題であることを再確認した。

社会福祉法人芳洋会 特別養護老人ホームひのでホーム
社会福祉法人道心会 藤香苑 社会福祉法人ほうえい会 栄光の杜

食 de つながれひろがれ日の出町の輪

- 開催日程 11/5、11/6
- 参加団体 産業祭り参加団体
- 参加人数 100名以上

実施の目的

- ・食品販売を通して、地域における施設の存在を知って頂くこと。
- ・「日の出町への応援メッセージ」を書いていただき、メッセージの取組みを通じて地域の方とコミュニケーションをとることで、「こういうサービスがあると良いな」などの、地域ニーズをつかむこと、また更に馴染みのある存在になる。
- ・他施設と取り組むことで、職員の施設間交流が深まる。



当日の様子

晴天で例年より賑わった日の出町産業まつりにて、ひのでホームはパンの販売、藤香苑はEPAの職員の方が作る本場のベトナム焼き春巻き、栄光の杜はタピオカドリンクとコーヒーの提供を通して、呼び込み、受け渡しなどで地域の方との会話を楽しんだ。

呼び込みの際にも笑顔で話しかける職員に、お客様も自然と笑顔になって頂き、楽しくコミュニケーションを図れた。

地域の課題

高齢者の方はこういった町の催し物も、交通の便が悪く自力で来ることが困難であるため、高齢者の方が利用できる何らかの交通機関が今以上にあれば良いと思った。

板橋区

社会福祉法人みその福祉会 特別養護老人ホームケアタウン成増
社会福祉法人翠生会 音羽台レジデンス 社会福祉法人紫水会 オーネスト成増

災害時応援協定者 合同防災訓練

■開催日程 11/24 10:30~12:00

■参加団体 成増第一町会 特別養護老人ホーム（音羽台レジデンス、オーネスト成増、ケアタウン成増） 志村消防署成増出張所 高島平警察署生活安全課 板橋区危機管理室地域防災支援課 板橋区医師会所属医師（多比良医院院長）

■参加人数 53名

実施の目的

災害時応援協定を結んでいる同一町会内の特養3施設と町会の4者合同訓練を年1回開催。

今回は消防署、警察署、板橋区、医師会所属医師の方々にご指導いただき、各種訓練を実施。

顔の見える関係づくりに重点を置いている。



当日の様子

当日は54年ぶりの11月の降雪で、寒さの厳しい中、多くの皆様に参加していただいた。

天候により残念ながら当初予定していた起震車や煙体験ハウスを使用した訓練は中止となったが、消火訓練やさすまたを使用した防犯訓練、非常用備蓄食糧の炊出し訓練を実施し、「板橋区の医療救護体制について～トリアージの実際～」の講義など、新しい情報に皆様熱心に聞き入られていた。今回で4回目の合同訓練となり、お互いの理解も深まってきた様子も見られ、充実した訓練となった。

地域の課題

各々の団体が災害時支援に向けた準備を進めているが、お互いの防災計画への理解や情報共有が、まだ不足していると思われる。何が支援でき、何を助け合うのか、具体的な情報の共有や合同訓練の積み重ねが重要だと感じている。

社会福祉法人至誠学舎東京 みどりの苑

町会合同炊出し訓練

- 開催日程 10/6 10:00~12:30
- 参加団体 前野町5丁目町会 10名 至誠学舎東京 8名
板橋区危機管理室 1名
- 参加人数 19名

実施の目的

災害発生時にみどりの苑職員と前野町5丁目町会の方々とで相互に協力し地域の災害支援活動関係を深める。



当日の様子

ライフラインが途絶した状況を想定し、みどりの苑中庭にて施設職員と町会の方々とで災害用の大釜を使用し150食分の豚汁を作った。また、同時進行で町会員が主となりアルファ米を作った。夜間を想定し、真っ暗にした部屋の中で投光器の明かりを頼りに配膳作業訓練を行った。

炊出し後は、出来上がった豚汁とアルファ米を食しながら交流会を開催し、防災や地域の課題に対する協議と相互の協力関係の確認を行った。

地域の課題

前野町5丁目町会は町内のお寺にある井戸水が使えることになっているが、地域が広くそれだけでは災害時の水源確保に不安がある。みどりの苑は福祉避難所に指定されているが、災害時に地域住民の方々が近隣の小学校や中学校など指定避難所に行くより、みどりの苑が近い場合は避難してくる可能性があり、施設の貯水が足りなくなる可能性があることから、災害用浄水装置の購入も検討課題になった。

江戸川区

社会福祉法人光照園 江戸川光照苑

地域との相互防災訓練

- 開催日程 11/27 10:30~12:30
- 参加団体 江戸川光照苑 北小岩五丁目自治会 五仲自治会 北小岩江戸川町会
(株) フォックスブルー
- 参加人数 40名

実施の目的

地域との防災協定に基づき、防災訓練をすることで
より共助の関係を強化する。



当日の様子

プログラムとして、「炊き出し訓練」「水消火器での消火訓練」「AED、災害ベンダーの説明」「防災セミナー」「防災関連ビデオ上映」を行った。特に、「防災セミナー」では、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本大震災、広島での土砂崩れの事例を紹介し、命を失わないための日ごろからの備えや危機意識を常に持つことの重要性を説明され、参加者全員が改めて防災意識を高められたと思う。

地域の課題

今回お集まりいただいた各自治会の方々も高齢者が多く、若年層が少なかった。
今後は地域の若年層の方々にも災害についての意識を高めることが必要と思われた。

菅刈住区住民会議（協力：特別養護老人ホーム青葉台さくら苑）

菅刈公園防災訓練

■開催日程 9/11

■参加団体 上八町会 青葉台日向町会 上八北自治会 菅刈住区住民会議

■参加人数

実施の目的

地域全体で防災を実施することで連携の確認を図る。また、普段できない対処を学ぶことで防災の知識を深める。

当日の様子

当日は朝から雨天のため、菅刈公園から菅刈小学校に場所を変更して行われた。起震車の体験はできなかったが、避難訓練、AED講習、応急処置法、災害伝言ダイヤルなど実際に体験することが出来た。

地域の課題

災害時に年配の方や独居高齢者に対するフォローをどのように行っていくか、地域で体制を整えることができるか、が課題と思われる。

青梅市

社会福祉法人吹上苑 特別養護老人ホームやすらぎの家

BCPからBCCPへ

合同防災訓練～防災協定書を見直そう～

- 開催日程 11/23
- 参加団体 青梅市吹上自治会
- 参加人数 46名

実施の目的

災害時に地域との連携をするために地域と防災協定書が作成されている。しかし、地域住民は防災協定書の内容を殆ど知らず、見たこともない為、内容の確認をし、本当にこの内容で災害時に活用できるのか検証を行う事を目的とした。

当日の様子

当日は地域全体の防災訓練を午前中に行い、終了後当施設に自治会員が集合し「防災協定書」の内容を確認する。協定書の存在を知らない方が殆どであった。また、緊急時の連絡網の見直しも行われておらず、連絡方法も緊急時は役に立たないことや、施設が火災時に集合場所に集まってから救助に行く等緊急対応できないことを確認する。地域に災害があった時に施設にどのように連絡し、水害、震災、火事等の場合施設の資材、設備の何を活用できるのかを確認する。

施設が火災時に車椅子の利用者をベランダから救助する訓練等も行った。

地域の課題

自治会加入率が50%、高齢化率45%を超えている地域であることや自治会活動が負担となり新規加入者が減少している。

社会福祉法人さくらぎ会 特別養護老人ホームこもれびの郷 地域防災協定に基づいた防災訓練

- 開催日程 10/28
- 参加団体 上秋川消防署 緑の里自治会 こもれびの郷 さくらぎ保育園
さくらぎこぼん保育園 市立秋多中学校
- 参加人数 45名

実施の目的

大規模災害への対応訓練を通して、地域住民と地域にある施設が協力して難局に備える。

当日の様子

当日午前より施設職員によるロールプレイ訓練を開始。午後には参加団体が全て揃い、秋川消防署の指導のもと訓練本番を行う。施設利用者様は実際に避難をしていただき、関係団体は応援に来た地域住民として関わる。終了後は、秋川消防署による講評を受けた。また、炊き出しを行い関係者全員で飲食し被災時を想定した経験とした。

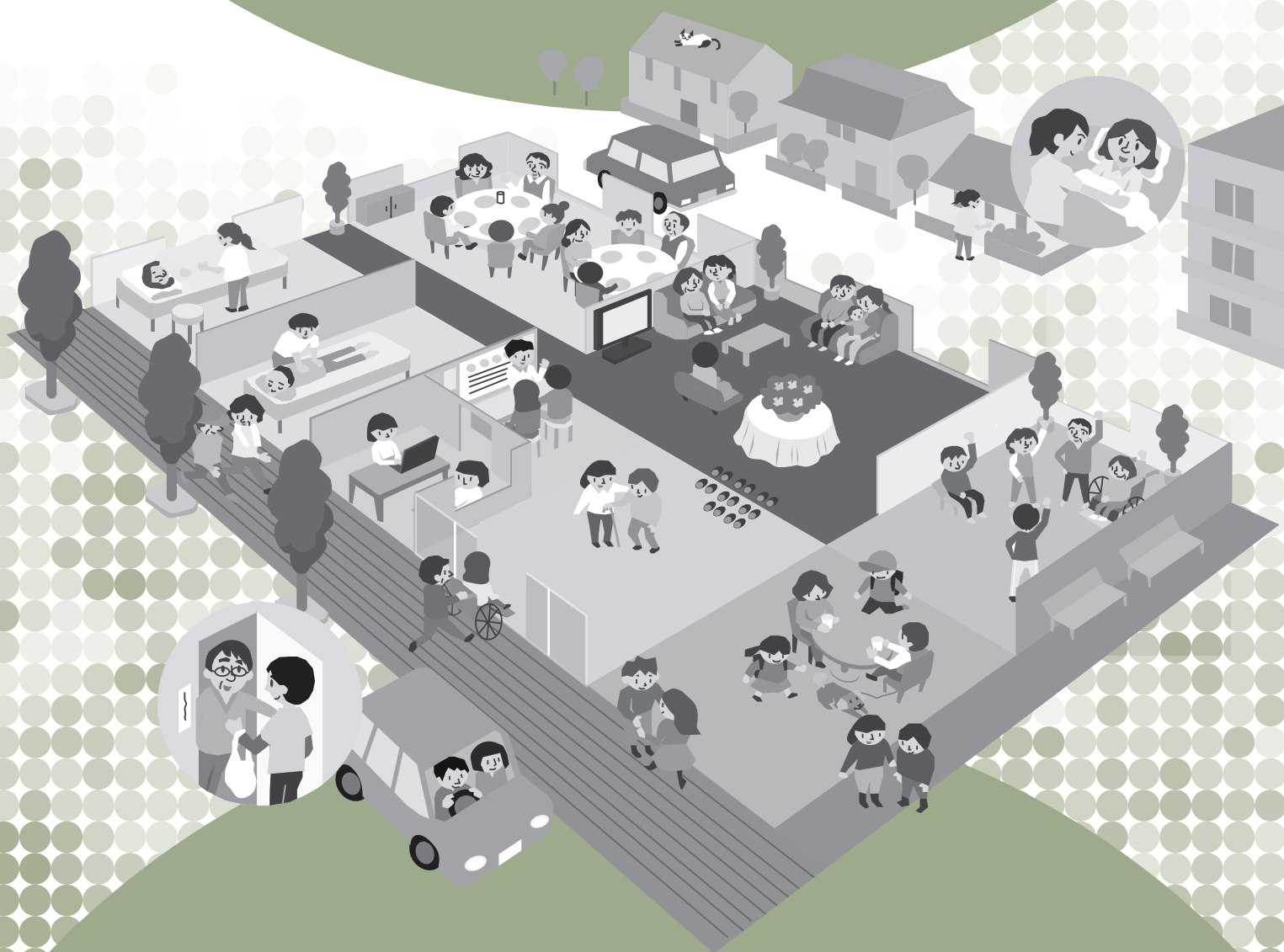
地域の課題

地元緑の里自治会は、昼間に被災した場合の救助活動に不安を抱えているとのこと。一方こもれびの郷は夜間の体制が手薄である。こうした弱点といえる部分を相互補完して事に当たることで地域の防災力が高まるのではないかという話し合いがもたれ有意義であった。

また、「こもれびの郷が持つ設備が地域住民のみなさまにとってとても頼もしいものである」とい言葉もいただき、地域のお役に立つということが実践できていることを感じた。

IV

一挙公開！キャンペーンの舞台裏 ～2016年度のふりかえり～



大きな可能性を秘めた第一歩

～ まだまだつながる もっとひろがる ～

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実行委員

今 裕司

社会福祉法人秋川あすなろ会

あすなろみんなの家 施設長



1年目を振り返って

「社会福祉法人・施設は、制度上サービスにとどまらず、地域の福祉ニーズに対してもっと貢献するべきではないのか？」ここ数年、このような問題提起が「内部留保」の問題と合わせて寄せられ続ける風潮の中、社会福祉法の改正で「地域における公益的な取組み」が、社会福祉法人の責務として位置づけられました。

私たち社会福祉法人・施設は、それぞれの地域において住民の方々や諸団体等との関係を深めながら、様々な活動を展開してきました。しかし、活動の状況や成果について地域住民や関係機関に十分に認知されておらず、我々のPR不足の面も否定できません。

高齢者福祉・介護に関わる社会福祉法人・施設・事業所として、地域の方々に向けた活動を展開し、その実績を広く知っていただく取組みが必要では？といった思いから「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」の活動がスタートしました。

2016年度は初めての活動にもかかわらず、延べ979団体の参画のもと121の取組みが展開され、19,179人の参加を得ることができました。

取組みは、交流会や食事会といった集いの場、認知症カフェなどの居場所づくり、認知症サポーター養成講座などの学びの機会のほか、町内会・自治会等地域の団体と協働しての防災訓練や複数施設が協力してのイベント開催など、多岐にわたっています。似たような活動でも、地域の状況や各施設の特徴によって違いがあり、一つとして同じものはありませんでした。

これは、地域のニーズが多様であると同時に、私たちの地域活動への可能性の高さを示していると言えます。

一方で、初年度を振り返ると、様々な課題も見えてきます。

一番の課題は、実施施設・事業所が会員数に比して少ないこと、取組みの行われなかった自治体が少なからず存在したことです。

この理由としては大きく分けて2つあったと考えています。

1つ目はキャンペーンの目的や意義等の理解が行き届かなかったことです。今まで行ってきた取組みでよいにもかかわらず、「アイデアが浮かばない」「そんな立派な取組みはできない」といった声を聞くことも多くあり、ハードルが高いと感じた施設・事業所も多かったようです。また、キャンペーンの活

動＝「地域公益活動」と、改正社会福祉法（平成28年）で定められた取組みに沿ったものにしないといけないという誤解も少なからずあったようで、私たちの説明不足も反省点です。

2つ目として、施設・事業所の運営環境の厳しさがあります。「必要だと思うが、参加できる状況でない」といった声もよく耳にしました。12月に行った「ふりかえりの会」でも、担当者の苦勞として「他の職員の協力を得るのに苦勞した・時間がかかった」という声が多くあがりました。ただでさえ職員不足の中、「本業（施設・事業所での高齢者福祉・介護のサービス提供）」で精一杯ということでしょう。福祉・介護をめぐる人材不足という大問題がここにも大きく影を落としていると言えます。

キャンペーンのこれから

2017年度のキャンペーン実施に向け、すでに準備が始まっています。

2年目は、より多くの施設・事業所の参加を得て活動が展開されること、参加のない自治体をなくしていくことを目標としています。

しかし、前述のとおり、参加のハードルを高く感じている面があるようで、「昨年と同じ活動しかないで、参加を見送ろうかと思う」といった声も聞かれました。私たちは「毎年新しい取組みが必要ではありません。むしろ継続が大事です」と説明し、参加を呼び掛けています。定期的な開催を継続することで成果が出る活動も多くあるはずで、キャンペーン期間にとどまらず、定期的な活動展開も期待しています。

さらに長期的には、このキャンペーンに参加しての取組みから地域のニーズに気づき、新たな活動の展開、大きく言えば新規事業・サービスの創出へとつながっていくことも期待しています。

また、複数の施設・事業所や児童・障がいといった他の分野の施設、地域の団体や民間企業等との協働の取組みが数多く行われるようになると、地域の実情に応じた活動がきめ細かく重層的に展開できるのではないかと考えています。

「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」キャンペーンは、まだまだ小さな取組みですが、この取組みが「多様なつながりをもって大きくひろがる」ことで、「地域でこぼれ落ちる人がいないよう、誰もが安心して暮らせるまち」づくりと、社会福祉法人や高齢者福祉施設・事業所に対する「信頼と評価」という成果が得られることを願っています。



実施担当者向け説明会

日 時 2016年7月11日 13:00～17:00

会 場 研究社英語センター地下2階大会議室

参加人数 74名

内 容

【あいさつ】

今 裕司さん（東京都高齢者福祉施設協議会 副会長・センター分科会長）

【講 演】「施設と地域のつながりを問い直す」

西岡 修さん（東京都高齢者福祉施設協議会 会長）

【基調講演】「高齢者福祉施設が地域にアウトリーチする意義を考える」

山崎 美貴子さん（東京ボランティア・市民活動センター 所長）

神奈川県立保健福祉大学 名誉教授、東京都 共助社会づくりを進めるための検討会委員

【事例報告】

事例1 「よりあい食堂かよう」

阿部 敏哉さん（武蔵野市桜堤ケアハウス）

事例2 「シニアささえあいの店」ステッカー

布施川 香保利さん（特別養護老人ホームアトリエ村）

事例3 「地域交流スペースここからカフェ」

平井 美香さん（社会福祉法人愛隣会 地域交流スペースここからカフェ）

【情報交換会】

【実施担当者向け事業説明】

キャンペーン開催前に、実施担当者向け説明を開催しました。各地域の施設・事業所の実施担当者が集まり、顔を合わせながら、それぞれの取り組みを共有しながら、課題や解決のための方法をともに話し合いました。

基調講演では、山崎美貴子さんをお招きし、なぜ高齢者福祉施設が地域に寄り添っていく必要があるのか、そのために必要なことを東京という地域性をふまえながら、お話しいただきました。また、事例として3人の方に地域で展開している取り組みについてその成り立ちからひも解いて地域につながる意味についてお話しいただきました。



山崎さんの基調講演の様子。高齢者福祉施設が地域に求められていることを丁寧にお話しいただきました。



平井さん（地域交流スペースここからカフェ）の事例報告の様子。施設の利用者や職員が地域の人たちとつながるための場についてお話いただきました。



情報交換会の様子。地域ごとに集まり、これから取り組む事業について背景や地域ニーズを共有しながら話し合いました。

ふりかえりの会



日 時 2016年12月21日 13:30～17:30

会 場 研究社英語センター地下2階大会議室

参加人数 43名

内 容

【あいさつ】

西岡 修さん（東京都高齢者福祉施設協議会 会長）

【実施報告】

事例1 「地域高齢者との食事会とミニコンサートの集い」

栗原 隆寛さん（伊奈平苑）

事例2 「東久留米市介護サービス事業者協議会 みんなで知ろう介護の日」

柴 和代さん（多摩の里けやき園）

事例3 「特養へ行こう！（交流会）」

山口 晃弘さん（特別養護老人ホーム千歳敬心苑）

【グループワーク】「取組みから見える地域の姿～輪を広げる意味って？～」

ファシリテーター

鈴木 博之さん（東京都高齢者福祉施設協議会 センター副分科会長）

【まとめ】

今 裕司さん（東京都高齢者福祉施設協議会 副会長・センター分科会長）

【事務局からのご案内】

キャンペーン終了後にふりかえりの会を開催し、実施担当者がグループワークを通じて取組みの感想や今後の展開に関する課題や解決策等を共有しました。また、実施報告では、今年度キャンペーンに参加した3つの取組みについて、地域の方とつながるための工夫からお話しいただきました。

当日はキャンペーンに参加できなかった施設・事業所からの参加もあり、来年度以降の参加に向けたヒントが得られたようです。

配布した事業レポートからは、地域の実情や課題、今後の活動の方向性について読み取れる部分もあり、このキャンペーンのもつ意義や可能性を改めて確認することができました。



西岡会長のあいさつ。長年続いている地域の小学校との交流活動についてお話しいただきました。

キャンペーンに参加した施設・事業所担当者の声より

- ・新しいことではなくても、たくさんの事業所が参加することが大切だと感じました。
- ・他施設の担当者と話し合うことで、一人で悩んでいたことへのアドバイスがもらえました。
- ・キャンペーンをととして、地域の中での法人相互の連携が深まる可能性を感じました。



山口さん（特別養護老人ホーム千歳敬心苑）の実施報告の様子。



グループワークの様子。実施した事業の取組み種別ごとに集まり、今後に向けた活動について話し合いました。

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実行委員会



開催内容（全5回）

第1回	2016年5月11日	募集要項検討、実施担当者向け説明会企画検討
第2回	2016年7月4日	応募状況確認、広報方法検討
第3回	2016年8月5日	応募状況確認、パンフレット・ロゴマーク等の検討
第4回	2016年11月10日	実施状況確認、ふりかえりの会検討、実施報告書検討
第5回	2017年1月31日	実施報告書、次年度実施計画について

キャンペーンの企画・実施にあたり、所属する施設・事業所の施設種別を越えた実行委員会を構成しました。それぞれ地域に寄り添う取組みの経験や身近な地域の状況を伝え合いながら、検討を重ね、実施担当者向け説明会やふりかえりの会の運営も行いました。委員会では、毎回、参加する地域住民の方の暮らしがより豊かに、そして実施する施設・事業所にとって地域に求められる存在となるよう、こうしたキャンペーンの意味を確認しながらすすめていきました。

※委員名簿はP176参照

実行委員からの声 ～キャンペーンをふりかえって～

各施設の取組みをすすめる中で地域のアセスメントをし、自分たちに何ができるかをしっかり見ていくことが大切だと思います。そして地域住民がメインであることをキャンペーンでは伝え続けていく必要もあります。

1年委員をやってようやくキャンペーンの意味合いがわかってきました。またキャンペーンへの参加を通じて地域のこととして法人が自施設の活動をあたためてきた意味がわかった貴重な機会となりました。今後委員でなくなってしまうとしても取組み団体の1つとして参加したいです。

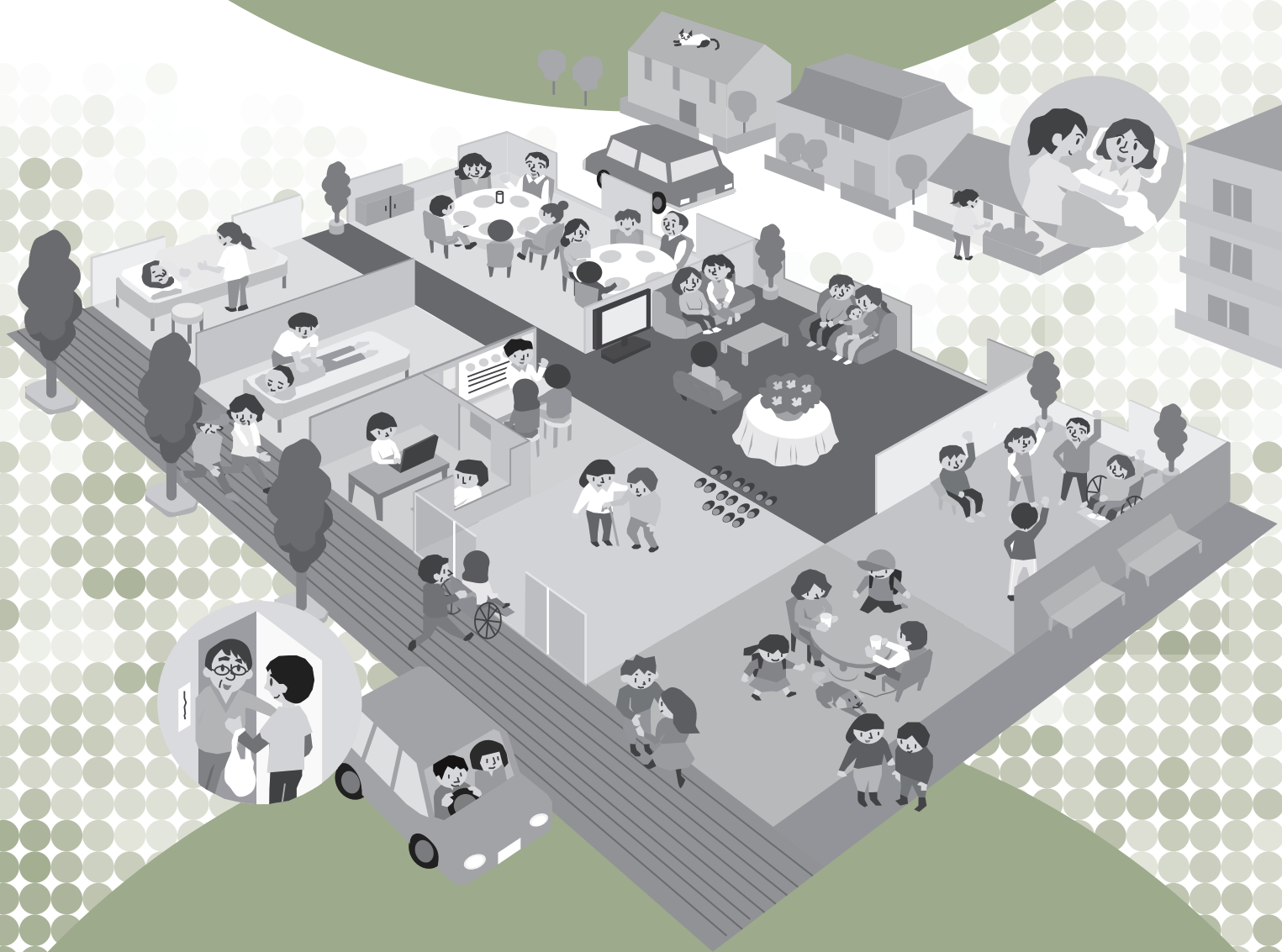
キャンペーンを通じて社会福祉の分野に合わせた地域包括ケアをすすめていきたいです。平成30年度の介護報酬改定に向けて委員会としても、解釈して伝え続けていくことが求められています。介護報酬改定の1年半後の時期に取組みをまとめ、横串をさすためにも社会の動向にポイントを踏まえて情報提供をした方がよいと思います。

次年度も何かの形でかわりたいです。特別養護老人ホームやデイサービスセンターは日常の業務が多く、外に出る機会が少ないので、こうした取組みにやりがいを感じることで介護職員の離職から遠ざけるきっかけになると思いました。今年度は法人で行っている学習サポートの活動で地域包括支援センターと母子の施設と一緒に取り組めたことで一歩すすみました。

キャンペーンに参加する人がその意味に気づけるような仕掛けづくりが必要だと思います。在宅と施設では高齢者福祉にかかわる職員の様子も違います。在宅はルーティーンワークがなく、その場でプランニングしたりすることもあります。施設は決められたサイクルの中で動いていることが多いです。課題をどう見つけていくかそれをどう解決していけるか、それにつながる研修プログラムがあるとよいと思います。

地域のための活動ですが、やってみると施設担当者に何らかの形でめぐりかえてくるのを知ってもらえるとよいと思います。また、制度としての動きの中で社会福祉法人の地域貢献や介護報酬改定をふまえてできることも意識していく必要もあります。

資料





東社協 東京都高齢者福祉施設協議会

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO

《高齢者福祉施設による地域への貢献活動の都内一斉キャンペーン》

参加施設・事業所の募集ご案内

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会では、高齢者福祉施設・事業所の地域への貢献活動の都内一斉キャンペーンとして「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」を実施します。

この事業をとおして、誰もが安心して暮らせるまちづくりをめざすとともに、従来から高齢者福祉施設や社会福祉法人が取り組んできた、地域での活動を広く市民にPRします。

会員施設・事業所の皆様には、積極的なご参加をいただくようお願いいたします。

またブロック会や区市町村施設長会の皆様には、会員施設への呼びかけをお願いします。

◎目的

地域でこぼれ落ちる人がいないよう、

誰もが安心して暮らせるまちを目指して、高齢者福祉施設・事業所が、

地域に寄り添うことで「ちいきの輪」をつくります。

高齢者とそのご家族をとりまくさまざまな課題が多様化・複雑化する中、社会福祉法人による高齢者福祉施設・事業所に対して、地域住民への寄り添い（アウトリーチ）への役割に大きな期待が高まっています。

高齢者福祉施設・事業所が中心となって、地域の課題や地域住民のニーズを把握し、地域に寄り添う「ちいきの輪」をひろげる第一歩として、ご参加いただくようお願いいたします。

私たち高齢者福祉施設には、さまざまな専門性で地域のニーズに応えられる機能があります。

今回のキャンペーンを契機に、地域の皆さんに私たちをより知っていただくと共に、地域のニーズや課題を捉えるチャンスとして活用してください。

東京都高齢者福祉施設協議会 会長
西岡 修（白十字ホーム 施設長）

高齢者福祉のなかで在宅サービスをになっている支援センターとデイサービスは、特に地域へのかかわりが重要となってきました。

このキャンペーンを通して、特養・養護・軽費等の高齢者福祉施設と共に、地域とのつながりを広げていきましょう。

東京都高齢者福祉施設協議会
副会長・センター分科会長
今 裕司（あすなろみんなの家 管理者）

◎参加申込について

都内の高齢者福祉施設・事業所が一つになって
地域住民と地域のために行うキャンペーンです。

- すでに多くの高齢者福祉施設・事業所では、地域の方々向けの活動を行っていますが、地域に根ざした活動であるため、社会福祉法人全体として広く市民全体に知っていただく機会は、かならずしも多くはありませんでした。
- 今回は、キャンペーンとしての特性を生かして、地域住民にとって身近な存在として的高齢者福祉施設・事業所として知っていただけるよう、会員の施設名や法人名も含め、市民全体に積極的なPRを行います。

これまでの取り組み、新たな取り組み、
それぞれの施設・事業所らしい地域向けの活動でご参加ください。

- 趣旨に賛同する会員は、それぞれの地域にあわせた施設・事業所らしい取り組みを行うことで、このキャンペーンにご参加いただけます。
- 従来より取り組んでいる事業であっても、このキャンペーンを契機に新たに取り組む事業でも、地域への寄り添いを趣旨とする事業であれば、ぜひご参加ください。
- 1施設で取り組む事業でも、他施設・事業所、他法人及び他業種の福祉施設・事業所と合同して取り組む事業でもご参加いただけます。
- 参加する事業は、おおむね10月から11月に行うものでご参加ください（前後の月の実施でもかまいません）。

<例>

地域の高齢者宅への 訪問活動	施設内を会場とした 食事会や交流会	介護予防教室や 認知症カフェの開催	福祉避難所設置訓練など 住民を対象にした訓練
介護者の会を招いた 市民向け学習会	高齢者福祉・介護を学ぶ 中高生向けの出張講座	福祉と介護を応援する ボランティアの養成講座	

活動報告をふりかえりながら、
福祉の視点による地域包括ケアの推進につなげます。

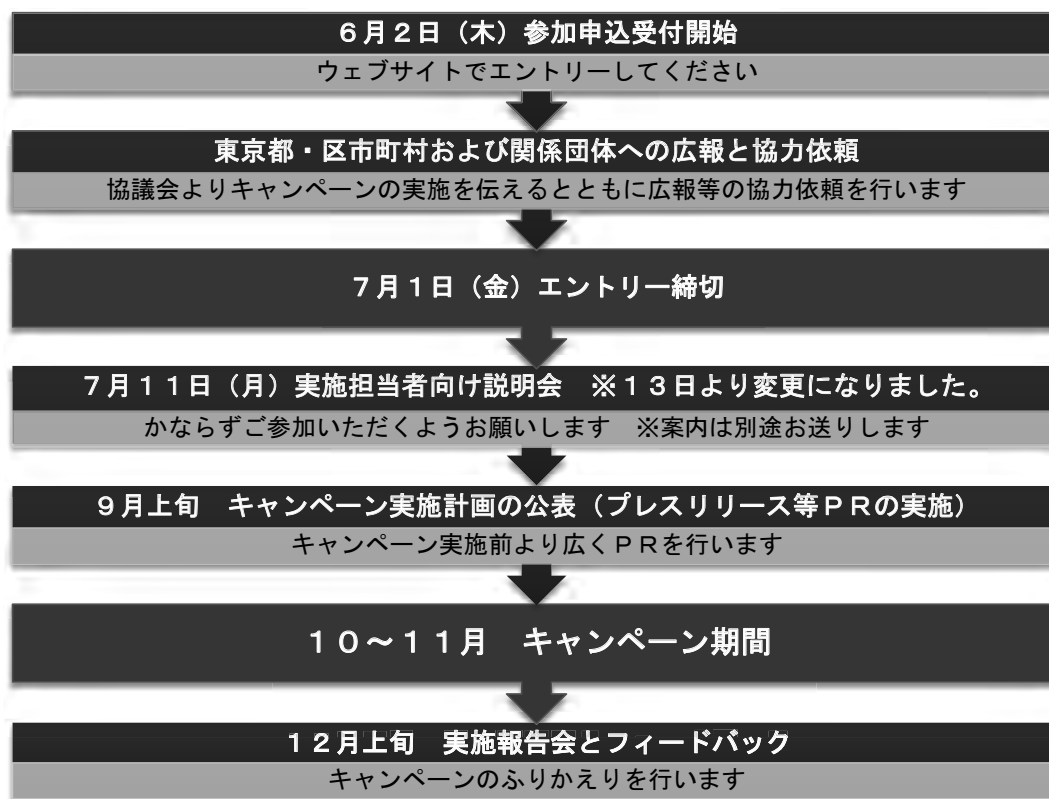
- キャンペーンのみに終わらないよう、各施設・事業所からの活動報告をふりかえりながら、福祉の視点による地域包括ケアの推進に向けた取り組みを行います。

都内の会員施設が一つになってPRする初の取り組みです
ぜひともキャンペーンにご参加ください。

- 今こそ高齢者福祉施設・事業所がその力を発揮するときです。
多くの施設・事業所よりご参加いただくことで、市民へのPRを行うことができます。
ぜひともキャンペーンにご参加ください。



◎キャンペーンの流れ



◎キャンペーンの実施についてのQ & A

ご質問	お答え
施設の人員体制が厳しくキャンペーンのために新しい事業を組み立てることがむずかしいです。従来から実施している事業でも参加できますか。	○従来から取り組んでいる活動も含めて広くPRするのがキャンペーンの目的です。このため、新たな事業を企画・変更いただく必要はございません。 ○キャンペーンを契機として、施設・事業所内で新たな事業を検討いただくことも一向にかまいません。
1日間、または半日間、または通年で実施している事業でも参加できますか。	○広く地域住民を対象とする事業であれば、実施時間や期間の制限は特にありません。
開催日時は施設側で決めてもよいのでしょうか。	○施設側のご予定に応じてお決めいただいてもかまいません。その際、近隣または地域内の施設と日程調整をいただくことをおすすめいたします。
キャンペーン期間（10～11月）に行わなければいけませんか。	○地域向けの活動を活発に行う時期である10～11月に設定することで、施設・事業所が参加しやすいよう企画しました。 ○同じ期間に一齐に行うことによる広報効果を企図しているため、できるだけこの期間での開催をお願いします。 ○なお広報の際には、高齢者福祉施設や社会福祉法人は、通年でさまざまな事業に取り組んでいることをあわせてPRします。
施設のある地域の在住者のみを対象とする事業でも参加できますか。	○ご参加いただけます。

事業やイベントの経費負担や、ブロック活動助成の活用についておしえてください。	○事業やイベントの実施にかかる経費は、会員施設・事業所によりご負担ください。 ○なお、複数の施設・法人での合同事業など区市町村単位・地域ブロック会単位で活動を行う場合には、地域ブロック会活動経費をご活用いただくこともできます。その場合には、各地域ブロック会長または事務局までご連絡ください。 ○キャンペーン全体の広報・PRにかかる経費（キャンペーン紹介パンフレット等）は、東京都高齢者福祉施設協議会が負担します。
キャンペーン全体のPRはどのように行うのでしょうか。	○キャンペーンを紹介するパンフレットを作成の上、施設名や法人名、所在地、参加する事業やイベントに関する情報をまとめて掲載します。また、東京都高齢者福祉施設協議会のウェブサイトに掲載する他、行政や団体、メディアにも発信します。
キャンペーンのロゴや名称はありますか。それをどのように使うのですか。	○チラシやウェブサイト、また職員名刺や広報誌などに記載することで、趣旨に賛同しながら都内の高齢者福祉施設が一丸となって行っている姿を伝えるようにご協力願います。 ○事業名称は、キャンペーンの趣旨にご理解をいただきながら、実施施設・事業所で任意に名称を設定いただいてもかまいません。 【掲載例】 つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 東京都高齢者福祉施設協議会 特別養護老人ホーム ○○苑 地域交流会・介護相談会 11月○○日（○）10時～15時 
キャンペーンで実施する事業で想定されるリスク対応は。	○実施する事業で想定される事故等のリスクへの対応は、各施設・事業所でご対応いただくようお願いいたします。
高齢者福祉施設や社会福祉法人を紹介する市民向けパンフレットを作成する予定はありますか。	○東京都高齢者福祉施設協議会で市民向けパンフレットを作成の上、キャンペーンにご参加いただける施設に希望部数をお届けします。イベント当日などに配布いただきながら、都内全体の取り組みとしてご紹介いただくようお願いいたします。
終了後の報告はどのように行うのでしょうか。	○当日の様子についてのレポートを、①報告書用、②ウェブサイトでの紹介用の2種類を作成の上、事務局までお送りください。その際、お集まりいただいた地域の方々の声、活動をとおして浮き彫りになった福祉課題などについてお伝えください。あわせて、③当日の写真をウェブサイトに掲載しますので、1～2枚程度お送りください。

◎参加申込書についてのQ & A

ご質問	お答え
社会福祉法人ではないが、キャンペーンに参加できますか。	○可能です。ぜひご参加ください。
会員以外の事業所との共同（区市町村の連絡会や高齢分野以外の施設等との連携を含む）での参加はできますか。	○可能です。ただし、エントリー時の代表施設・事業所名は会員事業所をお願いいたします。

◎お申し込み・お問合せ先

東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当（佐藤・井上・藤原）

TEL：03-3268-7172 FAX：03-3268-0635 メール：kourei@tcs.w.tvac.or.jp

つながれひろがれちいきの輪 in TOKYO 2016 実施状況

1 実施期間

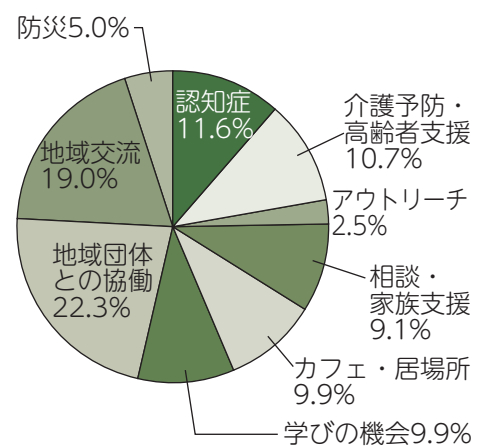
2016年10月1日～11月30日

2 参加状況概要

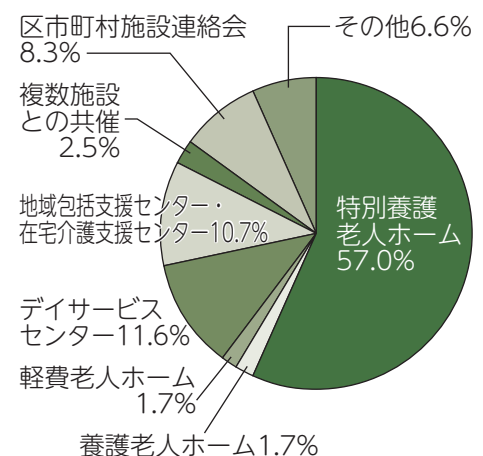
	数
実施事業数	121
実施団体数	979
参加者数	19179

3 実施事業内訳

取り組み種別		数（事業）	構成比
取り組み種別	認知症	14	11.6%
	介護予防・高齢者支援	13	10.7%
	アウトリーチ	3	2.5%
	相談・家族支援	11	9.1%
	カフェ・居場所	12	9.9%
	学びの機会	12	9.9%
	地域団体との協働	27	22.3%
	地域交流	23	19.0%
	防災	6	5.0%



施設・事業所種別		数（事業）	構成比
施設・事業所種別	特別養護老人ホーム	69	57.0%
	養護老人ホーム	2	1.7%
	軽費老人ホーム	2	1.7%
	デイサービスセンター	14	11.6%
	地域包括支援センター・在宅介護支援センター	13	10.7%
	複数施設との共催	3	2.5%
	区市町村施設連絡会	10	8.3%
	その他	8	6.6%



			数（事業）	構成比	会員事業 所数 ※	数（ブロッ ク内事業）	ブロック内会員 事業所数 ※
地域別	中央ブロック	島嶼部	0	0.0%	17	4	130
		千代田区	1	0.8%	10		
		中央区	1	0.8%	7		
		港区	1	0.8%	19		
		品川区	0	0.0%	29		
		渋谷区	1	0.8%	24		
		新宿区	0	0.0%	24		
	城北ブロック	文京区	3	2.5%	18	22	115
		北区	5	4.1%	32		
		豊島区	9	7.4%	29		
		板橋区	5	4.1%	36		
	城東ブロック	台東区	4	3.3%	23	9	133
		荒川区	0	0.0%	21		
		足立区	3	2.5%	51		
		葛飾区	2	1.7%	38		
	墨東ブロック	墨田区	2	1.7%	23	13	103
		江戸川区	10	8.3%	37		
		江東区	1	0.8%	43		
	城西ブロック	中野区	3	2.5%	17	10	107
		杉並区	3	2.5%	31		
		練馬区	4	3.3%	59		
	城南ブロック	大田区	0	0.0%	46	12	107
		目黒区	7	5.8%	15		
		世田谷区	5	4.1%	46		
	八王子ブロック	八王子市	3	2.5%	65	3	65
	南多摩ブロック	日野市	5	4.1%	14	10	90
		町田市	4	3.3%	50		
		多摩市	1	0.8%	18		
		稲城市	0	0.0%	8		
	北南ブロック	三鷹市	1	0.8%	14	16	145
		調布市	1	0.8%	22		
		府中市	2	1.7%	27		
		小金井市	0	0.0%	8		
		国分寺市	0	0.0%	8		
		国立市	1	0.8%	4		
		立川市	3	2.5%	19		
		昭島市	5	4.1%	13		
		狛江市	0	0.0%	8		
		東大和市	0	0.0%	12		
		武蔵村山市	3	2.5%	10		
	北北ブロック	武蔵野市	3	2.5%	22	13	111
		小平市	1	0.8%	16		
		東村山市	6	5.0%	23		
		西東京市	0	0.0%	28		
		東久留米市	3	2.5%	10		
		清瀬市	0	0.0%	12		
	青梅ブロック	瑞穂町	0	0.0%	8	1	49
		青梅市	1	0.8%	32		
		奥多摩町	0	0.0%	5		
		羽村市	0	0.0%	4		
	秋川ブロック	あきる野市	4	3.3%	22	8	45
		日の出町	2	1.7%	11		
		檜原村	1	0.8%	2		
		福生市	1	0.8%	10		

※会員事業所数、ブロック内会員事業所数は2017年4月現在

つながれひろがれちいきの輪 in TOKYO 2016 施設・事業所の合同実施状況

複数施設・事業所 共催

事業・イベント名	地域の中で自分らしく暮らしていくためには～最期の時まで 素敵な時間に！～（エンディングノートの書き方講座）				文京区	
主催者名	特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷・特別養護老人ホーム文京くすのきの郷	開催日程	11/20	10：00～12：00		
共催施設・事業所等	2団体					
	社会福祉法人信愛報恩会特別養護老人ホーム文京大塚みどりの郷、 社会福祉法人フロンティア特別養護老人ホーム文京くすのきの郷					
事業種別	学びの機会	参加述べ人数	69名	取組み詳細	P79	

事業・イベント名	災害時応援協定者 合同防災訓練			板橋区	
主催者名	ケアタウン成増・音羽台レジデンス・オーネスト成増	開催日程	11/24 10：30～12：00		
共催施設・事業所等	8団体				
	成増第一町会、特別養護老人ホーム（ケアタウン成増、音羽台レジデンス、オーネスト成増）、志村消防署成増出張所、高島平警察署 生活安全課、板橋区危機管理室地域防災支援課、板橋区医師会所属医師（多比良医院院長）				
事業種別	防災	参加述べ人数	53名	取組み詳細	P139

事業・イベント名	八王子介護フェア			八王子市		
主催者名	偕楽園ホーム・初音の杜・ファミリーマイホーム・多摩特養老人ホーム	開催日程	11/12			
共催施設・事業所等	14団体					
	八王子市、八王子ブロック施設長会、八王子市社会福祉協議会ボランティアセンター地域福祉推進拠点 石川、八王子市学園都市文化ふれあい財団、八王子市高齢者あんしん相談センター左入、特定医療法人社団愛有会 三愛病院、医療法人財団敬寿会 相武病院、医療法人社団東京愛成会 高月病院、社会福祉法人八王子心成会 登芙喜心成苑、東京純心女子中学高等学校					
事業種別	地域団体との協働	参加述べ人数	110名	取組み詳細	P105	

事業・イベント名	食 de つながれ ひろがれ！日の出町の輪				日の出町	
主催者名	特別養護老人ホームひのでホーム・藤香苑・栄光の杜	開催日程	11/5、11/6			
共催施設・事業所等	3団体 特別養護老人ホームひのでホーム、藤香苑、栄光の杜					
事業種別	地域交流	参加述べ人数	100名	取組み詳細	P138	

区市町村施設長会 主催

事業・イベント名	日々の体力づくりで、幸齢者に！			文京区	
主催者名	アクティブ介護28～文京みんなのつどい～実行委員会（協力：文京施設長・センター長会）	開催日程	11/1 10：00～16：00		
共催施設・事業所等	23団体				
	文京区社会福祉協議会、文京大塚みどりの郷、文京くすのきの郷、文京白山の郷、文京千駄木の郷、ゆしまの郷、文京大塚高齢者在宅サービスセンター、文京湯島高齢者在宅サービスセンター、文京くすのき高齢者在宅サービスセンター、文京向丘高齢者在宅サービスセンター、文京白山高齢者在宅サービスセンター、文京昭和高齢者在宅サービスセンター、文京本郷高齢者在宅サービスセンター、文京千駄木高齢者在宅サービスセンター、ケアワーク弥生、ユアハウス弥生、リハビリ道場、老松ケアサービス、トチギ介護サービス、小石川医師会居宅介護支援事業所、ローズケア、太平ヘルスケア、アドバンスサポートコスモス、小石川みやびの郷、アリア文京大塚、ミニケアホームきみさんち、パナソニックエイジフリー介護チェーン城北、社の癒しハウス・文京関口				
事業種別	相談・家族支援	参加述べ人数	376名	取組み詳細	P54

事業・イベント名	アクティブ介護28～文京みんなのつどい～ (区内事業者のパネル展示、実践・研究発表大会)			文京区	
主催者名	アクティブ介護28～文京みんなのつどい～実行委員会（協力：文京施設長・センター長会）	開催日程	12/13	10：00～16：00	
共催施設・事業所等	23団体 上記に同じ				
事業種別	地域団体との協働	参加述べ人数	735名	取組み詳細	P89

事業・イベント名	区内施設紹介・事例発表・相談会			北区	
主催者名	北区高齢者福祉施設長会	開催日程	11/13 10：00～16：00		
共催施設・事業所等	10団体				
	浮間さくら荘、上中里つつじ荘、清水坂あじさい荘、桐ヶ丘やまぶき荘、王子光照苑、みずべの苑、うきま幸朋苑、飛鳥晴山苑、新町光陽苑、ウエルガーデン西が丘園				
事業種別	相談・家族支援	参加述べ人数	253名	取組み詳細	P55

事業・イベント名	江戸川区民まつり			江戸川区	
主催者名	江戸川区（協力：江戸川区熟年者福祉施設連絡会）	開催日程	10/9		
共催施設・事業所等	400団体				
	江戸川区熟年者福祉施設連絡会会員施設・事業所等				
事業種別	地域団体との協働	参加述べ人数	—	取組み詳細	P96

事業・イベント名	江戸川区2016介護フェア			江戸川区	
主催者名	江戸川区介護フェア実行委員会（協力：江戸川区熟年者福祉施設連絡会）	開催日程	11/12 10：00～15：00		
共催施設・事業所等	－ 江戸川区熟年者福祉施設連絡会会員施設・事業所等				
事業種別	地域団体との協働	参加述べ人数	－	取組み詳細	P97

事業・イベント名	お年寄りの手作り作品展			東村山市	
主催者名	東村山市高齢者福祉施設連絡会	開催日程	10/14～10/16		
共催施設・事業所等	18団体				
	(特養) 白十字ホーム、ハトホーム、第二万寿園、東京都ナーシングホーム、はるびの郷、ひかり苑、青葉の杜 (養護) 万寿園、さくらコート青葉町 (軽費) サンホーム、第三万寿園 (デイ) 白十字八国苑、寿デイサービスセンター、はるびの郷、ハトホーム在宅サービスセンター、東大和市ふれあいデイサービスセンターひかり苑、本町ケアセンター、青葉の杜デイサービスセンター				
事業種別	地域交流	参加述べ人数	982名	取組み詳細	P131

事業・イベント名	東村山市内社会福祉法人施設・事業所の公開オープン				東村山市	
主催者名	東村山市内社会福祉法人連絡会	開催日程	白十字会 はるび	10/23 10/29	9:00～/13:00～ 13:30～	
共催施設・事業所等	10団体 東村山市内社会福祉法人連絡会会員施設・事業所					
事業種別	地域交流	参加述べ人数	28名	取組み 詳細	P132	

事業・イベント名	東村山市内社会福祉法人連絡会紹介パネル展				東村山市	
主催者名	東村山市内社会福祉法人連絡会	開催日程	10/26 9：00～11/1 12：00～			
共催施設・事業所等	22団体					
	東村山市内社会福祉法人連絡会会員施設・事業所					
事業種別	地域交流	参加述べ人数	336名	取組み詳細	P133	

事業・イベント名	市民向けイベント「第36回コロニー祭」[社会福祉法人敬愛会 オペラ演奏]				東村山市	
主催者名	東村山市内社会福祉法人連絡会	開催日程	コロニー 9/10 10:00~16:00 敬愛会 11/3 14:00~			
共催施設・事業所等	9団体					
	東村山市内社会福祉法人連絡会会員施設・事業所					
事業種別	地域団体との協働	参加述べ人数	300名	取組み詳細	P113	

事業・イベント名	介護の日啓発イベント 「考えてみよう家族の介護、考えてみよう親の介護」				東久留米市	
主催者名	東久留米市介護サービス事業者協議会		開催日程	11/11		
共催施設・事業所等	12団体					
	老人施設福祉施設、老人保健施設、訪問看護、訪問介護、訪問入浴、有料老人ホーム、配食サービス、福祉用具事業所、グループホーム、居宅支援事業所、通所介護、社会福祉協議会					
事業種別	地域団体との協働		参加述べ人数	145名	取組み詳細	P114

広報ツール紹介

1 Facebook

キャンペーン期間中、東京都高齢者福祉施設協議会のFacebookページに参加施設の各地域の取り組み状況について写真とともに随時掲載しました。



2 つなひろ通信

キャンペーンの進捗状況を都内の高齢者施設や都民の方に定期的に伝えるものとして発行しました。今年度は、東京都高齢者福祉施設協議会の介護の仕事を応援・PRする本協議会若手職員ユニット「東京ケアリーダーズ」とコラボして、キャンペーン参加施設の取り組みを紹介していただきました。

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 1

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 (企画実施担当・センター分科会)



○このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 参加申込スタート!

《高齢者福祉施設による地域への貢献活動の都内一斉キャンペーン》

高齢者施設や社会福祉法人による「地域によりそう」活動を、東京都高齢者福祉施設協議会の会員が協力しながら取り組むキャンペーン「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」。

誰もが安心して暮らせるまちを目指し、地域でこぼれ落ちる人がいないように地域へのアウトリーチをそれぞれの事業を通して行います。

「福祉施設の役割を地域の身近な暮らしへと広げたい」「地域への活動をもっと住民等に知ってもらいたい」といった思いを、会員を中心に地域の施設・団体がともに実践します。みなさまのご参加をお待ちしています。

■キャンペーン期間 平成28年10月～11月

■応募期間 平成28年6月2日～7月1日

Pick UP ちいきの輪

申込のあった事業の一部をご紹介します!

- ◎地域の高齢者宅への訪問活動(葛飾区)
- ◎団地の自治会と連携したコミュニティ食堂のオープン(武蔵野市)
- ◎近隣の法人・施設と連携した介護フェアの開催(八王子市)
- ◎高齢や障害の有無を問わず地域の方を対象にした芋煮会・野草の天ぷら会の開催(世田谷区)
- ◎福祉用具の理解を深めるイベント(中野区)
- ◎福祉避難所設置開設訓練(江戸川区)
- ◎市内社会福祉法人連絡会でのイベント開催(東村山市) ※カッコ内は申込施設の所在地です。

▼キャンペーンの詳細・ご応募はこちらから

<http://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

東京 高齢協議会 で検索!

※会員向けメールでもご案内しております。

Q & A ~よせられた質問より~

Q 10月～11月に行う活動のみが対象ですか?

A 広報の効果を企図して、期間を定めたキャンペーンとして行います。
一方、高齢者福祉施設や社会福祉法人は通年でさまざまな地域向けの活動を行っており、こうしたPRもキャンペーンの中で行う予定です。

Q 自治体の受託事業も対象に含まれますか?

A この事業の趣旨である「地域によりそう」活動であればお申し込みいただけます。
受託事業の目的や条件がこのキャンペーンに

合致するか、事前に区市町村の担当部署に確認することをおすすめします。

Q キャンペーンのPR先は?

A 東京にある多くの高齢者福祉施設が地域に向けた活動を行っていることをPRすることもこの事業の目的です。
お申し込みいただいた施設名や法人名を、自治体や関係機関、大学や養成校、マスメディアなどに一般市民に対して積極的なPRを行います。

送
信
元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当
TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcs.w.tvac.or.jp



○本年度は100施設・事業所以上のご参加をいただけるようご案内しております。皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします!

2016 年 7 月 26 日号 (送信枚数 : 全 2 枚)

つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 2

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 (企画実施担当・センター分科会)

○このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム (ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

これまでの申込状況—「食事会・交流会」「介護予防教室・認知症カフェ」が多数

今年度よりはじまる、地域によりそう活動取り組むキャンペーン「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」には、98施設・事業所よりお申し込みをいただいております。

現在の申込状況は右の通りです。

事業・イベントの種別について、「食事会や交流会」「介護予防教室や認知症カフェの開催」「市民向け講座・学習会」などのお申し込みが目立ちます。

また連携の予定について、他施設・法人や団体との協働企画と単独実施が概ね半半ずつの割合です。

今回、参加お申し込みをいただいた施設・事業所の中には、従来から行っている事業により、キャンペーンへのエントリーを行う場合も多くあります。

このように、キャンペーンには10～11月に実施を予定している事業でのお申し込みもいただけます。追加でのエントリーをご希望の場合、お気軽に事務局までお問い合わせください。

▼キャンペーンの詳細・ご応募はこちらから

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

※会員向けメールでもご案内しております。

東京 高齢協議会 で検索!

※該当ページは、新着情報 (6月2日付)

「つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO」からご覧いただけます。

●事業・イベント種別について (複数回答)

n=98

事業・イベント種別	申込数	構成比
地域の高齢者宅への訪問活動	4	4.1%
食事会や交流会	33	33.7%
介護予防教室や認知症カフェの開催	26	26.5%
災害時訓練	9	9.2%
市民向け講座・学習会	21	21.4%
中高生 (学生) 向けの講座	3	3.1%
ボランティアの養成講座	5	5.1%
その他	43	43.9%

●連携の予定について (複数回答)

n=98

連携の予定	申込数	構成比
他の会員施設・法人と協働して実施する予定	24	24.5%
他の団体と協働して実施する予定	26	26.5%
単独で実施する予定	57	58.2%

情報掲載シートの提出のお願い (エントリー済み施設・事業所向け)

つながれひろがれちいきの輪エントリー済みの施設・事業所を対象に別添の「情報掲載シート」提出をお願いします (可能な限り上記HPからご入力ください)。記載いただいた情報は、今後作成予定のパンフレット及び高齢協HPに掲載を予定しております。開催内容を改めて実施関係団体とのご確認の上、ご提出ください。7月11日開催の実施担当者説明会では、締切を7月28日とお知らせしましたが、シート提出のご案内が遅れ、締切日を変更しましたこと深くお詫び申し上げます。

■提出期間 平成28年7月26日 (火) ~8月10日 (水)

送
信
元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail : kourei@tcsw.tvac.or.jp



○本年度は100施設・事業所以上のご参加をいただけるようご案内しております。皆様のご参加とご協力をよろしくお願いいたします!

つなぐれ ひろぐれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 3

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会(企画実施担当・センター分科会)

○このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

10月1日キャンペーン開始!一ホームページに開催情報掲載中

地域によりそう活動に取り組むキャンペーン「つなぐれ ひろぐれ ちいきの輪 in TOKYO」は、119事業、317団体の事業所・関係団体とともに10月1日よりキャンペーンがスタートします。今回はそうした取組みの中で近日開催予定の活動をいくつか紹介します。

下記サイトでも、キャンペーンに参加団体の取組みを詳しくご覧いただくことができます。なお、エントリー団体につきましては掲載情報の確認ください。変更の際にはご連絡ください。

活動のヒントとして見学等のご相談も承っておりますので送信元までお問い合わせください。

Pick UP ちいきの輪

ちいきの輪の取組の一部をご紹介します!

砧ホーム(世田谷区)

地域交流ふれあい施設見学会

10/2(日) 11:00~11:30、13:30~14:00

くにたち苑(国立市)

くにたち苑バザー 10/2(日) 11:00~14:00

社会福祉法人 芙蓉会(町田市)

フラダンス・音楽会 10/4(火) 10:00~12:00

マザアス日野(日野市)

あったカフェ 10/5(水) 10:00~16:00

特別養護老人ホーム 友愛荘(町田市)

ゆうあい広場 10/5(水) 14:30~16:30

▼キャンペーンの詳細はこちらから

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

※会員向けメールでもご案内しております。

東京 高齢協議会 で検索!

※広報関係データは、「お知らせ」からダウンロードできます。

広報グッズ一式の配布について(エントリー済み施設・事業所向け)

つなぐれひろぐれちいきの輪にエントリー済みの施設・事業所を対象として下記の広報に必要なデータ、グッズ等を用意しております。是非とも各地域から「ちいきの輪」をひろげるために周知にご協力くださいますようよろしくお願いします。

上記サイトよりダウンロード可

ロゴマーク

イベントのちらし等の資料や看板に。PNG形式のデータです。

チラシフォーマット

パンフレットに挟み込んで使用できます。必要に応じてご利用ください。

キャンペーン参加団体送付中

パンフレット

キャンペーン概要と参加団体を掲載。地域住民・関係団体等への周知に。

アクティブぬいぐるみとのぼり

イベント会場や各施設・事業所の窓口に。のぼりの白地には油性ペンで事業所名等文字がかけます。手早く書くのにじみが少なくなります。



アクティブぬいぐるみとのぼり

送信元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcsw.tvac.or.jp



○おかげさまで本年度は100施設・事業所以上のお申込みとなりました。通信を通じて各地域の取組みをお伝えしたいと思います!

2016年10月21日号（送信枚数：全1枚）

つなぐれ ひろぐれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 4

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会（企画実施担当・センター分科会）

○このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム（ケアハウスを含む）、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

キャンペーン開催中！—各地域での取り組み状況を紹介

ゆうあい広場「高齢者のための食事」

～講習会と実演調理（町田市）

特別養護老人ホーム 友愛荘

10月5日（水）開催

地域住民が気兼ねなく立ち寄れる開かれた施設作りと利用者が地域と交流する機会を増やします。

- ・「高齢者のための食事」をテーマに管理栄養士による栄養に関する講習と調理師による実演調理を行いました。
- ・近隣の障害者施設で栽培したシイタケをお持ち帰りいただき、「さっそく作ってみます。」という声もいただきました。
- ・これからも地域が楽しく・気兼ねなく集まり、困りごとを気軽に相談できる場所を目指します。

近くの地域の
取り組みも
見てみてください！



第5回 あそか園地域交流まつり（江東区）

特別養護老人ホーム あそか園

9月22日（木）開催

地域の交流の場として様々なイベントを開催、施設を身近に感じてもらいます。

- ・バザーや模擬店、ゲームコーナー、高齢者疑似体験を実施。バザーの時間帯には多くの方々が来場されました。
- ・江東区は転入者による人口増加の傾向にあり、特に75歳以上の後期高齢者は、平成29年まで増加すると推計されています。社会福祉法人として専門性を地域へ還元し、施設と地域住民の方が暮らしやすい街づくりに尽力していく必要があると考えました。

・将来的にはサロンとして地域住民に開放する等、地域福祉の核となる事を目指します。

▼キャンペーンの詳細はこちらから

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

※会員向けメールでもご案内しております。

東京 高齢協議会 で検索！

※広報関係データは、「お知らせ」からダウンロードできます。

シルバー新報に掲載されました

2016年10月14日発行のシルバー新報の4面に「つなぐれ ひろぐれ ちいきの輪」に関する取材記事が掲載されました。

今 実行委員長の実施の背景と取り組み状況について掲載されております。

キャンペーン事務局では引き続き、メディア等の情報発信を通じて広く都民や関係団体に伝えます。

12/21 実施報告会 開催します

日時 12月21日（水）13:30～16:30

会場 研究社英語センター地下2階大会議室

内容 参加施設事業所の実施報告

フィードバック等

※13～17時の間で時間変更する場合がございます。

※キャンペーンに未申込の施設・事業所もご参加いただけます。

※詳細は別途お知らせします。



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcsw.tvac.or.jp



○「エントリー済み施設・事業所へ」つなひろキャンペーンパンフのぼりの在庫あります。追加配布可能ですので、希望者は送信元までご一報ください。

つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 5

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会(企画実施担当・センター分科会)



◎このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス わたしの街のちいきの輪～東京ケアリーダーズ照喜名さんがゆく～

今年9月に結成した介護の仕事を応援・PRする本協議会の若手介護職員ユニット「東京ケアリーダーズ」。そのメンバーより照喜名竜彦さん(新町光陽苑)よりレポートいただきました。



「第4回新町光陽苑秋祭り」模擬店の様子。
照喜名さん(左端)と販売スタッフのみなさんが笑顔でお出迎え。

こんにちは。新町光陽苑の照喜名です。

10月30日の「第4回新町光陽苑秋祭り」では、利用者さん、ご家族、地域の皆様への日頃の感謝の気持ちを込めて、音楽演奏、認知症カフェ、模擬店、作品展示等が行われました。

今回は模擬店の一コマからお送りします。

たこ焼き、フランクフルト、ナポリタン、どら焼きと珍しいメニューもありますが、その中でも注目したいのが災害時の備蓄食「缶パン」。災害時、調理もいらない、すぐ食べられるおいしい缶パンは優れもの！売り上げは全て、募金とあわせて、熊本地震の被災地への義援金にしました。

「買う」「食べる」ということを通じて防災意識を高めるきっかけづくり、そして被災地のご支援となればと思っています。

▼キャンペーンの詳細はこちらから

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

※会員向けメールでもご案内しております。

東京 高齢協議会 で検索！

※広報関係データは、「お知らせ」からダウンロードできます。

キャンペーン開催中！—各地域での取り組み状況を紹介

近くの地域の取り組みも見てみてください！

地域の高齢者を招いての食事会とミニコンサート(武蔵村山市)

特別養護老人ホーム 伊奈平苑

10月22日(土)開催

施設近隣にお住まいの高齢者を招待した食事会やコンサートを通じて、地域のニーズや課題を探ります。

・食事会は15名が参加。食後に併設の包括と連携して、介護予防等のミニ講座も開催しました。

・ミニコンサートではプロの音楽家による高齢者の馴染みのある懐メロを演奏。地域の高齢者と特養の利用者さんが一緒に歌を口ずさむ場面も多くあり、会場は大変盛り上がりしました。



そよかぜカフェ・ひまわり(豊島区)

特別養護老人ホーム 風かおる里

毎月第1・第3月曜日開催

認知症の方や家族が安心した生活に関する支援や、独居生活の方に食事の提供を行い、地域とのつながりを継続できるよう支えます。

・食事を召し上がった方から「美味しい」、「いつもはこんなに食べないのに…」、また、家族や職員から「この柔らかさはどうすれば作れるのですか？」等質問もあり、毎回会話がはずんでいます。

・施設としての専門職を活用し、「医療・食事・機能訓練等」の情報発信や地域との共有を計り「生活の場」を提供していきたいです。

お知らせ

送信元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcsw.tvac.or.jp

実施報告会の開催

12月21日(水)

13:30~16:30

研究社英語センター

地下2階大会議室

※詳細は別途通知します

2016年11月16日号(送信枚数:全1枚)

つなぐれ ひろぐれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 6

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会(企画実施担当・センター分科会)

○このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス わたしの街のちいきの輪～東京ケアリーダーズ中村さんがゆく～

今年9月に結成した介護の仕事を応援・PRする本協議会の若手介護職員ユニット「東京ケアリーダーズ」。今回は、中村綾里さん(ひのでホーム)よりレポートいただきました。



「食deつなぐれひろぐれ日の出町の輪」の出店の様子。
本場ベトナムの味揚げたて春巻き！
ベトナムからきた藤香苑の職員さんと☆

こんにちは！ひのでホームの中村綾里です！
11月5日、6日に開催された「第28回日の出町産業まつり」では、藤香苑・栄光の杜・ひのでホームが共同で「食deつなぐれひろぐれ日の出町の輪」を出店しました。

中でも藤香苑のEPAでベトナムから来た方が作る本場の春巻きは絶品！あっという間に売り切れました。負けじとひのでホームも焼き立てクロワッサンを終了1時間前に1000個完売！栄光の杜のもちもちタピオカミルクティーも大盛況。歩いている人の手にはタピオカ、タピオカ、タピオカ…！！

また、来て下さった方に「日の出町への応援メッセージ」を書いていただき、物販やメッセージの取組みを通じて「これおいしいね」「こういうサービスがあると良いな」と、地域の方とお話が出来ました。これからも地域でつながり、元氣と笑顔のあるいきいきとした日の出町と一緒に作っていきいたいと思います。

東京ケアリーダーズがゆく！レポートの詳細はfacebookでチェック！

▼キャンペーンの詳細はこちらから
<http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>
※会員向けメールでもご案内しております。

東京 高齢協議会 で検索！
※広報関係データは、「お知らせ」からダウンロードできます。

キャンペーン開催中！—各地域での取り組み状況を紹介

お年寄りの手作り作品展(東村山市)

東村山市高齢者福祉施設連絡会
10月14日(金)～16日(日)開催

施設と地域の高齢者の手作り作品展を通じて、市民に高齢者福祉施設の活動を知るきっかけをつくれます。

- ・2年ぶりの開催となったが、3日間の来場者数は昨年度より増加し、982名。
- ・作品のみならず、住民が抱えている「ちょっとした暮らしの質問」を受けることができますが、相談コーナーがあると関係機関に繋げられる可能性があると感じました

街づくり懇談会(台東区)

あさくさ地域包括支援センター
10月22日(土)開催

地域住民や関係機関とともに地域の実情や共通の課題を知り、地域の高齢者福祉の推進をめざすネットワークづくりを図ります。

- ・当日は、身体障害者施設の施設長から「生まれ育った地域で暮らし続けたい～重い障害を持つ方々のくらしの場」をテーマにお話しいただいた。なごやかな雰囲気の中、一緒に歌ったり、活発な意見交換や懇談が行われました。

- ・区内では高齢者や知的障害者のグループホームが不足し、地域で住み続けることが難しくなっていることもあり、今後も継続していきたいと考えています。



近くの地域の取り組みも見てみてください！

実施報告会の開催

12月21日(水)
13:30～16:30
研究社英語センター
地下2階大会議室
※詳細は別途通知します

送
信
元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当
TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcsw.tvac.or.jp



○12 / 21 実施報告会では、事業レポートをもとに実施担当者向けふりかえりワーク等を予定。和やかな雰囲気のもとで施設どうしの「輪」もひろげていきます。

つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 7

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会 (企画実施担当・センター分科会)

◎このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム (ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

わたしの街のちいきの輪～東京ケアリーダーズ岩崎さんがゆく～

今年 9 月に結成した介護の仕事者を応援・PR する本協議会の若手介護職員ユニット「東京ケアリーダーズ」。
今回は、岩崎克己さん (シャローム東久留米) よりレポートいただきました。



特別養護老人ホームシャローム東久留米での「シャローム祭」の様子。スタートを飾るのは、なんくるエイサーの演舞。

こんにちは。シャローム東久留米の岩崎です。11 月 6 日にシャローム祭が行われ、今年度も多くの方の来場者で賑わいました。

毎年恒例の開会宣言は 105 歳のご利用者から。

「お集まりの皆様、今日の良き日をお楽しみください！」お客さんも職員も大盛り上がりでした。催し物や出店では多くのボランティアの方に参加していただき、喫茶店では近隣の小学生がウェイトレスとして元気に接客をしてくれました。地域のたくさんの方に支えられているお祭りだということを感じます。

印象的だったのは、ポスターを見て楽しみにして来ていただいたという近隣の方や、いつもとは違う雰囲気の中でご家族と一緒にゆっくりと過ごされているご利用者の姿でした。今後とも、施設が一体となって感謝の気持ちを伝えながら、地域でのご縁を大切にしていきたいと思っています。



▼キャンペーンの詳細はこちらから

<http://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

※会員向けメールでもご案内しております。

東京 高齢協議会 で検索!

※広報関係データは、「お知らせ」からダウンロードできます。

キャンペーン開催中! —各地域での取り組み状況を紹介

もみじ祭り (八王子市)

浅川ホーム・清明園

11 月 10 日 (木) 開催

ご家族や地域の皆様をご招待し、ボランティアの方による催し物を通し、交流を深めます。

- ・屋外でのお茶会は、仙台から取り寄せた和菓子と、お抹茶を美味しく頂き、日頃なかなか機会がないと、ご来園者の方々に大変好評でした。
- ・地域の方が抱えている、老人ホームの暗いイメージを変え、「自分もいずれ入所したい」と思って頂けるよう、色々な催し物を実施していきたいと考えました。

地域の中で自分らしく暮らしていくためには

～最期の時までステキな時間に～ (文京区)

文京大塚みどりの郷・文京くすのきの郷

11 月 20 日 (日) 開催

人生の集大成を素晴らしいものにするため、エンディングノートの書き方講座を中心に生前の意思確認の大切さを知る機会とします。

- ・エンディングノートに関する講演後、実際に自宅・施設で看取った家族を 4 名よりシンポジウム形式で、実体験を話してもらいました。
- ・終了後は、「とてもためになった」「実際の体験談を聞くと涙が出そうになった」などの感想が寄せられた。

・慣れ親しんだ場所で最期まで生活し続けられるよう、福祉・医療関係者、地域住民が協力し、インフォーマルなサービスを増やす必要があると感じました。

近くの地域の取り組みも見てみてください!

送
信
元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL: 03-3268-7172 / FAX: 03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcs.w.tvac.or.jp



実施報告会の開催

12 月 21 日 (水)

13:30～16:30

研究社英語センター

地下 2 階大会議室

※詳細は HP に掲載

お知らせ

○「エントリー済み施設・事業所へ」
12 / 9 事業レポート提出しめくり。ふりかえりの会のワークや実施報告書でまとめていきます。写真添付も忘れなく!

2016年12月14日号(送信枚数:全1枚)

つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 8

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会(企画実施担当・センター分科会)

○このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス わたしの街のちいきの輪〜東京ケアリーダーズ田名部さんがゆく〜

今年9月に結成した介護の仕事を応援・PRする本協議会の若手介護職員ユニット「東京ケアリーダーズ」。今回は、田名部彩香さん(偕楽園ホーム)よりレポートいただきました。



記念講演の様子。八王子市の高齢者福祉の状況としくみについて、市の高齢者いきいき課の課長がわかりやすくお話ししていました。

こんにちは! 偕楽園ホームの田名部彩香です。11月12日(土)に、加住市民センターで八王子介護フェアを開催しました。偕楽園ホーム・初音の杜、ファミリーマイホーム、多摩特養老人ホームの3施設が協働のもと、高齢者の暮らしに関する記念講演や企業による介護体験コーナーなど、介護を身近に感じていただきました。

当日は、学生も含むボランティアの参加、さらに地元出身の人気演歌歌手である植松しのぶさんのミニコンサートとたくさんの地域の方の協力があり、来場者とともに楽しむことができました。

今後もこうしたイベント等を通じて地域の多様な声をいただきながら、地域の中で介護を支えていきたい気持ちを、もっと知っていただけるようにPRしていきたいと思います。



▼キャンペーンの詳細はこちら

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/bukai/kourei/>

※会員向けメールでもご案内しております。

東京 高齢協議会 で検索!

※広報関係データは、「お知らせ」からダウンロードできます。

各地域での取り組み状況を紹介—キャンペーン期間終了!

介護食ってどんなもの

〜高齢者向けの食事を食べてみよう〜(三鷹市)

特別養護老人ホーム恵比寿苑

11月20日(日)開催

地域の方々に、介護食を知って頂く機会を作ります。

- ・町内会の方の参加が多く、栄養士から介護食や高齢者の嚥下などの講演をし、施設の食事を見たり、味見したりしながら質問を受けました。
- ・参加者から、「もっと多くの人に参加してもらいたかった」「昔に、母を介護していた時より、色々変わってきているので驚いた」などの声がありました。今後も介護などの知識を伝えていきたいです。



地域との相互防災訓練(江戸川区)

江戸川光照苑

11月27日(日)開催

地域との協定に基づいた防災訓練から共助の関係を強化します。

- ・「防災セミナー」では、阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、広島での土砂崩れの事例を紹介。命を失わないための日ごろからの備えや危機意識を常に持つことの重要性を説明され、参加者全員が改めて防災意識を高められたと思います。
- ・各自治会より高齢者の参加が多く、地域の若年層の方々にも災害についての意識を高めることが必要と思われました。

- ・地域防災会議の内容を充実させ、より強固なネットワークづくりをしていきたいです。

年度末に報告書にまとめます

お知らせ

実施報告会の開催

12月21日(水)
13:30~16:30
研究社英語センター
地下2階大会議室
※詳細はHPに掲載

送
信
元

社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcsw.tvac.or.jp



○「エンタリー済み施設・事業所へ」
12 / 21
ふりかえりの会
参加者募集中!
今年の自分たちやキャンペーン全体を報告やワークからふりかえり、次に活かします。

つなぐれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO ニュース

つなびる通信 vol. 9

東社協 東京都高齢者福祉施設協議会(企画実施担当・センター分科会)

◎このニュースは、東社協 東京都高齢者福祉施設協議会の会員施設・事業所である養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、軽費老人ホーム(ケアハウスを含む)、デイサービスセンター、地域包括支援センター、在宅介護支援センターにお送りしています。

トピックス

ふりかえりの会実施～みんなで見つけたよりそいのヒント～



山口さん(千歳敬心苑)の実施報告の様子。

12月21日に「つなぐれひろがれちいきの輪 in TOKYO ふりかえりの会」を実施し、キャンペーン参加施設を中心に43名が参加しました。

＜開催内容＞

西岡会長あいさつ

(施設と小学校の交流活動の話)

実施報告

- ①「地域高齢者との食事会とミニコンサートの集い」栗原 隆寛さん(伊奈平苑)
- ②「みんなで知ろう介護の日」柴 和代さん(多摩の里けやき園)
- ③「特養へ行こう！」山口 晃弘さん(千歳敬心苑)

グループワーク

- ①「各施設で今後すすみたいこと」
- ②「キャンペーンについて気づいた点」

まとめ

西岡会長のあいさつでは、白十字ホームと地域の小学校との授業を通じた交流活動の話で「地域の方たちが主役になるような支えになることが大切」といった言葉がありました。活動が四半世紀も続いてきたのはPTAをはじめとする地域の方が必要だと感じたことに手を添えることにあると思えました。

実施報告では3名の方からお話しいただきました。中でも、千歳敬心苑では、民生委員の協力のもと、認知症介護にかかわる家族などを招き、特養への見学や車いす体験を実施しました。地域で関心がありそうな方に向けて知る機会をつくることで特養のイメージが変わることを実感し、今後も定期的に続けたいと語っていました。

グループワークでは①「各施設で今後すすみたいこと」②「キャンペーンについて気づいた点」を話し合いました。①について、「地域住民との日常的な関わりづくり」「施設内で活動の浸透さ」「無理なく継続できる仕組み」「活動の軸となる人の育成」など、②について、「キャンペーンの周知不足」「参加施設同士の見学会の開催」「障害・保育・母子など他分野の施設との共催」などの意見があがりました。他施設とつながることのできる普段からの行っている仕組みや地域住民とのかわりに生かせるヒントになったかと思います。

事務局では、今回の様子を踏まえながら、今年度の都内の取り組みをまとめ報告書の作成、そして次年度のキャンペーンにむけて準備していく予定です。



社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 福祉部 高齢担当

TEL:03-3268-7172 / FAX:03-3268-0635 / E-mail: kourei@tcs.w.tvac.or.jp



○「会員の皆様へ」次年度も「つなぐれひろがれちいきの輪」実施予定。地域の中の施設として住民へ寄り添う力を高めるチャンス！春ごろに募集の詳細をお知らせします。



広報グッズ紹介

1 ロゴマーク

各施設がキャンペーンの一環として都内全域で取組んでいることをPRするためのロゴマークです。東京の街並みや暮らす人を1つの輪にすることで「ちいきの輪」を表しています。パンフレット、名刺、ホームページなど様々な用途に活用いただきました。



2 パンフレット

キャンペーンの趣旨や今年度の参加施設の取組みを1枚のパンフレットにまとめました。

表紙のイラストには、「誰もが気軽に立ち寄れる場」「地域に寄り添う場」「様々な高齢者福祉施設の活動の姿」イメージが込められています。高齢者福祉施設の取組みについて知っていただく機会に都内の関係団体や参加施設の関わりのある住民に向けて配布を行いました。



3 のぼり

各施設の取組みの会場に置いてキャンペーンのPRをするグッズ。高齢者施設や社会福祉法人が暮らしの困りごとを気軽に相談できるところであることも伝えています。

4 アクティブルぬいぐるみ

東京都高齢者福祉施設協議会のマスコットキャラクターのぬいぐるみ。のぼりと一緒に各施設の取組み会場に置いてキャンペーンのPRに活用いただきました。



のぼりとアクティブルぬいぐるみ

東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会
つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 実行委員会 名簿

任期 2016年4月1日～2017年3月31日

No.	選出区分	所属	氏名
1	特養分科会・常任委員会	白十字ホーム	西岡 修
2	特養分科会	文京大塚みどりの郷	奈良 高志
3	養護分科会	養護老人ホーム偕生園	樋熊 さとみ
4	軽費分科会・専門委員会	武蔵野市桜堤ケアハウス	阿部 敏哉
5	デイサービス分会	あすなろみんなの家	今 裕司
6	支援センター分会	東村山市北部地域包括支援センター	鈴木 博之
7	支援センター分会	小平市地域包括支援センター小川ホーム	小林 美穂
8	支援センター分会	赤羽高齢者あんしんセンター	大森 てい子
9	支援センター分会	府中市地域包括支援センターあさひ苑	清野 哲男
10	支援センター分会	武蔵野赤十字在宅介護支援センター・地域包括支援センター	岸 千代

※所属は2017年3月時点

東京の高齢者福祉施設による、地域によりそうキャンペーン
つながれ ひろがれ ちいきの輪 in TOKYO 2016 報告書

2017年10月発行

編集 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会

発行者 東京都社会福祉協議会

〒162-8953 東京都新宿区神楽河岸1-1

TEL 03-3268-7172 FAX 03-3268-0635

<http://www.tcsw.tvac.or.jp/>

URL <http://www.tcs.w.tvac.or.jp/bukai/koureii/>